

平成28年度

年 報



平成29年9月

九州大学大学院医学研究院保健学部門

目 次

1. 保健学部門の活動	• • • • •	1
2. 各分野の活動		
2-1. 分野の活動：看護学分野	• • • • •	4
2-2. 分野の活動：医用量子線科学分野	• • • • •	9
2-3. 分野の活動：検査技術科学分野	• • • • •	12
3. 教員の活動		
3-1. 教員の活動：看護学分野	• • • • •	14
3-2. 教員の活動：医用量子線科学分野	• • • • •	60
3-3. 教員の活動：検査技術科学分野	• • • • •	91
4. 教員組織および委員会一覧	• • • • •	109

1. 保健学部門の活動

❖ 保健学部門の活動

1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
平成29年 3月22日	国際交流協定の締結	保健学部門長並びに看護学分野教員3名が香港大学看護学部を訪問し、部局間国際交流協定を結ぶことに合意した。	

2. 教育活動

年月日	事項	活動の概要	資料
平成28年 4月 7日	学部入学式	新入生135名（看護：68、放射：34、検査：33）が入学した。	学生係 資料
平成28年 4月 7日	大学院入学式	修士39名（看護：8、助産学：7、医用量子：11、検査技術：13）、博士13名（看護：5、医療技術：8）が入学した。	学生係 資料
平成28年 4月24日	新入生合宿研修	新入生、2年生のリーダーと教員が福岡県立社会教育総合研修センター（糟屋郡篠栗町）にて研修を行った。	学生委員会 議事録
平成28年 6月 9日	就職セミナー	参加：3年生126名 会場：5番講義室 福岡県若者しごとサポートセンターから講師を招き、3専攻合同での研修会を開催した。	学生委員会 議事録
平成28年 8月25日	修士課程入学試験	45名（看護：5、助産学：13、医用量子：13、検査技術：14）が志願した。	学生係 資料
平成28年 9月 7日	平成29年度入学生の カリキュラム改正	4学期制導入に伴う平成29年度入学生のカリキュラムについて検討し改正した。	教務委員会資料 保健学科会議資料
平成28年 9月 7日	保健学部門FD	会場：保健学科本館3階、ほか 「部局の国際化を考える」緒方副学長講演。 「なぜ国際化が必要か」 保健学部門の3分野で、国際化の必要性について共通認識と共通目標を持つきっかけの一つとしてWorld Caféによる意見交換を行った。	保健学部門FD報告書, 2016
平成28年 9月15日	博士後期課程入学試験	8名（看護：4、医療技術：4）が志願した。	学生係 資料
平成28年 9月26日	秋期学位記授与式	博士4名（看護：2、医療量子：1、医用量子〔保健学国際コース〕：1）	保健学専攻 学年暦
平成28年10月 1日	博士後期課程保健学 国際コース学生 10月入学	入学者なし	保健学専攻 学年暦
平成29年 1月14日、15日	大学入試センター試験		保健学科 学年暦
平成29年 1月27日	就職セミナー （放射・検査）	参加：3年生62名（放射28名、検査34名） 会場：5番講義室 インターナショナル・エアアカデミーから講師を招き、就職活動に重要なマナーを中心とした研修会を開催した。	学生委員会 議事録
平成29年 1月28日	入学者選抜：A0入試 II〔第2次選抜〕	65名（看護：28、放射：18、検査：19）が志願した。	学生係 資料

平成29年 2月 9日	就職セミナー 模擬面接（検査）	参加：3年生25名（検査） 会場：3番講義室 インターナショナル・エアアカデミーから講師を招き、就職活動に重要な模擬面接を開催した。	学生委員会 議事録
平成29年 2月10日	就職セミナー 模擬面接（放射）	参加：3年生25名（放射） 会場：3番講義室 インターナショナル・エアアカデミーから講師を招き、就職活動に重要な模擬面接を開催した。	学生委員会 議事録
平成29年 2月14日	修士論文発表会	修士2年30名（看護：6、医用量子：16、検査：8）が発表を行った。	保健学専攻 学年暦
平成29年 2月21日	保健学部門FD	会場：5番講義室「災害時の教員の対応に関するFD」について意見交換を行った。	保健学部門FD報告書, 2016
平成29年 2月25日、26日	入学者選抜：個別学力検査（前期日程）	249名（看護：135、放射：67、検査：47）が志願した。	学生係 資料
平成29年 3月21日	就職セミナー（看護）マナー講習会 面接マナー講座	参加：3年生54名（看護） 会場：5番講義室 インターナショナル・エアアカデミーから講師を招き、就職活動に重要なマナーを中心とした研修会を開催した。 午後から面接マナー講座を行った。	学生委員会 議事録
平成29年 3月24日	卒業式・学位記授与式	学士137名（看護：69、放射：32、検査：36） 修士29名（看護：6、医用量子：16、検査：7） 博士5名（看護：3医療技術：2）	保健学科 学年暦 保健学専攻 学年暦

3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
平成28年11月18日	第11回九州大学保健学国際フォーラム	会場：保健学科本館5番講義室 講演会：「In Relationships with Others and with the World: Unlearning 'Learning」 福岡女子大学国際文理学部 准教授 和栗百恵先生	第11回九州大学保健学国際フォーラム報告書, 2016
平成28年 4月 1日～平成29年 3月31日	留学生受入	看護：タイのマヒドン大学から2名、台湾の高雄医学大学から8名の留学生を其々約2週間受入 量子：タイのマヒドン大学から4人を約1ヶ月、インドネシアBandung Institute of Technologyから3名の留学生を約4か月間受入	平成28年度スーパーグローバル大学創成支援（SHARE-Q）事業報告書
平成28年 4月 1日～平成29年 3月31日	学生派遣	看護：タイのマヒドン大学へ3名、台湾の高雄医学大学へ2名を其々約2週間派遣 量子：韓国の高麗大学校へ1名約1年、3名約1か月、台湾国立清華大学2名約1か月、タイのチュラロンコン大学3名約1か月、派遣	平成28年度スーパーグローバル大学創成支援（SHARE-Q）事業報告書

4. 社会連携

年月日	事項	活動の概要	資料
平成28年 6月18日	大学院入試説明会	保健学専攻大学院受験希望者を対象に大学院の概要についての説明会を開催した。 参加者：修士課程希望者61名 博士後期課程希望者9名 会場：保健学科講義棟・本館	保健学部門会議議事録 入試実施委員会議事録
平成28年 7月 5日 平成29年 3月 4日	高校への出前講義	明善高校（藤淵准教授） 香住丘高校（渡邊助教）	
平成28年 8月 3日	オープンキャンパス	保健学科の受験を考えている高校生ならびに一般の方を対象にオープンキャンパスを開催した。 参加者：1145名 全体説明会：百年講堂 専攻別企画：保健学科本館で展示	学生委員会議事録

5. その他

年月日	事項	活動の概要	資料
平成28年4月-平成29年3月	文部科学省大学改革推進事業「看護師の人材養成システムの確立」 「看護実践力プロッサム開花継続プロジェクト」	九州大学病院看護部との共同で、平成21年から5年間の予定で採択されたプロジェクト終了後の継続プロジェクト。看護キャリアシステムセンターのもと、5つのWGが活動しており、教員は実習指導者研修検討WG、教育WG、看護研究推進WGで活動し成果をあげた。	平成28年度看護実践力プロッサム開花継続プロジェクト報告書

6. 主な人事異動

年月日	事項	活動の概要	資料
平成28年 4月 1日	勝田 仁 (検査・教授)	昇任（九州大学・講師より）	
平成29年 3月31日	大池 美也子 (看護・教授)	定年退職	

7. 大型設備・機器の整備

年月日	分野	物品・事項	資料
	全分野	超音波診断装置の導入 ／実践能力強化型チーム医療加速プログラム	「実践能力強化型チーム医療加速プログラム」実施報告書
平成29年 2月21日	看護学分野	他職種連携ハイブリッドシュミレーターへの導入	シュミレーター取り扱い説明書
平成29年 3月30日	全分野	授業収録システムの導入 多目的講義室に設置した	システム取扱説明書

2. 各分野の活動

❖ 看護学分野の活動

1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
平成28年 4月27日 平成28年 5月25日 平成28年 6月29日 平成28年 7月27日 平成28年 9月28日 平成28年10月27日 平成28年11月30日 平成28年12月22日 平成29年 1月25日 平成29年 2月23日 平成29年 3月16日	看護学分野 分野会議	分野の全教員の参加による、分野の運営等に関する検討会を開催した。	分野会議議事録

2. 教育活動 1) 学生・教員

年月日	事項	活動の概要	資料
平成28年 4月 5日	学部生(第14期)の入学	担任:鳩野洋子教授、寺岡佐和准教授、松浦俊治講師、前野里子助教	分野会議議事録
平成29年 2月 8日	看護学分野FD	「看護学分野の災害発生時の教育の保証に向けて」をテーマに、「熊本震災の経験-大学での教育の保証にむけて」(熊本保健科学大学 中村京子先生)について講演を頂き、「保健学科の災害対応への施設委員会の動き」(加来恒壽先生)「学生加入保険について」(木村一絵先生)について情報提供があった。その後、「災害発生時の教育の保証のために準備しておくべきことについて」参加教員でグループワークを行い、討議、発表を行った。(参加者29名)	平成28年度看護学分野FD報告書

2. 教育活動 2) 実習関係

年月日	事項	活動の概要	資料
平成28年 4月25日 平成28年 5月23日 平成28年 6月27日 平成28年 7月25日 平成28年 9月26日 平成28年10月24日 平成28年11月28日 平成28年12月19日 平成29年 1月30日 平成29年 2月27日 平成29年 3月23日	実習委員会	各看護領域の実習科目責任教員による、臨地実習の運営等に関する討論会を開催した。	実習委員会議事録
平成28年 5月27日 平成28年 9月 9日 平成28年12月16日 平成29年 3月 3日	看護教育運営委員会	九州大学病院で行われる看護学実習に関して、九州大学病院看護部と看護学分野の連携を中心に、案件によっては、他大学も含めた実習の調整、実習に関する教育・研究に関する検討会を開催した。	看護教育運営委員会議事録
平成28年度 通年	臨地実習に関する説明会 (九大病院以外)	老年、精神、在宅、地域、助産領域の臨地実習に関して、各実習施設において、実習指導者に説明会を行った。	実習要項

平成28年4月-7月	総合実習に関する実習説明会	看護学専攻4年生の総合実習に関して、各実習施設において、実習指導者に説明会を行った。	実習要項
平成28年 6月 8日	九州大学病院実習連絡会	九州大学病院における臨地実習を円滑かつ適正に実施するため、看護学分野の全実習科目担当者が看護部および実習に関連する全部署の看護管理者および実習指導者に実習の説明を行った。	実習連絡会議議事録
平成28年 8月10日	福岡県公衆衛生看護実習連絡協議会	保健師課程を置く県内大学等が、公衆衛生看護学実習を円滑かつ適正に実施するため、協議会に出席した。	福岡県公衆衛生看護実習連絡協議会議事録
平成28年12月 1日	福岡県公衆衛生看護実習連絡協議会	保健師課程を置く県内大学等が、公衆衛生看護学実習を円滑かつ適正に実施するため、協議会に出席した。	福岡県公衆衛生看護実習連絡協議会議事録
平成28年12月 8日	在宅看護学実習指導者連絡会議	看護学専攻3年生～4年生の在宅看護学実習に関して、実習施設(訪問看護ステーション)の実習指導者に説明を行った。	実習指導者連絡会議議事録

2. 教育活動 3) 選抜試験

年月日	事項	活動の概要	資料
平成29年2月28日	保健師課程選抜試験	看護学専攻2年生の保健師選抜課程志願者について、筆記試験(小論文)と面接試験を行った。	分野会議議事録

2. 教育活動 4) 研究発表会

年月日	事項	活動の概要	資料
平成28年 9月27日	博士後期課程特別研究の中間発表会	博士後期課程大学院生の研究の進捗状況について、中間発表会を行った。	分野会議議事録
平成28年10月-11月	講座卒業研究中間発表会	看護学専攻4年生が、各講座において、卒業研究の中間発表会を行った。	講座会議議事録
平成28年11月29日	卒業研究発表会	医学部保健学科看護学専攻4年生が卒業研究の成果発表を行った。	卒業研究抄録集
平成29年 2月14日	修士課程 看護学特別研究の最終試験	修士課程大学院生の研究の最終試験を行った。	分野会議議事録
平成29年 2月15日	修士課程 看護学特別研究の中間発表会	修士課程大学院生の研究の進捗状況について、中間発表会を行った。	分野会議議事録

2. 教育活動 5) 国家試験

年月日	事項	活動の概要	資料
平成28年度 4回/年	国家試験学内模擬試験(看護師、保健師)	4年生を対象に国家試験の学内模擬試験を行った。	分野会議議事録
平成29年2月	第106回看護師国家試験、第103回保健師国家試験、第100回助産師国家試験	3日間にわたって国家試験が行われた。看護師国家試験98.6%(既卒除く)、保健師国家試験100%、助産師国家試験100%の合格率だった。	分野会議議事録

3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
平成28年 7月17日-31日	タイ、マヒドン看護学部と第1回の国際交流	マヒドン大学から学部学生3年生2名を招聘し、2週間のExchange Programを展開した。	Exchange Program資料
平成28年 8月28日-9月12日	タイ、マヒドン看護学部と第1回の国際交流	マヒドン大学へ本学学部学生3年生2名を派遣し、2週間のExchange Programを展開した。	Exchange Program資料
平成28年11月17日	台湾・高雄医学大学看護学部、アメリカ合衆国・ハワイ大学看護学部と国際交流	高雄医学大学から演者 Dr. Fan-hao、ハワイ大学から演者Dr.Merleを招聘し、学部生と院生に特別講演で、本学の学生教員との意見交換を行なった。	国際フォーラム資料
平成28年11月17日-26日	台湾・高雄医学大学看護学部と国際交流	高雄医学大学から学部学生2年生8名を招聘し、2週間のExchange Programを展開した。	Exchange Program資料
平成28年11月18日	第11回九州大学保健学国際フォーラム	国際フォーラム「International symposium on nursing」では、高雄医学大学看護学部からDr.Fan-hao、ハワイ大学看護学部からDr.Merleを招聘し、特別講演を行った。また、Student Meetingでは本学部2年生の看護学生とプレゼンテーションと意見交換を行なった。	国際フォーラム資料
平成29年 2月19日 平成29年 2月23日	タイ・マヒドン大学との学生間、教員間の学術交流推進	平成28年度に行った交流をふまえ、平成29年度からの学生交流プログラムの実現化に向けてマヒドン大学看護学部にて具体的な交流方法(教育プログラムや留学費用など)について意見交換等を行った。(谷口初美教授・鳩野洋子教授)	平成28年度看護学分野の国際交流報告書
平成29年 3月 1日-3日	台湾・高雄市 高雄医学大学との学生間、教員間の学術交流推進	部局間協定を結んだ高雄医科大学看護学分野とStudent Meeting Exchange programによる交流、およびSuper Global University創生支援学術交流プログラム開発事業における学術・学生間国際交流推進を目的として、台湾高雄医科大学を訪問し、具体的な交流方法(教育プログラムや留学費用など)について意見交換等を行った。(川田紀美子准教授・野口ゆかり講師)	平成28年度看護学分野の国際交流報告書
平成29年3月1日-14日	台湾・高雄市 高雄医学大学との学生間のExchange Program	本年度は初めての2週間のExchange Programに2年生2名を派遣した。	平成28年度看護学分野の国際交流報告書

4. 社会連携 1) 人材育成

年月日	事項	活動の概要	資料
平成28年度	九州大学病院の看護研究コース指導	看護教員が大学病院看護職員の研究指導を実施し、学会発表を目指し活動をしている。	看護研究コース資料
平成28年度	九州大学病院教育担当者指導者研修	九州大学病院看護部の教育担当指導者を対象に、看護教育における実習の意義および指導者としての知識について講義を行なった。	九州大学病院教育担当者指導者研修資料
平成28年度	九州大学病院臨床指導者研修	九州大学病院看護部指導者のための研修会を行なった。	研修会資料
平成28年 5月24日 平成28年 8月10日 平成28年 9月 2日	九州大学病院臨地実習指導者研修会	九州大学病院看護部の臨地実習指導者を対象に、看護教育における実習の意義および実習指導者としての知識についてシリーズで講義を行なった。(中尾久子教授、藤田君支教授、橋口暢子准教授、青本さとみ講師)	九州大学病院資料

平成28年10月21日	京都大学付属病院看護部指導者研修	学生理解の指導者研修で「経験を学びに変えるコツ:ALACTモデル&聞く」をテーマに実習指導者た対象に研修を行った。	京都大学付属病院看護部指導者研修資料
平成28年12月5日	「安全な出産のための助産師研修(モンゴル助産師&産科医)」	JICA関西にて、ICMのGlobal Standardsと助産師活動の授業をおこなった。	「安全な出産のための助産師研修(モンゴル助産師&産科医)」資料

4. 社会連携 2) 看護教育協議会など

年月日	事項	活動の概要	資料
平成28年 通年	医療系代表者協議会看護教育部会組織検討委員会	医療系代表者協議会看護教育部会組織検討委員会委員としてメール会議などに参加し意見交換を行った。	平成28年度組織検討委員会活動報告
平成28年6月3日-4日	第7回(通算52回)公益社団法人全国助産師教育協議会定時社員総会	新潟青陵大学にて開催された総会に出席。27年度活動報告、29年度事業計画の協議、「看護行政の動向と助産師教育へ期待」の特別講演、地区別検討会、「先駆的教育方法の試み」のワークショップ後、教育課程別に検討を行った。	分野会議議事録
平成28年 6月 4日	「先駆的教育方法の試み」助産教育のための状況設定シミュレーション学習	第7回(通算52回)公益社団法人全国助産師教育協議会社員総会ワークショップ「先駆的教育方法の試み」で助産教育のための状況設定シミュレーション学習のデモを教員を対象に実施した。	ワークショップ「先駆的教育方法の試み」資料
平成28年 6月 4日	全国保健師教育機関協議会定時社員総会	東京で開催された協議会の総会に出席し、会運営のあり方について検討を行った。	分野会議議事録
平成28年 6月 5日	国立大学保健医療学系代表者協議会看護部会	山形県山形市で開催された国立大学保健医療学系代表者協議会に出席して、臨床と大学教育の連携等について協議を行った。	国立大学保健医療学系代表者協議会報告書
平成28年 6月 20日	平成28年度 日本看護系大学協議会定時社員総会	日本教育会館一ツ橋ホールで開催された総会に出席し、協議会の活動方針や、各委員会の活動計画について検討を行った。	分野会議議事録
平成28年 8月 4日-5日	全国保健師教育機関協議会九州ブロック協議会総会およびブロック研修会	聖マリア大学で開催された当該研修会において、震災プロジェクト委員会の報告や意見交換をはじめ、保健師教育に関わる情報交換を行った。	全国保健師教育機関協議会平成28年度(第29回)九州ブロック定例会および研修会資料
平成28年 8月 28日	全国保健師教育機関協議会スキルアップ研修会・教員研修会	東京で開催された当該研修会に参加し、保健師教育のあり方に関する検討を行った。	全国保健師教育機関協議会平成28年度スキルアップ研修会・教員研修会資料
平成28年10月25日	全国保健師教育機関協議会秋季研修会	長崎市で開催された秋季研修会に参加し、保健師教育の方法論についての検討を行った。	全国保健師教育機関協議会平成28年度秋季研修会資料
平成28年10月27日-28日	平成28年度看護学教育ワークショップ	千葉大学において開催された。「卒業時到達目標の評価をどう行い、どう活かすか」をテーマに講演とGWを行った。	分野会議議事録
平成28年12月26日	全国保健師教育機関協議会九州ブロック教員研修会	聖マリア大学で開催された当該研修会において、今後の本部の運営方針の変更に対応した九州ブロックの運営について意見交換を行った。	全国保健師教育機関協議会平成28年度九州ブロック研修会資料
平成29年 2月 11日	「理解したい周産期のメンタルヘルス」	熊本県看護協会主催で県下の助産師と産科病棟で勤務している看護師を対象に研修を実施	熊本県看護協会研修資料

4. 社会連携 3) 公開講座

年月日	事項	活動の概要	資料
平成28年9月3日	第14回九州大学医学部保健学科公開講座講演	地域住民の方を対象にテーマ「身近な医療知識-私達の健康を考える」の講演を実施した。 講師:川田紀美子准教授	公開講座資料

5. その他

年月日	事項	活動の概要	資料

❖ 医用量子線科学分野の活動

1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
平成28年 4月 6日 平成28年 5月11日 平成28年 6月 1日 平成28年 7月 6日 平成28年 9月12日 平成28年10月 5日 平成28年11月 2日 平成28年12月 7日 平成29年 1月11日 平成29年 2月 6日 平成29年 3月 2日	医用量子線科学分野 分野会議	分野の全教員の参加による、分野の運営等に関する検討会を開催した。	分野会議議事録

2. 教育活動

年月日	事項	活動の概要	資料
平成28年 4月7日	学部生(第15期)の 入学	主担任:佐々木智成 副担任:藪内 オリエンテーションは4月11日	分野会議議事録 学生便覧
平成28年 4月8日	大学院生(第11期)の 入学	オリエンテーション実施	分野会議議事録
平成28年 4月26日 平成28年 6月20日 平成28年10月17日 平成28年12月13日 平成29年 1月10日 平成29年 2月 2日	国家試験学内模擬試験	医学部保健学科放射線技術科学専攻4年生を対象に国家試験の学内模擬試験を行った。	
平成28年 5月20日 平成28年 6月10日	修士課程 中間発表 会	2日に分けて実施した。	
平成28年 8月29日	学生ソフトボール大 会	教員・学生83名が参加した。	
平成28年 9月12日	博士後期課程 中間発表会		
平成28年 9月29日	研究倫理と卒業研究 および臨地実習に関 する研修会	医学部保健学科放射線技術科学専攻3年生全員と分野内全教員が参加して、研究倫理と臨地実習に関する研修会を開催した。 会場:九州大学西新プラザ	
平成28年10月 8日	2016年度医学物理士 認定試験	大学院生11名中6名合格	http://www.jbmp.org/certification/passers/

平成28年11月5日 -11月6日	第11回九州放射線医療技術学術大会	学部4年生、大学院生の合計60名が参加して講演の聴講を行ない、学部生32名と大学院生1名が筆頭発表者として学術研究発表を行った。	第11回九州放射線医療技術学術大会プログラム
平成28年11月24日	卒業研究発表会	医学部保健学科放射線技術科学専攻4年生32名が卒業研究の成果発表を行った。	分野会議議事録 卒業研究発表会プログラム
平成29年1月26日 -1月27日	先端技術紹介セミナーの開催	医学部保健学科放射線技術科学専攻学生、医学系学府保健学専攻修士課程大学院生を対象に、最新医療機器の先端技術に関する紹介を行った。	分野会議議事録 先端技術セミナープログラム
平成29年2月14日	修士研究発表会	医学系学府保健学専攻医用量子線科学分野修士2年生16名が修士研究の成果発表を行った。	分野会議議事録 修士研究発表会プログラム
平成29年2月23日	第69回診療放射線技師国家試験	32名中32名の100%が合格した。	官報

3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
平成28年 4月	研修生受け入れ	タイ国マヒドン大学から学部4年生4名を九州大学に短期の研修生を迎えることできた(受入:佐々木雅之教授2名、杜下淳次教授2名)。	部門会議資料
平成28年 9月	大学院生の海外派遣	経済産業省補助事業である、飛び出せ留学Japanへ、修士大学院生1名が採用され、タイ国マヒドン大学とチュラロンコン大学に、3ヶ月半派遣した。	大学への海外渡航届け
平成28年 9月 平成29年 3月	大学院生の海外派遣	スーパーグローバル大学創成支援に採択され、高麗大学校(韓国)へ修士大学院生2名と博士後期課程大学院生2名(平成27年9月と平成28年3月分けて派遣)を3週間訪問し、院生同士の研究の議論、文化交流などを行った。	大学への海外渡航届け
平成28年 9月 平成29年 3月	大学院生の海外派遣	スーパーグローバル大学創成支援に採択され、台湾清華大学へ修士大学院生2名が訪問し、それぞれ約1か月間、院生同士の研究の議論、文化交流などを行った。	大学への海外渡航届け
平成28年12月	大学院生の海外派遣	スーパーグローバル大学創成支援に採択され、タイ国チュラロンコン大学へ修士大学院生1名が3週間訪問し、院生同士の研究の議論、文化交流などを行った。	大学への海外渡航届け
平成29年 2月	学術交流協定校の教員招聘と交流	高麗大学校(韓国)の教員7名を招き、医用量子線科学分野の8名の教員と、医学系学府専攻の12名の大学院生を交えて、international seminars for education and research in radiological technology sciences and medical physicsを開催し、友好的に交流を行った。	http://web.shs.kyushuu.ac.jp/KK/event/archive/
平成29年3月	教員の海外派遣	高麗大学校(韓国)へ教員2名(藪内英剛教授と藤淵俊王准教授)が訪問し、今後の学術研究と、両校の交流などを協議した。	大学への海外渡航届け

4. 社会連携

年月日	事項	活動の概要	資料
平成28年6月16日	第17回国立大学診療放射線技師教育施設協議会	東京都にて開催された協議会に出席し、当該協議会の会長校として、開催の準備と、診療放射線技師に関する教育、国家試験の内容、就職等についての検討を行った。(杜下淳次教授、藪内英剛教授、藤淵俊王准教授)	分野会議議事録 会議報告書
平成28年6月17日	第61回全国診療放射線技師教育施設協議会	東京都にて開催された協議会に出席し、診療放射線技師に関する教育、国家試験の内容、就職等についての検討を行った。(杜下淳次教授、藪内英剛教授、藤淵俊王准教授)	開催プログラム
平成28年7月5日	久留米市明善高校における出前講義	福岡県立明善高校において、高校生および教員を対象に診療放射線技師の業務内容と九州大学医学部保健学科の広報を行った。(藤淵俊王准教授)	

5. その他

年月日	事項	活動の概要	資料
平成28年8月	九州大学で始めた新しい学部教育と人材育成プログラムの広報	大阪大学医学部保健学科を本学教員6名が訪問し、九州大学で始めた新しい学部教育と人材育成プログラムの内容と、診療放射線技師の業務拡大への対応と手法について広報し、交流をもった。	文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」ならびに「実践能力強化型チーム医療加速プログラム」WEBページおよび平成27年度報告書
平成28年8月	九州大学で始めた新しい学部教育と人材育成プログラムの広報	名古屋大学医学部保健学科を本学教員6名が訪問し、九州大学で始めた新しい学部教育と人材育成プログラムの内容と、診療放射線技師の業務拡大への対応と手法について広報し、交流をもった。	
平成28年8月	九州大学で始めた新しい学部教育と人材育成プログラムの広報	北海道大学医学部保健学科を本学教員6名が訪問し、九州大学で始めた新しい学部教育と人材育成プログラムの内容と、診療放射線技師の業務拡大への対応と手法について広報し、交流をもった。	
平成28年9月	第3回臨地実習講習会	文部科学省大学改革推進事業 課題解決型高度医療人材養成プログラム 実践能力強化型チーム医療加速プログラムにおいて、臨地実習指導者を養成するために講習会を開催した。	
平成29年1月	第4回臨地実習講習会	文部科学省大学改革推進事業 課題解決型高度医療人材養成プログラム 実践能力強化型チーム医療加速プログラムにおいて、臨地実習指導者を養成するために講習会を開催した。	
平成28年8月	放射線取扱主任者試験第1種国家試験	合格者 2年生2名合格、3年生10名合格、4年生3名合格、大学院生1名合格	官報

6. 特筆すべき実績受賞・特許など

年月日	事項	活動の概要	資料
平成28年6月	受賞	杜下淳次教授が指導する博士後期課程の大学院生(松延佑将)が4年に1回開催されるThe 2016 Symposium of the International Academy of Legal Medicine (IALM) でbest oral presentation awards under 35 years oldを受賞	

❖ 検査技術科学分野の活動

1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
平成28年 4月27日 平成28年 5月25日 平成28年 6月29日 平成28年 7月27日 平成28年 9月28日 平成28年10月26日 平成28年11月30日 平成28年12月16日 平成29年 1月25日 平成29年 2月22日 平成29年 3月29日	検査技術科学分野 分野会議	分野の全教員の参加による、分野の運営等に関する検討会を開催した。	分野会議議事録
平成29年 3月	生理学担当、 桑原助教が退任		保健学部門会議資料

2. 教育活動

年月日	事項	活動の概要	資料
平成28年 4月24日	新入生合宿研修	福岡県立社会教育総合研修センター (糟屋郡篠栗町)	分野会議議事録
平成28年 5月10日	九大病院検査部臨地 実習説明会	平成28年度臨地実習の実施にあたり、九州大学病院検査部長、技師長より学生へ講義が行った。さらに教務委員および4年生担任から臨地実習の時の細かい諸注意を通達した。	分野会議議事録
平成28年 9月 6日	九大病院検査部との 臨地実習反省会	九州大学病院検査部部長、技師長をはじめ臨地実習担当の臨床検査技師の先生方と、保健学部門検査技術科学分野教員間で、平成28年度臨地実習の実施状況報告と平成29年度の実施計画について討議した。	分野会議議事録
平成28年 9月 8日	大学院博士課程・ 修士課程中間発表 会	修士課程・博士課程大学院生の研究の進捗状況について、中間発表を行った。	分野会議議事録
平成28年12月22日	卒業研究発表会	医学部保健学科検査技術科学専攻4年制が卒業研究の成果発表を行った。	分野会議議事録
平成28年10月 8日 平成28年12月 4日 平成29年 1月29日	国家試験模擬試験	検査技術科学専攻4年生の臨床検査技師国家試験対策として、計3回国試模試を実施した（また、希望者を対象に追加で5回国試模試を実施した）。	分野会議議事録
平成29年 2月14日	修士課程論文審査会	修士課程大学院生の修士論文審査会が行われた。	分野会議議事録
平成29年 2月22日	臨床検査技師国家試験		分野会議議事録
平成29年 3月22日	検査技術科学分野FD	国家試験合格率の改善のため、国家試験対策として何を実施すべきか、討議した。	分野会議議事録

3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
平成28年10月27日	田代講師、JST 2016 Taiwan-Japan Joint Symposium発表	Possibility and limitation of electrode performance improvement by hydrogel coating for neural stimulation, JST 2016 Taiwan-Japan Joint Symposium, 2016.10.27, Japan.	学会抄録

平成28年11月27日	外園講師、Asia-Pacific Federation for Clinical Biochemistry発表	Development of the high-sensitivity assay of protein by new principle of three-dimensional complex with protein-copper-Chromazurol B, Asia-Pacific Federation for Clinical Biochemistry, 2016.11.27, Taiwan.	学会抄録
平成28年12月 1日	藤本教授、16th Asia Pacific Congress of Clinical Microbiology & Infection発表	Biorisk management education for undergraduates studying clinical microbiology at university in Japan., 16th Asia Pacific Congress of Clinical Microbiology & Infection 2016, 2016.12.1, Australia.	学会抄録
平成28年12月 1日	小島講師、16th Asia Pacific Congress of Clinical Microbiology & Infection発表	Genomic identification based on PCR-RAPD in <i>Anisakis simplex</i> larvae., 16th Asia Pacific Congress of Clinical Microbiology & Infection 2016, 2016.12.1, Australia.	学会抄録
平成28年12月14日	桑原助教、BioMEMS/NEMS & Applications (Bio4Apps 2016) 発表	Long-term Analysis of the In Vivo Characteristics of a Recording Electrode with Electrochemical Impedance Spectroscopy, International Conference on BioSensors, BioElectronics, BioMedical Devices, BioMEMS/NEMS & Applications (Bio4Apps 2016), 2016.12.14, Australia.	学会抄録

4. 社会連携

年月日	事項	活動の概要	資料
平成28年 8月 8日	オープンキャンパス実施	高校生、その保護者、高校教員へ対して検査技術科学で行っている実習の一部や研究についての展示や体験を実施した。具体的には、手指採血した血液を利用した血糖検査のサービス、手洗い効果の判定、寄生虫のホルマリン標本観察、がん細胞の顕微鏡で観察、遺伝子検査で使用する器具の展示、心電図、肺機能検査、超音波検査のデモを実施、その他に臨床検査技師の業務内容についてのDVDの上映、といったものである。さらには、現役学部学生や教員を交えた進学相談コーナーを設置し、受験生や保護者からの様々な問い合わせに応じた。	学生委員会
平成28年 9月 3日	平橋講師：九州大学医学部保健学科公開講座講演	地域住民を対象にテーマ「病理のおはなし」の講演を実施した。	公開講座資料
平成29年 1月28日	小島講師：平成28年度第3回栄養学術研修会・第15回長崎栄養改善学会および長崎県民公開講座講演	平成28年度第3回栄養学術研修会・第15回長崎栄養改善学会および長崎県民公開講座にて長崎県民および栄養士会会員を対象に”知っておきたい食べ物に潜む寄生虫”のタイトルで講演した。	
平成29年 3月 4日	渡邊助教：香住ヶ丘高校出前講義	『保健学科の紹介とがんのお話 がんの歴史～臨床検査技師の使命～』というタイトルで高校2年生45名を対象に出前講義を行った。	

5. その他

年月日	事項	活動の概要	資料

6. 特筆すべき実績受賞・特許など

年月日	事項	活動の概要	資料

3-1. 教員の活動：看護学分野

看護学分野

統合基礎看護

教授	大池	美也子
教授	加来	恒壽
教授	樗木	晶子
教授	中尾	久子
教授	藤田	君支
准教授	橋口	暢子
准教授	濱田	裕子
准教授	宮田	千春
講師	青本	さとみ
講師	木下	由美子
講師	能登	裕子
講師	松浦	俊治
講師	丸山	マサ美
助教	潮	みゆき
助教	金岡	麻希
助教	北尾	真梨
助教	木原	深雪
助教	酒井	久美子
助教	道面	千恵子
助教	藤田	紋佳
助教	前野	里子
助教	山口	優

1. 教育活動

1. 大学院講義

看護学研究方法論Ⅱ	(分担)	大池	前期
看護教育論	(分担)	大池	前期
コンサルテーション論	(分担)	大池	前期
がん看護特論	(分担)	大池	前期
基礎看護学特論Ⅰ	(分担)	大池	後期
基礎看護学特論Ⅱ	(分担)	大池	後期
先端医療論	(分担)	加来	前期
Women's health	(分担)	加来	前期
周産期の薬理学	(分担)	加来	前期
健康支援ケアシステム論Ⅰ	(分担)	加来	前期
病態情報解析学Ⅰ	(分担)	加来	前期
母子発達ケアシステム論Ⅰ	(分担)	加来	前期
生体情報解析学Ⅰ	(分担)	加来	前期
発達看護学特論Ⅰ	(分担)	加来	前期
発達看護学特論Ⅱ	(分担)	加来	後期
リプロサイエンスⅡ(婦人科・不妊・遺伝・メンタル)	(分担)	加来	後期

看護学特別研究		加来	通年
国際医療システム論	(分担)	樗木	前期
健康支援ケアシステム論 I	(分担)	樗木	後期
生体情報解析学 I	(分担)	樗木	後期
臨床看護学特論 I	(分担)	樗木	通年
臨床看護学特論 II	(分担)	樗木	通年
看護学特別研究		樗木	通年
ヘルスサイエンス論	(分担)	中尾	前期
健康支援ケアシステム論 I	(分担)	中尾	前期
医療と生命倫理	(分担)	中尾	後期
生命倫理・遺伝カウンセリング論	(分担)	中尾	後期
がん看護援助論	(分担)	中尾	後期
臨床看護学特論 I	(分担)	中尾	通年
臨床看護学特論 II	(分担)	中尾	通年
看護学特別研究		中尾	通年
保健学研究論	(分担)	藤田(君)	前期
健康支援ケアシステム論 I	(分担)	藤田(君)	前期
臨床看護学特論 I	(分担)	藤田(君)	通年
臨床看護学特論 II	(分担)	藤田(君)	通年
看護教育論	(分担)	橋口	前期
基礎看護学特論 I	(分担)	橋口	後期
基礎看護学特論 II	(分担)	橋口	後期
ユーザー感性学 PTL(II)	(分担)	濱田	前期
母子発達ケアシステム論 I	(分担)	濱田	前期
感性コミュニケーション概論	(分担)	濱田	前期
発達看護学特論 I	(分担)	濱田	前期
小児家族看護学	(分担)	濱田	後期
生命倫理・遺伝カウンセリング	(分担)	濱田	後期
看護教育論	(分担)	宮田	前期
看護組織・マネジメント論	(分担)	宮田	後期
医療と生命倫理	(分担)	宮田	後期
看護研究方法論 I	(分担)	木下	前期
生命倫理学		丸山	前期
医療と生命倫理	(分担)	丸山	後期
基礎看護学特論 I	(分担)	能登	後期
基礎看護学特論 II	(分担)	能登	後期

2. 大学院実験・実習

保健学特別研究		大池	通年
保健学特別研究		加来	通年
保健学特別研究		樗木	通年
保健学特別研究		中尾	通年

3. 大学院演習

生体情報解析学Ⅱ	(分担)	加来	後期
生体情報解析学Ⅱ	(分担)	樗木	前期
健康支援ケアシステム論Ⅱ	(分担)	樗木	後期
がん看護演習Ⅰ	(分担)	中尾	後期
健康支援ケアシステム論Ⅱ	(分担)	中尾	後期
健康支援ケアシステム論Ⅱ	(分担)	藤田(君)	後期
ユーザー感性学 PTL(Ⅳ)	(分担)	濱田	後期
小児・家族コミュニケーション演習	(分担)	濱田	前期

4. 大学院修士課程修了者

光永祐子	子宮がん患者とパートナーとの関係性: QOL とセクシュアリティについて
呉茜 (China)	睡眠時無呼吸症候群患者における健診後の受療行動と関連する因子の検討
田代恵理	新生児医療施設で子どもを亡くした母親の悲嘆に関する体験

5. 大学院博士課程修了者

山口善子	Job control, work-family balance and nurses' intention to leave their profession and organization : A comparative cross-sectional survey
末次典恵	可搬型視線追跡装置を用いた看護観察行動の定量的分析
伊豆倉理江子	高周波加温装置による深部局所ハイパーサーミアががん患者の循環・呼吸状態に及ぼす影響
孫田千恵	季節周期の変化がもたらす入院患者の転倒

6. 学部講義

看護研究入門	(分担)	大池	前期
看護理論	(分担)	大池	前期
泌尿器・生殖器	(分担)	加来	前期
母性疾病論	(分担)	加来	前期
臨床医学論Ⅰ	(分担)	加来	後期
臨床病態学	(分担)	加来	後期
国際保健と医療	(分担)	加来	後期
生理機能検査学Ⅲ	(分担)	樗木	前期
医学総論Ⅱ	(分担)	樗木	前期
臨床病態学	(分担)	樗木	後期
老年看護学概論	(分担)	中尾	前期
看護研究入門	(分担)	中尾	前期
医療倫理・終末期医療論	(分担)	中尾	前期
臨床倫理(医療系統合教育)	(分担)	中尾	後期
看護倫理・ターミナルケア論	(分担)	中尾	後期

老年保健疾病論	(分担)	中尾	後期
老年看護学各論 I	(分担)	中尾	後期
成人看護学概論	(分担)	藤田(君)	前期
成人看護学各論 I	(分担)	藤田(君)	前期
国際保健と医療	(分担)	藤田(君)	後期
看護理論	(分担)	橋口	前期
看護教育論	(分担)	橋口	後期
臨床倫理(医療系統合教育)	(分担)	橋口	後期
看護研究入門	(分担)	橋口	後期
看護研究入門	(分担)	濱田	前期
小児看護学概論	(分担)	濱田	後期
小児看護学各論 I	(分担)	濱田	後期
看護管理	(分担)	宮田	前期
看護理論	(分担)	宮田	前期
災害とチーム医療		宮田	後期
精神保健・疾病論	(分担)	青本	前期
精神看護学概論	(分担)	青本	後期
成人看護学各論 I	(分担)	木下	前期
がん看護論	(分担)	木下	後期
看護倫理・ターミナルケア論	(分担)	木下	後期
看護理論	(分担)	能登	前期
小児疾病論		松浦	前期
課題協学科目“死と生”	(分担)	丸山	前期
基幹教育セミナー		丸山	前期
コミュニケーション論		丸山	後期
バイオエシックス		丸山	後期
看護倫理・ターミナルケア論	(分担)	潮	前期
老年保健疾病論	(分担)	潮	後期
先端医療看護論	(分担)	金岡	後期
救急蘇生学	(分担)	金岡	後期
老年看護学概論	(分担)	酒井	前期
老年看護学各論 I	(分担)	酒井	後期
看護理論	(分担)	道面	前期
成人看護学概論	(分担)	前野(里)	前期
成人看護学各論 I	(分担)	前野(里)	前期
がん看護論	(分担)	前野(里)	前期
精神保健・疾病論	(分担)	木原	前期
精神看護学概論	(分担)	木原	後期

7. 学部の実験・実習・演習

看護過程論	(分担)	大池	前期
総合実習	(分担)	大池	前期
看護技術学Ⅰ	(分担)	大池	前期
看護技術学Ⅱ	(分担)	大池	後期
基礎看護学実習Ⅰ	(分担)	大池	前期
基礎看護学実習Ⅱ	(分担)	大池	後期
卒業研究	(分担)	大池	通年
卒業研究	(分担)	加来	通年
生理機能検査学実習	(分担)	樗木	後期
卒業研究	(分担)	樗木	通年
老年看護学各論Ⅱ	(分担)	中尾	前期
老年看護学実習	(分担)	中尾	前期
総合実習	(分担)	中尾	前期
成人・老年看護学実習Ⅰ	(分担)	中尾	後期
成人・老年看護学実習Ⅱ	(分担)	中尾	後期
卒業研究	(分担)	中尾	通年
成人看護学各論Ⅱ	(分担)	藤田(君)	前期
老年看護学実習	(分担)	藤田(君)	前期
総合実習	(分担)	藤田(君)	前期
成人・老年看護学実習Ⅰ	(分担)	藤田(君)	後期
成人・老年看護学実習Ⅱ	(分担)	藤田(君)	後期
卒業研究	(分担)	藤田(君)	通年
総合実習	(分担)	橋口	前期
看護技術学Ⅰ	(分担)	橋口	前期
看護技術学Ⅱ	(分担)	橋口	後期
基礎看護学実習Ⅰ	(分担)	橋口	前期
基礎看護学実習Ⅱ	(分担)	橋口	後期
看護過程論	(分担)	橋口	後期
卒業研究	(分担)	橋口	通年
小児看護学各論Ⅱ	(分担)	濱田	前期
総合実習	(分担)	濱田	前期
小児看護学実習	(分担)	濱田	後期
卒業研究	(分担)	濱田	通年
総合実習	(分担)	宮田	前期
看護技術学Ⅰ	(分担)	宮田	前期
看護技術学Ⅱ	(分担)	宮田	後期
基礎看護学実習Ⅰ	(分担)	宮田	前期
基礎看護学実習Ⅱ	(分担)	宮田	後期
看護過程論	(分担)	宮田	後期
卒業研究	(分担)	宮田	通年
精神看護学各論	(分担)	青本	前期
総合実習	(分担)	青本	前期
精神看護学実習	(分担)	青本	通年

卒業研究	(分担)	青本	通年
成人看護学各論Ⅱ	(分担)	木下	前期
成人看護学各論Ⅲ	(分担)	木下	前期
総合実習	(分担)	木下	前期
成人・老年看護学実習Ⅰ	(分担)	木下	後期
卒業研究	(分担)	木下	通年
総合実習	(分担)	能登	前期
看護技術学Ⅰ	(分担)	能登	前期
看護技術学Ⅱ	(分担)	能登	後期
基礎看護学実習Ⅰ	(分担)	能登	前期
基礎看護学実習Ⅱ	(分担)	能登	後期
看護過程論	(分担)	能登	後期
卒業研究	(分担)	能登	前期
小児看護学実習	(分担)	松浦	後期
卒業研究	(分担)	松浦	通年
老年看護学各論Ⅱ	(分担)	潮	前期
成人看護学各論Ⅲ	(分担)	潮	前期
成人看護学各論Ⅳ	(分担)	潮	前期
老年看護学実習	(分担)	潮	前期
総合実習	(分担)	潮	前期
成人・老年看護学実習Ⅰ	(分担)	潮	後期
成人・老年看護学実習Ⅱ	(分担)	潮	後期
卒業研究	(分担)	潮	通年
成人看護学各論Ⅲ	(分担)	金岡	前期
成人看護学各論Ⅳ	(分担)	金岡	前期
老年看護学実習	(分担)	金岡	前期
総合実習	(分担)	金岡	前期
成人・老年看護学実習Ⅰ	(分担)	金岡	後期
成人・老年看護学実習Ⅱ	(分担)	金岡	後期
老年看護学各論Ⅱ	(分担)	酒井	前期
老年看護学実習	(分担)	酒井	前期
総合実習	(分担)	酒井	前期
成人・老年看護学実習Ⅰ	(分担)	酒井	後期
成人・老年看護学実習Ⅱ	(分担)	酒井	後期
卒業研究	(分担)	酒井	通年
総合実習	(分担)	道面	前期
看護技術学Ⅰ	(分担)	道面	前期
看護技術学Ⅱ	(分担)	道面	後期
基礎看護学実習Ⅰ	(分担)	道面	前期
基礎看護学実習Ⅱ	(分担)	道面	後期
看護過程論	(分担)	道面	後期
卒業研究	(分担)	道面	通年
成人看護学各論Ⅱ	(分担)	前野(里)	前期
老年看護学実習	(分担)	前野(里)	前期
総合実習	(分担)	前野(里)	前期

成人・老年看護学実習Ⅰ	(分担)	前野(里)	後期
成人・老年看護学実習Ⅱ	(分担)	前野(里)	後期
卒業研究	(分担)	前野(里)	通年
小児看護学各論Ⅱ	(分担)	北尾	前期
総合実習	(分担)	北尾	前期
小児看護学実習	(分担)	北尾	後期
卒業研究	(分担)	北尾	通年
精神看護学各論	(分担)	木原	前期
総合実習	(分担)	木原	前期
精神看護学実習	(分担)	木原	通年
卒業研究	(分担)	木原	通年

8. 卒業論文作成者

一鈞凌佑	心不全に合併した睡眠時無呼吸に対する ASV 治療のアドヒアランス向上のための調査研究計画
愛甲友里	青年期のファロー四徴症患者における疾患の理解と需要を促すための看護支援
池田彩乃	外来化学療法を受ける高齢がん患者の自己管理行動を促進する要因
中西麻衣	一般病棟に入院する認知症高齢者に対応する看護師の困難と退院支援
沖田千絵	がん患者を看護する看護師の困難感に関する文献検討
梶村有紀	造血幹細胞移植のきょうだいドナーの経験とそれに基づくきょうだいへの支援
川端優美	医療処置を受ける子どもと分離状態にある親の思いと看護師の支援の検討
倉垣舞子	成人移行期の在宅重症心身障がい児・者の母親とその介入
土坂真由	ターミナル期にある小児がんの子どもとその親に対するケアに伴う看護師の経験と思い
中川内希	院内学級に通う子どもへの支援の実際と医療従事者の役割の検討
能城杏	自閉症スペクトラム障害のある同胞をもつきょうだいの体験と支援
八谷光紗	終末期がん患者の子どもの支援
藤原有沙	手術室配属後ストレスの現状とサポート体制に関する文献検討
松山梨紗子	新人看護師の入職後の心理的状況変化と必要としている支援について
森夕紀	うつ病患者への効果的な運動プログラム
石田えり	長期入院している統合失調症患者への退院支援
後藤茜	うつ病患者の再発を防ぐための家族心理教育プログラム作成へ向けて
古川夏菜	精神疾患を持つ人のセルフスティグマ形成と対処のプロセス
新村夏海	終末期がん患者の家族への看護に関する文献検討
早田妃美希	終末期患者・家族への看護 一両者が抱える思いに焦点を当てた文献検討一
山下夏曜子	2型糖尿病患者の上部消化器がん術後に関する文献検討-自己管理の再構築過程-
小野綾華	ストーマ造設患者の心理状態に関する文献検討
河合結花	臥床状態にある患者のベッド上での体位変換による生体への影響-側臥位における角度、体位保持時間および血圧測定部位の検討-
石橋優子	マッサージによる生理的・主観的指標の変化からみた触れる効果

福德絵梨奈	救急医療における終末期患者家族への代理意思決定支援
前田陽香	足浴の睡眠への効果において実施時間の違いが及ぼす影響-質の良い睡眠を得るための足浴方法の検討-
伊藤茜	ターミナル期の看護における文献研究-症例検討シートを用いた一考察-
鬼塚瑞己	インフォームドコンセントにより生じた心の傷に対する看護-文献研究を中心に-
笠井理恵	終末期患者とその家族に関する文献研究-E・キューブラー・ロスの死の受容過程から見た看護-
久保葵	ERASに基づいた日本の術前炭水化物負荷の現状と有効性について
島倉大	人工股関節全置換術後の安静臥床に伴う腰痛への看護介入
小林千賀子	手術中の低体温予防を目的とした体温管理方法に関する文献検討
西紋菜	日本における麻酔に関連した看護の専門職的自立性と看護実践度の実態調査
小野沙輝	採血・点滴を受ける小児とその家族に対する看護の検討-プレパレーションに焦点をあてて-
松浦希	精神科看護師の陰性感情と感情労働に関する文献検討
吉村拓也	服薬アドヒアランスに関しての現状と支援方法の検討-高齢者に着目して-
瀧岩摩耶	看護師の職業性ストレスの実態と職場環境改善への取り組み
飯盛叶美	認知症高齢者のBPSDに対する非薬物学的介入についての文献検討
佐伯悠	2型糖尿病患者の運動療法継続の困難さと支援に関する文献検討
太田夏希	子宮頸がん検診の現状と向上への取り組み
片山瑞貴	月経困難症・月経前症候群に対する効果的な緩和方法の検討
松山由佳	脳血管障害の患者に対する嚥下訓練の効果に関する文献検討
安田菜奈子	化学療法を受けている乳がん患者の対処方略についての文献検討
片岡良介	足浴がもたらす様々な効果に対する文献検討
寺脇穂奈美	高齢者における転倒予防に関する教育指導の実態とその効果
藤本崇登	看護師の手指消毒実施状況と手指消毒遵守に向けた効果的な介入方法の考察
大和夕葵	看護師の勤務前後のむくみの実態と効果的なセルフケアに関する文献検討

9. 研究生

九州大学病院看護研究コース受講者1名

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導

大池	未来プロジェクト 2016年度8月	看護学科学生の参加
道面	顧問	バスケットボール(保健学科)

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1	婦人科悪性腫瘍における RCAS1 の発現とその意義	加来
2	婦人科悪性腫瘍における血管新生の臨床的意義	加来
3	婦人科悪性腫瘍における臨床病理学的研究	加来
4	婦人科悪性腫瘍における細胞学的研究	加来
5	ダウン症者における睡眠時無呼吸や睡眠障害の疫学研究及び介入研究	樗木
6	漢方看護教育	樗木
7	睡眠と生活習慣病の予防と治療に向けたヘルスプロモーション	樗木
8	睡眠時無呼吸と転倒	樗木
9	医療の場におけるチーム医療と倫理的問題に対するアプローチ(がん医療、看護)	中尾
10	ストレスおよび生活行動の関連性、看護者の well-being	中尾
11	高齢者の身体拘束と QOL	中尾
12	病院倫理委員会における症例コンサルテーション機能の現状と課題	中尾
13	高齢者特有の症状と QOL に関する研究	中尾
14	関節炎及び人工関節患者の QOL に関する縦断研究	藤田(君)
15	慢性疾患患者の QOL と身体活動量評価	藤田(君)
16	糖尿病の自己管理に関する研究	藤田(君)
17	基礎的看護ケア(身体の清潔の援助)が及ぼす生理・心理的影響に関する研究	橋口
18	療養環境における温熱的快適性に関する研究	橋口
19	高齢者における家庭内事故(溺死)に関する研究	橋口
20	高齢者や心疾患患者における体温調節反応および皮膚温度感受性に関する研究	橋口
21	子どもを亡くした家族のグリーフケアプログラムの開発～語りのアクションリサーチ～	濱田
22	看護管理実践を行うために必要な相互作用のあり方や看護管理者の行動についての尺度開発および看護職のストレスマネジメントに関する研究	宮田
23	うつ病患者の家族への心理教育	青本
24	被災地におけるレジリエンスデザイン研究	能登
25	高齢者の家庭内転倒リスクを考慮したウェアラブル端末の開発	能登
26	小児肝移植および小腸移植における拒絶反応の制御	松浦
27	短腸症に対する小腸リハビリテーション指針作成に関する研究	松浦
28	看護のためのコミュニケーション教育・研究	丸山
29	史料(医史学・看護歴史)研究 一人史・地方史・GHQ-	丸山
30	生命・医療倫理学教育・研究-死生観の国際比較研究-	丸山
31	生殖補助医療における生命倫理研究	丸山
32	回復期から慢性期にある脳梗塞患者の身体活動量	潮
33	生体肝移植レシピエントの身体活動量に関する研究	金岡
34	NICU で子どもを亡くされたご遺族の支援に関する看護師の意識調査	北尾
35	NICU における医学上の倫理的意思決定に対する看護師の認識と実態に関する研究	北尾

- | | | |
|----|--|-------|
| 36 | 看護師の退院調整能力と看護実践能力に関する調査 | 酒井 |
| 37 | 看護職の off-JT 担当者に求められる教育能力 | 酒井 |
| 38 | 患者教育における看護師のビリーフ | 道面 |
| 39 | 生体肝移植を受けた子どもと家族の QOL 向上のための看護援助に関する研究 | 藤田(紋) |
| 40 | 子どもを亡くした家族へのグリーフに対する支援に関する研究 | 藤田(紋) |
| 41 | 臓器移植を受ける家族の合意形成を支える支援に関する研究 | 藤田(紋) |
| 42 | 慢性疾患患者の支援 | 前野(里) |
| 43 | 2 型糖尿病患者の身体活動に関する研究 | 前野(里) |
| 44 | 集学的治療を受ける直腸がん患者の QOL 向上に向けた外来看護システムの構築 | 木下 |
| 45 | 化学放射線療法を受ける食道がん患者の QOL 向上と治療の完遂を目指した後ろ向き・前向き研究 | 木下 |

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

大池 美也子

- 「基盤研究(C)」 BedRest 治療中ハイリスク妊婦の主体性を支援するためのケア実践モデルの開発, 大池(分担)
- 「基盤研究(C)」 患者教育における看護師のビリーフ尺度の開発, 大池(分担)
- 「基盤研究(C)」 日本語版ワーク・ファミリー・エンリッチメント尺度の開発, 大池(分担)

加来 恒壽

- 「基盤研究(C)」 子宮内膜癌、内膜増殖症および類縁疾患の核形状・核クロマチン分布の定量的解析, 加来(代表)

樗木 晶子

- 「挑戦的萌芽研究」 入院患者における睡眠呼吸障害の症状を考慮した転倒リスク評価指標の開発, 樗木(代表)
- 「基盤研究(B)」 生活習慣病を有する高齢者における皮膚温度感受性評価と看護ケア開発, 樗木(分担)
- 「基盤研究(C)」 がん患者の意思決定を支える看護者の役割と倫理教育, 樗木(分担)
- 「挑戦的萌芽研究」 療養環境下における湿度条件の指針作成, 樗木(分担)
- 「基盤研究(B)」 睡眠を核とする生活習慣病の予防と改善に向けたヘルスプロモーションの為の基盤構築, 樗木(代表)
- 「基盤研究(C)」 若年ダウン症者における睡眠呼吸障害の有病率及び治療状況に関する二国間比較調査, 樗木(分担)
- 「基盤研究(C)」 慢性疼痛トリガーポイントへの温熱療法を活用した寝たきり防止看護プログラムの構築, 樗木(分担)
- 「基盤研究(C)」 補助化学療法中の大腸がん患者への多職種協働セルフマネジメント支援プログラムの開発, 樗木(分担)
- 「基盤研究(C)」 集学的治療を受ける直腸がん患者の外来における看護支援モデルの構築, 樗木(分担)
- 「基盤研究(C)」 睡眠を妨げない転倒予防のための照明の開発, 樗木(分担)

中尾 久子

- 「基盤研究(C)」 がん患者の意思決定を支える看護師の役割と倫理教育, 中尾(代表)
- 「基盤研究(C)」 情報提供を基盤とした術後せん妄に対する看護師と家族の協働的ケアプログラムの開発, 中尾(分担)
- 「基盤研究(C)」 災害救援活動に従事した看護師のストレスコーピング及び長期的適応プロセスの構造化, 中尾(分担)
- 「基盤研究(B)」 睡眠を核とする生活習慣病の予防と改善に向けたヘルスプロモーションのための基盤構築, 中尾(分担)
- 「基盤研究(C)」 肝移植レシピエントに対する術後の身体活動基準の確立に向けた基礎的研究, 中尾(分担)

藤田 君支

- 「基盤研究(C)」 アジアの人工股関節患者の座式生活における QOL データベースの構築, 藤田(代表)
- 「基盤研究(C)」 人工股関節患者のライフスタイルの違いや豪雪寒冷地による影響と対策ツールの開発研究, 藤田(君)(分担)
- 「基盤研究(C)」 中等度認知症高齢者の家族のためのレスパイトケアモデルの開発に向けた基礎的研究, 藤田(君)(分担)
- 「基盤研究(C)」 肝移植レシピエントに対する術後の身体活動基準の確立に向けた基礎的研究, 藤田(君)(分担)

橋口 暢子

- 「基盤研究(B)」 生活習慣病を有する高齢者における皮膚温度感受性評価と看護ケア開発, 橋口(代表)
- 「挑戦の萌芽研究」 療養環境下における湿度条件の指針作成, 橋口(代表)
- 「挑戦の萌芽研究」 入院患者における睡眠呼吸障害の症状を考慮した転倒リスク評価指標の開発, 橋口(分担)
- 「基盤研究(B)」 睡眠を核とする生活習慣病の予防と改善に向けたヘルスプロモーションの為の基盤構築, 橋口(分担)
- 「基盤研究(C)」 慢性疼痛トリガーポイントへの温熱療法を活用した寝たきり防止看護プログラムの構築, 橋口(分担)
- 「基盤研究(C)」 睡眠を妨げない転倒予防のための照明の開発, 橋口(分担)

濱田 裕子

- 「基盤研究(C)」 子どもを亡くした家族のグリーフケアプログラムの開発～語りのアクションリサーチ～, 濱田(代表)
- 「基盤研究(B)」 身体知としての「参与しつつの観察」に関する基礎研究, 濱田(分担)
- 「基盤研究(B)」 子どもの臓器移植に直面した家族の合意形成をチームで支えるケアガイドラインの開発, 濱田(分担)
- 「基盤研究(C)」 肝移植後の学童期から思春期の子どもと親の QOL 向上のための看護援助モデル構築, 濱田(分担)

宮田 千春

- 「基盤研究(C)」 認知症高齢者の脳の残存機能を活かしてポジティブな情動を引き出す BPSD への介入に関する研究, 宮田(分担)
- 「基盤研究(C)」 介護老人保健施設における看護師の専門職性を高める組織コミットメントモデルの開発に関する研究, 宮田(代表)

木下 由美子

- 「基盤研究(C)」 集学的治療を受ける直腸がん患者の外来における看護支援モデルの構築, 木下(代表)
- 「基盤研究(C)」 がん患者の意思決定を支える看護者の役割と倫理教育, 木下(分担)
- 「基盤研究(B)」 睡眠を核とする生活習慣病の予防と改善に向けたヘルスプロモーションの為の基盤構築, 木下(分担)
- 「基盤研究(C)」 慢性疼痛トリガーポイントへの温熱療法を活用した寝たきり防止看護プログラム, 木下(分担)

能登 裕子

- 「挑戦的萌芽研究」 高齢者の特性と家庭内転倒リスクを考慮した衣服型ウェアラブル端末の開発と検証, 能登(代表)
- 「戦略的創造研究推進事業(文部科学省)問題解決型サービス科学研究開発プログラム「未来の安心のための災害避難所に関するレジリエンスアシストサービス実装の可能性調査」, 能登(分担)

松浦 俊治

- 「基盤研究(C)」 薬剤抵抗性小腸移植片拒絶反応に対する細胞治療法の確立, 松浦(代表)
- 「難治性疾患等政策研究事業」、短腸症の重症度分類・集学的小腸リハビリテーション指針作成に関する研究, 松浦(代表)
- 「基盤研究(C)」 肝移植後の学童期から思春期の子どもと親のQOL向上のための看護援助モデル構築, 松浦(分担)

潮 みゆき

- 「若手研究(B)」 脳卒中後の片麻痺側の活用を促進する主観的「身体感覚評価尺度」の開発, 潮(代表)
- 「基盤研究(C)」 がん患者の意思決定を支える看護者の役割と倫理教育, 潮(分担)

金岡 麻希

- 「挑戦的萌芽研究」 肝移植レシピエントに対する術後の身体活動基準確立に向けた基礎的研究, 金岡(代表)
- 「基盤研究(C)」 がん患者の意思決定をささえる看護者の役割と倫理教育, 金岡(分担)
- 「基盤研究(C)」 集学的治療を受ける直腸がん患者の外来における看護支援の構築, 金岡(分担)

道面 千恵子

- 「基盤研究(C)」 患者教育における看護師のビリーフ尺度、の開発, 道面(代表)

藤田 紋佳

- 「基盤研究(C)」 肝移植後の学童後期から思春期の子どもと親のQOL向上のための看護援助モデル構築, 藤田(紋)(代表)
- 「基盤研究(C)」 子どもを亡くした家族のグリーンケアプログラムの開発～語りのアクションリサーチ～, 藤田(紋)(分担)

北尾 真梨

- 「基盤研究(C)」子どもを亡くした家族のグリーフケアプログラムの開発～語りのアクションリサーチ～, 北尾(分担)

3. 学内研究経費の受入れ

- 「平成26年度 教育の質向上支援プログラム(EEP)」教育力セルフマネジメントプログラムの構築, 大池(分担)
- 「平成27年度九州大学教育研究プログラム・研究拠点プロジェクト(P&P 特別枠「つばさプロジェクト」)」被災地におけるレジリエンスデザイン研究-人文社会学からの理工学への課題提言拠点へ, 能登(分担)
- 「九州大学「出産・育児復帰者支援」+ 脳卒中患者の麻痺側の活用に関する研究, 潮(代表)
- 「研究補助者雇用支援(短期)」療養環境下における湿度条件の指針作成, 橋口(代表)
- 「研究補助者雇用支援」ICT学習システムを用いた基礎看護技術教育の検討 糖尿病患者教育に関する看護師のビリーフ, 道面(山本)(代表)
- 「出産・育児復帰者支援」肝移植患者の身体活動量, 金岡(代表)
- 「研究補助者雇用支援」2型糖尿病患者における身体活動量と自己効力感との検討, 前野(代表)

4. 奨学寄付金の受入れ

- 「医学研究院保健学部門研究資金」田辺三菱製薬, 樗木
- 「医学研究院保健学部門研究資金」第一三共, 樗木
- 「医学研究院保健学部門研究資金」フィデスワン, 樗木
- 「医学研究院保健学部門研究資金」日本ライフライン, 樗木

5. その他の外部研究資金の受入れ

- 「臨床病態医学研究所 地域医療における細胞診断の意義」, 加来
- 「富士ゼロックス 心疾患診断への応用に向けた生体センサーの研究」, 樗木
- 「国立研究開発法人日本医療研究開発機構」先天性心疾患の患者教育とトータルライフケアをめざした医療情報集約システムの構築, 樗木(代表)
- 「株式会社ノーリツ 寒冷環境における入浴行為による身体負担と血圧変動及び心理反応についての研究」, 橋口
- 「障がい児と家族の生活世界を広げる支援プロジェクト」, 濱田
- 「木村看護教育振興財団 看護研究助成 肝移植後患者の生活習慣病と日常生活における身体活動量に関する研究」, 金岡(代表)

6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- Yoshiko Yamaguchi, Takahiro Inoue, Hiroko Harada, Oike Miyako : Job control, work-family balance and nurse's intention to leave their profession and organization:A comparative cross-sectional survey, *Int J Nurs Stud.*, 64, 52 - 62, 2016年09月
- Mayumi Chikubu, Oike Miyako : Wound, Ostomy and Continence nurses competency Model:A qualitative study in Japan, *Journal of Nursing & Health care*, 2, 1 - 7, 2017年03月

- Sonoda K, Yahata H, Okugawa K, Kaneki E, Nakatsuki K, Naka M, Terado N, Ookubo F, Oda Y, Kato K, Kaku T. Isthmic-vaginal cytological finding after a trachelectomy for early-stage cervical cancer. *Cytopathology*. 28, 243-245, 2016年09月
- Hiroyuki Sawatari, Tomoko Ohkusa, Anita Rahmawati, Katsuhiko Ishikawa, Miyuki Tsuchihashi-Makaya, Yuko Ohtsuka, Mori Nakai, Mami Miyazono, Nobuko Hashiguchi, Hiroaki Chishaki, Harumizu Sakurada, Yasushi Mukai, Shujiro Inoue, Sunagawa K, Akiko Suyama Chishaki : Left ventricular ejection fraction predicts severity of post-traumatic stress disorder in patients with implantable cardioverter-defibrillators, *Clinical Cardiology*, 39, 5, 263 - 268, 2016年05月
- Kodani Eitaro, Atarashi Hirotsugu, Inoue Hiroshi, Okumura Ken, Yamashita Takeshi, Origasa Hideki, Akiko Suyama Chishaki : Beneficial Effect of Non-Vitamin K Antagonist Oral Anticoagulants in Patients With Nonvalvular Atrial Fibrillation - Results of the J-RHYTHM Registry 2-, *Circulation Journal*, 80, 4, 843 - 851, 2016年04月
- Hiroshi Inoue, Hirotsugu Atarashi, Eitaro Kodani, Ken Okumura, Takeshi Yamashita, Hideki Origasa, Masayuki Sakurai, Yuichiro Kawamura, Isao Kubota, Kazuo Matsumoto, Yoshiaki Kaneko, Satoshi Ogawa, Yoshifusa Aizawa, Masaomi Chinushi, Itsuo Kodama, Eiichi Watanabe, Yukihiro Koretsune, Yuji Okuyama, Akiko Suyama Chishaki : Regional Differences in Frequency of Warfarin Therapy and Thromboembolism in Japanese Patients With Non-Valvular Atrial Fibrillation - Analysis of the J-RHYTHM Registry -, *Circulation Journal*, 80, 7, 1548 - 1555, 2016年06月
- 塩汲望美, 澤渡裕之, 宮園真美, 橋口暢子, 樋口円香, 中村友美, 吉武さとみ, 田代英樹, 山崎啓子, 伊豆倉理江子, 孫田千恵, 黒田裕美, 藤田香奈恵, 樗木晶子 : 慢性心不全患者におけるうつやQOLに対する電話支援による効果-支援期間の違いによる検討-, *循環器病予防学会誌*, 51, 3, 157 - 165, 2016年10月
- 永松有紀, 佐藤実, 樗木晶子 : 経口抗がん剤治療の服薬アドヒアランス評価に関する研究の動向と課題, *Nursing Care Research*, 15, 2, 44 - 53, 2016年05月
- Eitaro Kodani, Hirotsugu Atarashi, Hiroshi Inoue, Ken Okumura, Takeshi Yamashita, Toshiaki Otsuka, Hirofumi Tomita, Hideki Origasa, Akiko Suyama Chishaki : Impact of Blood Pressure Control on Thromboembolism and Major Hemorrhage in Patients With Nonvalvular Atrial Fibrillation: A Subanalysis of the J - RHYTHM Registry, *J Am Heart Assoc*, 5, 9, 2016年09月
- 橋口暢子, 前野有佳里, 宮園真美, 梅崎園美, 樗木晶子, 栃原 裕 : ミストサウナ浴およびミストサウナ併用半身浴時の生体負担と温熱的快適性, *人間と生活環境*, 23, 1, 9 - 16, 2016年05月
- Chie Magota, Hiroyuki Sawatari, Shin-ichi Ando, Mari K. Nishizaka, Kaoru Tanaka, Kaori Horikoshi, Izumi Hoashi, Nobuko Hashiguchi, Tomoko Ohkusa, Akiko Suyama Chishaki : Seasonal Ambient Changes Influence Inpatient Falls, *Age and ageing*, 46, 3, 513-517, 2017年01月

- Rieko Izukura, Hajime Imada, Nobuko Hashiguchi, Takayuki Ohguri, Mami Miyazono, Shin Ohta, Chizuko Takakura, Keiko Yamasaki, Chie Magota, Kanae Fujita, Hiromi Kuroda, Hideki Hirata, Tomoko Ohkusa, Akiko Suyama Chishaki : Effects of deep regional hyperthermia using an 8-MHz radiofrequency-capacitive device on physiological characteristics in patients with cancer, *International Journal of Hyperthermia*, 1 - 16, 2017年01月
- Tsukasa Kojima, Masateru Kawakubo, Mari K Nishizaka, Anita Rahmawati, Shin-ichi Ando, Akiko Suyama Chishaki, Yasuhiko Nakamura, Michinobu Nagao : Assessment by Airway Ellipticity on Cine -MRI to Differentiate Severe Obstructive Sleep Apnea, *The Clinical Respiratory Journal*, 2016, 1 - 7, 2016年12月
- Anita Rahmawati, Akiko Suyama Chishaki, Tomoko Ohkusa, Hiroyuki Sawatari, Miyuki Tsuchihashi-Makaya, Yuko Ohtsuka, Mori Nakai, Mami Miyazono, Nobuko Hashiguchi, Harumizu Sakurada, Masao Takemoto, Yasushi Mukai, Shujirou Inoue, Kenji Sunagawa, Hiroaki Chishaki : Influence of primary and secondary prevention indications on anxiety about the implantable cardioverter-defibrillator, *Journal of Arrhythmia*, 32, 2, 102 - 107, 2016年04月
- 宮園真美, 澤渡浩之, 橋口暢子, 樗木晶子 : 健常高齢者と若年者に対する下肢加温が及ぼす循環動態の違い-高齢心疾患患者の心不全予防, QOL 向上に向けた基礎的検討-, *日本循環器病予防学会誌*, 51, 2, 125 -, 2016年05月
- 澤渡浩之, 細川和也, 安藤眞一, 宮園真美, 西坂麻里, 橋口暢子, 樗木浩朗, 樗木晶子 : 心不全患者における下肢加温療法による睡眠の改善と心不全増悪の予防, *日本循環器病予防学会誌*, 51, 2, 128 -, 2016年05月
- Chiharu Miyata, Hidenori Arai : Role expectation of nurse managers in geriatric health services facilities, *Advances in Aging Research*, 5, 122 - 130, 2016年09月
- Chiharu Miyata, Hidenori Arai : Professionalism of nurses working in geriatric intermediate care facilities: An Analysis Using Semi-Structured Interviews, *The Journal of Nursing & Healthcare*, 1, 1, 1 - 4, 2016年09月
- 幸野里寿, 宮田千春, 雛田知子, 秋山智弥, 任和子 : 「施設間の連携に強い看護師養成プログラム」京都大学医学部附属病院における看護師在籍出向の試み, Program for Resident Nurses forward to Strengthening of Continuous Nursing Care: Trial to Dispatch Nurses to Local Hospitals from Kyoto University Hospital, *京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻紀要 : 健康科学 : health science*, 11, 7 - 10, 2016年11月
- 能登裕子, 村木里志 : 介助負担と乗り心地を考慮した車いす段差乗り上げ介助操作の姿勢指標, *日本看護技術学会*, 15, 2, 135 - 145, 2016年08月
- 大池美也子 : 高等教育化時代における看護教員としての自己形成過程に関するライフストーリー研究, *日本医学看護学教育学会誌*, 2016年04月

- 坂美奈子, 大池美也子, 原田博子, 能登裕子, 道面(山本)千恵子: 看護専門学校での看護教員の授業設計における思考様式-看護概論担当の看護職員を対象に-, 日本看護教育学会誌, 26, 2, 57-68, 2016年11月
- 大池美也子, 長谷川直人, 道面千恵子, 滝口成美, 伊藤ひろみ, 伊波早苗, 安酸史子, 河口てる子: 「看護の教育的関わりモデル」を活用した教員とのアクションリサーチによる看護師の実践に対する認識の変化, 日本看護科学学会, 36, 19 - 26, 2016年11月
- 道面千恵子, 長弘千恵, 大池美也子, 原田博子, 仲野宏子, 原田広枝: 専門的資格を有する看護師の糖尿病患者教育に対するビリーフの特徴, 国際医療福祉大学学会誌, 21, 2, 103 - 112, 2016年08月
- Kimie Fujita, Kiyoko Makimoto, Masaaki Mawatari : Three-year follow-up study of health related QOL and lifestyle indicators for Japanese patients after total hip arthroplasty, *Journal of Orthopedic Science.*, 21, 2, 191-198, 2016年03月
- Sachiko Makabe , Kimie Fujita, Kiyoko Makimoto, Kaoru Kozuka, Mayumi Miura, Taiki Kanno, Takeshi Masuda, Masaaki Mawatari : Impact of Age on Quality of Life and Difficulty with a Japanese Lifestyle for Patients with Total Hip Arthroplasty. *Journal of Physical Therapy and Health Promotion*, 2, 4, 51-56, 2014年12月
- Pi-Chu Lin, Kimie Fujita, Su-Yu Chang, Yo-Yi Liu: Patient Life Experience and Activity of Daily Living before and after Total Knee Arthroplasty, *Open Journal of Nursing*, 2016, 6, 658-671 658-671, 2016年06月
- 永渕美樹, 藤田君支, 古賀明美: 個人の生活の質評価法(SEIQoL)を用いたインスリンを使用する糖尿病患者のQOLに関する研究. *日本糖尿病教育・看護学会誌*, 20, 1, 27-34, 2016年3月
- 武富由美子, 田渕康子, 藤田君支: がん患者遺族の心的外傷後成長の特徴とストレスコーピング・ソーシャルサポートとの関連, *日本看護研究学会雑誌 (0285-9262)*, 39, 2, 25-33, 2016年06月
- 中尾友美, 小江奈美子, 永渕美樹, 桃坂真由美, 横堀裕美, 岡佳子, 島歌織, 古賀明美, 藤田君支: 慢性疾患看護CNSの実践知を活用した早期糖尿病腎症患者の看護, *木村看護教育振興財団看護研究集録*, 23, 68-84, 2016年06月
- 仲野宏子, 長弘千恵, 猪狩明日香, 道面(山本)千恵子: 60歳代祖母による孫の世話の状況と疲労との関連, 日本地域看護学会, 2016年04月

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Yoshiko Yamaguchi, Hiroko Harada, Oike Miyako : Nurse's psychological health; compared with hospitals, home healthcare and nursing homes, The 20th East Asian Forum of nursing scholars, 2017年03月09日, Hong Kong
- Mayumi Chikubu, Oike Miyako : Actual situation regarding competency in role performance of wound, ostomy and continence nurses in Japan, The 20th East Asian Forum of nursing scholars, 2017年03月09日, Hong Kong

- Mayumi Chikubu, Oike Miyako : Competency elements in the roles of certified wound, Ostomy and continence nurses in Japan, The 3rd Korea-Japan Joint conference on community Health nursing, 2016年07月02日, Korea
- Chieko Domen, Oike Miyako, Chie Nagahiro : Nurses' awareness regarding patient education for diabetics in Japan, The 3rd Korea-Japan Joint conference on community Health nursing, 2016年07月02日, Korea
- Tsunehisa Kaku : CYTOLOGY OF THE OVARIAN SEROUS TUMORS, the 19th International Congress of Cytology , 2016年05月29日, Japan
- Rieko Izukura, Hajime Imada, Chizuko Takakura, Makoto Ohta, Nobuko Hashiguchi, Mami Miyazono, Hiroyuki Sawatari, Hideki Hirata, Tomoko Ohkusa, Akiko Suyama Chishaki : Effects of local hyperthermia on physiological and subjective responses in cancer patients, International Society of Nurses in Cancer care, 2016年09月06日, Hong Kong
- Hisako Nakao, Yumiko Kinoshita, Maki Kanaoka, Miyuki Ushio, Y. Arata, Kohei Kajiwara, Ayaka Fujita, Akiko Suyama Chishaki : State of nursing support for decision-making by cancer patients in Japan, International Society of Nurses in Cancer care, 2016年09月06日, Hong Kong
- Yuki Nagamatsu, Kayo Toyofuku, Minoru Satho, Shiho Kikuta, Mami Miyazono, Akiko Suyama Chishaki : Medication Adherence in Colorectal Cancer Patients With Adjuvant Capecitabine Chemotherapy, International Society of Nurses in Cancer care, 2016年09月05日, Hong Kong
- Kayo Toyofuku, Yuki Nagamatsu, Mami Miyazono, Akiko Suyama Chishaki : Changes Of Eating Behavior, Physical Symptom, And Self-Care Ability In Post-Gastrectomy Patients, International Society of Nurses in Cancer care, 2016年09月06日, Hong Kong
- Hisako NAKAO, Yumiko Kinoshita, Maki Kanaoka, Miyuki Ushio, Kohei Kajiwara, Yukiko Arata, Kimie Fujita, Akiko Suyama Chishaki : STATE OF NURSING SUPPORT FOR DECISION-MAKING BY CANCER PATIENTS IN JAPAN , International Conference on Cancer Nursing 2016 , 2016年09月06日, China
- Kimie Fujita, Yumiko Kinoshita, Maki Kanaoka, Miyuki Ushio, Satoko Maeno, Sakai Kumiko, Hisako NAKAO, Yasuko Tabuchi : Five-years follow-up study of the Euro-QOL-5 dimension (EQ5D) for Japanese patients after total hip arthroplasty, 20th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2017年03月09日, China
- Nobuko Hashiguchi, Yukari Yasuyama, Satomi Mikami, Mami Miyazono, Hiroyuki Sawatari, Akiko Suyama Chishaki, Yutaka Tochiwara : Effects of humidification in winter and dehumidification in summer on physiological and subjective responses in older people, The Fifth International Conference on Human-Environment System ICHES2016, Abstracts, p119, 2016年11月01日, Japan

- Chiharu Miyata, Hidenori Arai : Professionalism of nurses working in geriatric intermediate care facilities , 6th World Nursing and Healthcare conference , 2016年08月15日, United Kingdom
 - Miyuki Ushio, Kimie Fujita, Maki Kanaoka, Satoko Maeno : Physical activity and stroke recurrence risk in patients with TIA and minor non-cardioembolic ischemic stroke in Japan, The 20st East Asisan Forum of Nursing Scholars,, 2017年03月10日, China
 - Chihiro Miyazaki, Masami Maruyama : Listening on End-of-Life Nursing Care - Research of Microcounseling Skills, The 74th International council of psychologists, INC, 2016年07月25日, Japan
 - Satomi Tanaka, Maki Kanaoka ,Kimie Fujita : Objectively measured daily physical activity among Japanese liver transplant recipients, The 20st East Asisan Forum of Nursing Scholars,, 2017年03月9~10日, China
 - Sayori Sakanashi, Kimie Fujita : Empowerment Structure of Family Caregivers of Persons with Dementia, The 20st East Asisan Forum of Nursing Scholars, 2017年03月9~10日, China
- c. **大学・研究機関などの刊行誌**
- 勝村庸介, 金岡麻希 : 「文科省 国際原子力人材育成イニシアティブ事業「看護職の原子力・放射線教育のためのトレーナーズトレーニング」始まる」, Isotope News, 749, 26-28, 2017年2月.
- d. **調査研究報告**
- 公益財団法人安田記念医学財団 癌看護研究助成報告書: 化学放射線療法を受ける食道がん患者のQOL向上と治療の完遂を目指した後ろ向き・前向き研究 (代表)木下
- e. **国内学会での講演, 発表**
- 大池美也子 : ライフストーリーから捉えた看護系教育機関における看護教員の自己形成過程, 第21回日本看護研究学会九州・沖縄地方会学術集会, 2016年11月12日, 宮崎県(宮崎県立看護大学)
 - 山下智美, 大池美也子 : 看護専門学校の看護教員が語る臨床経験に関する事例研究, 第21回日本看護研究学会九州・沖縄地方会学術集会, 2016年11月12日, 宮崎県(宮崎県立看護大学)
 - 加来恒壽, 園田顕三, 矢幡秀昭, 奥川馨, 兼城英輔, 中附加奈子, 仲正喜, 大久保文彦, 小田義直, 加藤聖子 : 子宮頸癌頸部摘出術でのセンチネルリンパ節術中細胞診診断意義に関する後方視的解析, 第57回日本臨床細胞学会総会(春期大会), 2016年05月29日, 横浜パシフィコ
 - 加来恒壽, 中附加奈子, 大久保文彦, 寺戸信芳, 仲正喜, 園田顕三, 加藤聖子, 大石善丈, 山元英崇, 小田義直 : 子宮頸癌頸部細胞診でAGCと判定された症例の後方視的検討, 第57回日本臨床細胞学会総会(春期大会), 2016年05月28日, 横浜パシフィコ
 - 加来恒壽, 藤井直人, 渡邊壽美子, 鷺山和幸, 杉島 節夫 : BCG曝露によるp21の発現増加とp27の関係, 第57回日本臨床細胞学会総会(春期大会), 2016年05月28日, 横浜パシフィコ

- 加来恒壽, 八尋裕美子, 田中亜都子, 舟越乾, 大田喜孝, 桧垣浩一: 当事業団における子宮頸がん検診不適正検体に関する検討, 第57回日本臨床細胞学会総会(春期大会), 2016年05月28日, 横浜パシフィコ
- 加来恒壽: 卵巣明細胞癌, 第13回日本婦人科がん会議, 2016年10月01日, 志摩観光ホテル
- 宮園真美, 澤渡浩之, 橋口暢子, 樗木晶子: 健常高齢者と若年者に対する下肢加温が及ぼす循環動態の違い—高齢心疾患患者の心不全予防、QOL向上に向けた基礎的検討—, 第52回日本循環器病予防学会, 2016年06月17日, 埼玉
- 山崎啓子, 宗内淳, 新原亮史, 坂本一郎, 山村健一郎, 樗木晶子: 先天性心疾患をもつ経産婦の周産期リスクの検討, 第52回小児循環器学会総会・学術集会, 2016年07月06日, 東京
- Anita Rahmawati, Akiko Suyama Chishaki, Sakiko Handa, Kanae Fujita, Tomoko Ohkusa, Hiroyuki Sawatari, Mari K Nishizaka, Shin-ichi Ando: Effects of continuous positive airway pressure (CPAP) therapy on magnetic resonance imaging (MRI) parameters in patients with obstructive sleep apnea, 日本睡眠学会第41回定期学術集会, 2016年07月07日, 東京
- 吳茜, 吉田大悟, 半田早希子, 柴田舞欧, 澤渡浩之, 藤田香奈恵, 西坂麻里, 細井昌子, 鳩野洋子, 安藤眞一, 清原裕, 二宮利治, 樗木晶子: 地域一般住民における睡眠時無呼吸症候群患者の受療行動に関連する因子の検討, 日本睡眠学会第41回定期学術集会, 2016年07月07日, 東京
- 藤田香奈恵, 樗木晶子, 鳩野洋子, 橋口暢子, 澤渡浩之, 佐伯順子, 吳茜, 半田早希子, 西坂麻里, 安藤眞一: 睡眠障害におけるCPAP治療の継続及び中断に関する因子の検討, 日本睡眠学会第41回定期学術集会, 2016年07月07日, 東京
- 黒田裕美, 樗木晶子, 澤渡浩之, 西坂麻里, 大草智子, 小野淳二, アニタ・ラハマワティ, 橋口暢子, 津田緩子, 安藤眞一: ダウン症児童における睡眠呼吸障害関連症状と疾患の関連, 日本睡眠学会第41回定期学術集会, 2016年07月07日, 東京
- Anita Rahmawati, Akiko Suyama Chishaki, Hiroyuki Sawatari, Katsuhiko Ishikawa, Miyuki Tsuchihashi-Makaya, Yuko Ohtsuka, Mori Nakai, Mami Miyazono, Nobuko Hashiguchi, Sakurada Harumizu, Masao Takemoto, Yasushi Mukai, Shujirou Inoue, Hiroaki Chishaki: Factors influencing depressive symptoms severity in patients with implantable cardioverter defibrillators, 第63回日本不整脈心電学会学術大会, 2016年07月15日, 北海道
- 宮園真美, 澤渡浩之, 橋口暢子, ラハマワティ アニタ, 竹本真生, 向井靖, 井上修二郎, 眞茅みゆき, 櫻田春水, 仲井盛, 樗木浩朗, 樗木晶子: 在宅療養をするICD植込み患者への外来看護援助, 第63回日本不整脈心電学会学術大会, 2016年07月15日, 北海道
- 春山裕典, 向井靖, 井上修二郎, 樗木晶子, 筒井裕之: 心房細動患者の非心臓手術施工時における脳梗塞/塞栓症発症-連続4例の考察, 第26回九州不整脈研究会, 2016年07月23日, 福岡
- 武富貴久子, 伊藤陽一, 徳永えり子, 藤野ユリ子, 平野裕子, 樗木晶子, 大滝純司: 女性医療人の労働生活の質評価尺度の開発と検証, 第48回日本医学教育学会大会, 2016年07月30日, 大阪

- 樗木晶子：しなやかなワークライフバランスと人材多様性をめざして，第46回日本腎臓学会西部学術大会，2016年10月15日，宮崎
- 新原亮史，大草知子，山崎啓子，澤渡浩之，樗木晶子：術後成人先天性心疾患患者における心血管イベントの発生について－心疾患別心血管イベント発生予防の指導を目指して－，第13回日本循環器看護学会学術集会，2016年10月22日，仙台
- 山崎啓子，澤渡浩之，新原亮史，大草知子，樗木晶子：先天性心疾患合併妊婦の周産期管理，第13回日本循環器看護学会学術集会，2016年10月22日，仙台
- 河合俊輔，向井靖，井上修二郎，樗木晶子，筒井裕之：左上大動脈遺残隔離が有効だった持続性心房細動の一例，日本不整脈心電学会カテーテルアブレーション関連周期大会2016，2016年10月28日，福岡
- 中尾久子，木下由美子，金岡麻希，潮みゆき，新裕紀子，梶原弘平，樗木晶子：看護師のがん患者の意思決定支援役割の必要性の認識とその実施状況，第36回日本看護科学学会学術集会，2016年12月11日，東京
- 新原亮史，山崎啓子，坂本一郎，山村健一郎，兒玉祥彦，石川司朗，澤渡浩之，大草知子，樗木浩朗，筒井裕之，樗木晶子：ファロー四徴症患者における心血管イベントの発症とその予測因子の検討，第19回日本成人先天性心疾患学会総会・学術集会，2017年01月14日，三重
- 姜旻廷，Anita Rahmawati，山崎啓子，新原亮史，藤田香奈恵，坂本一郎，山村健一郎，樗木浩朗，筒井裕之，樗木晶子：先天性心疾患のひとつである単心室における性差の検討，10回日本性差医学・医療学会学術集会，2017年01月29日，名古屋
- Anita Rahmawati, Akiko Suyama Chishaki, Tomoko Ohkusa, Hiromi Kuroda, Hiroyuki Sawatari, Nobuko Hashiguchi, Ando Shinichi: Influence of gender on the sleep-disordered breathing-related signs and symptoms in people with Down syndrome., 第10回日本性差医学・医療学会学術集会，2017年01月29日，名古屋
- 樗木晶子，中島直樹，戸高浩司，大賀正一，山村健一郎，筒井裕之，坂本一郎，加藤聖子，谷口初美，大草知子，吉田敬子，石川司朗，丹羽公一郎，神谷千鶴子：電子的データ収集システムを用いた成人先天性心疾患患者登録とその心疾患イベントの検討，2016年度AMED合同成果報告会，2017年02月10日，東京
- 井上修二郎，向井靖，上徳豊和，河合俊輔，樗木晶子，筒井裕之：ペースメーカー留置1ヶ月後にリード穿孔が原因と思われる心嚢液貯蓄を認め、保存的加療で良好な経緯を辿った1例，第9回植込みデバイス関連冬季大会，2017年02月17日，大阪
- Shunsuke Kawai, Yasushi Mukai, Shujiro Inoue, Akiko Suyama Chishaki, Hiroyuki Tsutsui: Location and Coupling Interval Of Ectopic Beats Have Key Roles in the Onset of Atrial Fibrillation from the Pulmonary Veins., 第81回日本循環器学会学術講演会，2017年03月17日，金沢
- Shunsuke Kawai, Yasushi Mukai, Shujiro Inoue, Akiko Suyama Chishaki, Hiroyuki Tsutsui: Non-pulmonary Veib Trigger of Atrial Fibrillation is Likely to Arise from Low Voltage Area in the Left Atrium., 第81回日本循環器学会学術講演会，2017年03月18日，金沢

- Shujiro Inoue, Yasushi Mukai, Shunsuke Kawai, Susumu Takase, Akiko Suyama Chishaki, Hiroyuki Tsutsui : Clinical Characterization of Peri-mitral Flutter and Comparison of the Anterior Line and Mitral Isthmus Ablation., 第81回日本循環器学会学術講演会, 2017年03月18日, 金沢
- Ichiro Sakamoto, Kisho Ohtani, Yamamura K, Akiko Suyama Chishaki, Hiroyuki Tsutsui : Collaborative expert care including cardiologists and obstetricians for pregnancy in woman with systemic ventricle., 第81回日本循環器学会学術講演会, 2017年03月18日, 金沢
- Anita Rahmawati, Akiko Suyama Chishaki, Mami Miyazono, Miyuki Tsuchihashi-Makaya, Hiroyuki Sawatari, Yuko Ohtsuka, Nobuko Hashiguchi, Harumizu Sakurada, Masao Takemoto, Mori Nakai, Yasushi Mukai, Shujirou Inoue, Hiroaki Chishaki : Implantable cardioverter-defibrillator patients' worries and its related factors., 第81回日本循環器学会学術講演会, 2017年03月17日, 金沢
- Keiko Yamasaki, Jun Muneuchi, Kenichiro Yamamura, Ichiro Sakamoto, Eriko Izukura, Ryoji Shinbara, Tomoko Ohkusa, Hiroaki Chishaki, Hiroyuki Tsutsui, Akiko Suyama Chishaki : Perinatal Risks of Pregnant Women with Congenital Heart Diseases -Based on the Classification of Cyanotic and Acyanotic Congenital Heart Diseases-, 第81回日本循環器学会学術講演会, 2017年03月17日, 金沢
- 山崎啓子, 宗内淳, 山村健一郎, 坂本一郎, 伊豆倉理江子, 新原亮史, 澤渡浩之, 大草知子, 樗木浩朗, 筒井裕之, 樗木晶子 : 先天性心疾患合併妊婦の周産期管理中の看護-チアノーゼ性心疾患とチアノーゼ性心疾患での検討-, 第81回日本循環器学会学術講演会, 2017年03月19日, 金沢
- Ryoji Shinbara, Keiko Yamasaki, Ichiro Sakamoto, Kenichiro Yamamura, Yoshihiko Kodama, Shiro Isikawa, Hiroyuki Sawatari, Tomoko Ohkusa, Hiroaki Chishaki, Hiroyuki Tsutsui, Akiko Suyama Chishaki : Cardiovascular Events in Adolescent And Adult Periods Of Patients With Tetralogy Of Fallot., 第81回日本循環器学会学術講演会, 2017年03月18日, 金沢
- Wu Qian, Daigo Yoshida, Kota Funakoshi, Hiroyuki Sawatari, Mari Nishizaka, Tomoko Ohkusa, Ando Shinichi, Toshiharu Ninomiya, Akiko Suyama Chishaki : Influencing factors on the Medical Behaviors after Health Checkup in Community-dwelling Subjects with Sleep Apnea Syndrome., 第81回日本循環器学会学術講演会, 2017年03月17日, 金沢
- 黒田裕美, 真崎陽菜, 長門里音香, 井川幸子, 馬場妙子, 山口智美, 澤渡浩之, 樗木晶子 : 慢性心不全患者のボディイメージの実態と関連因子の検討, 第13回日本循環器看護学会学術集会, 2016年10月22日, 仙台
- 山崎啓子, 樗木晶子 : 先天性心疾患合併妊娠におけるコメディカルの役割, 第19回日本成人先天性心疾患学会総会・学術集会, 2017年01月15日, 三重

- 梶原弘平, 能登裕子, 山中真, 中尾久子: 認知症高齢者の在宅介護者の介護継続意思に影響する要因の検討, 日本老年看護学会, 2016年07月23日, 埼玉県大宮市
- 松清由美子, 中尾久子: 災害救援看護者の救援活動によるストレス反応とその影響要因における性差, 日本看護科学学会学術集会, 2016年08月27日, 久留米市
- 飯野祥之, 中尾久子, 酒井久美子: 看護職員の確保に向けた組織的取組みの認知と組織コミットメントとの関連性, 日本看護研究学会 第42回学術集会, 2016年08月21日, つくば国際会議場
- 飯野祥之, 中尾久子, 酒井久美子: 地方公立病院看護師における組織コミットメントと離職意図・離職理由の関連, 第47回日本看護学会 看護管理, 2016年09月27日, 石川県金沢市、石川県立音楽堂・ホテル日航金沢・金沢アートホール
- 新裕紀子, 中尾久子: 看護師のwell-beingに関する文献検討, 日本看護科学学会学術集会, 2016年12月11日, 東京
- 橋口暢子: 温熱環境と看護ケア, 第74回日本生理人類学会(石川)大会要旨集p26, 2016年10月23日, 石川県七尾市和倉温泉観光会館
- 林政伸, 橋口暢子, 古賀弘子, 野中隆, 前川旭, 前田享史, 入浴前の寒冷刺激が入浴時の血圧変動に及ぼす影響, 2016年度日本生理人類学会夏期セミナー, 2016.09.04.
- 澤渡浩之, 細川和也, 安藤眞一, 宮園真美, 西坂麻里, 橋口暢子, 樗木浩朗, 樗木晶子: 心不全患者における下肢加温療法による睡眠改善と心不全増悪予防, 第52回日本循環器病予防学会, 2016年06月17日, 埼玉県県民健康センター
- 奥本綾香, 宮田千春, 木下彩栄: 急性期病院における離床センサー使用と道徳的感受性について～マニュアルの有無の観点から～, 第9回日本看護倫理学会年次大会, 2016年05月21日
- 原田起代枝, 宮崎敬子, 立花由紀子, 和田美香, 小林より子, 植木隆, 木下由美子: 当院ストーマ看護外来通院中のオストメイトのQOL調査, 第40回日本大腸肛門病学会九州地方会 第31回九州ストーマリハビリテーション研究会, 2016年09月26日, 沖縄
- 平川善大, 大池美也子, 能登裕子: 看護基礎教育におけるウェブディスプレイを導入した教育実践の利点と課題, 第11回医療系eラーニング全国交流会, 2016年09月10日, 酪農学園大学(北海道江別市)
- 能登裕子, 村木里志: 車いすティッピングレバー形状が段差乗り上げ操作を行う介助者の筋活動に及ぼす影響, 第51回人類働態学会全国大会, 2016年06月11日, 富山大学五福キャンパス(富山県富山市)
- 平川善大, 大池美也子, 能登裕子: 看護基礎教育におけるシミュレーション教育でのICT教材の活用に関する文献検討, 日本看護研究学会九州・沖縄地方会, 2016年11月12日, 宮崎県立看護大学(宮崎県宮崎市)
- 能登裕子, 村木里志: 車いすのティッピングレバー形状が車いすの軌跡と介助者の踏み込み姿勢に及ぼす影響, 日本人間工学会第37回九州・沖縄支部大会, 2016年10月16日, 唐津ロイヤルホテル(佐賀県唐津市)
- 田中里美, 能登裕子: 成人看護学看護過程演習における学生の学習意欲を促進する授業方法の検討, 第36回日本看護科学学会学術集会, 2016年12月10日, 東京国際フォーラム(東京都千代田区)

- 尾方義人, 江頭優佳, 能登裕子, 縄田健悟, 大草孝介, 藤智亮, 綿貫茂喜, 山田クリス孝介: 熊本地震避難所の揭示情報からみる生活者のレジリエント分析, 地区防災計画学会第3回大会, 2017年03月04日, 京都大学宇治キャンパス「宇治おうばくプラザ」
- 丸山マサ美: 新時代の看護歴史教育・研究—平成27年九州大学医学歴史館—, 日本看護歴史学会, 2016年08月22日, 札幌医科大学
- 丸山マサ美: 臨床現場における看護倫理問題をいかに解くか—倫理的感受性を高めるための看護倫理教育—第4弾, 日本看護学教育学会, 2016年08月19日, 徳島市アスティとくしま
- 潮みゆき: 軽症脳梗塞患者の身体活動量とQOL, 第43回日本脳神経看護研究学会, 2016年09月30日, 九州大学百年講堂, 福岡市
- 田中さとみ, 金岡麻希, 藤田君支: 生体肝移植待機患者の身体活動量の実態(第一報), 日本看護研究学会第42回学術集会, 2016年08月20日, つくば国際会議場(茨城県つくば市)
- 金岡麻希, 田中さとみ, 藤田君支: 生体肝移植待機患者の身体活動量の実態(第二報)健康関連QOLとの考察, 日本看護研究学会第42回学術集会, 2016年08月20日, つくば国際会議場(茨城県つくば市)
- 田中さとみ, 金岡麻希, 奥千恵美, 藤田君支: 移植後患者における国際標準化身体活動質問票を用いた身体活動量の実態調査, 第12回日本移植・再生医療看護学会学術集会, 2016年11月12日, ウィンク愛知(愛知県名古屋市)
- 河野友香, 金岡麻希, 牧美江: 臍切除術式別の術後経口摂取開始時期、鎮痛剤使用量、看護必要度および在院日数の実態調査, 第36回日本看護科学学会学術集会, 東京, 2016年12月10日, 東京国際フォーラム(東京都千代田区)
- 北尾真梨: NICUにおける治療継続の意思決定に対する看護師の認識と実態に関する研究, 第26回日本小児看護学会, 2016年07月24日, 別府国際コンベンションセンター ビーコンプラザ
- 潮みゆき, 藤田君支, 前野里子, 金岡麻希, 酒井久美子, 木下由美子, 中尾久子: 軽症脳梗塞患者の身体活動の実態, 第36回日本看護科学学会, 2016年12月10日, 東京国際フォーラム(東京都千代田区)
- 前野里子, 藤田君支, 木下由美子: 2型糖尿病患者の身体活動量とHbA1c、糖尿病合併症および運動自己効力感との関連の検討, 日本糖尿病教育・看護学術集会, 2016年09月18日, 山梨
- 一ノ瀬喜美子, 菊武恵子, 木下由美子: 看護師のがん看護に関する困難感の経験年数別の特徴、および困難感と感情労働・コーピングとの関連、日本がん看護学会学術集会, 2017年2月20・21日、千葉市
- 潮みゆき, 前野里子, 藤田君支: 軽症脳梗塞患者の健康関連QOL, 第21回日本看護研究学会九州・沖縄地方会学術集会, 2016年11月12日, 宮崎県立看護大学, 宮崎市
- 藤田君支: 人工股関節全置換術後の気分に影響する症状と社交, 第21回日本看護研究学会九州・沖縄地方会学術集会 2016年11月12日, 宮崎県立看護大学, 宮崎市
- 坂梨佐織, 藤田君支: 家族介護者のエンパワメントに関する文献レビュー, 第36回日本看護科学学会, 2016年12月10日, 東京国際フォーラム(東京都千代田区)
- 濱田裕子, 藤田紋佳: 子どものend of lifeにおける「看とりの場」の検証, 第21回日本緩和医療学会学術大会, 2016年6月17-18日, 京都

- 田代恵理, 藤田紋佳, 濱田裕子: 新生児医療施設で子どもを亡くした親の悲嘆に関する文献検討, 第26回 日本小児看護学会, 2016年07月23日, 別府国際コンベンションセンター ビーコンプラザ
- 濱田裕子: 看護がつなぐトータルケアの試み～福岡子どもホスピスプロジェクトの活動から～, 第26回 日本小児看護学会, 2016年07月23日, 別府国際コンベンションセンター ビーコンプラザ
- 濱田裕子: 地域で支える重い病気や障がいのある子どものいのちと育ち, 第24回 日本ホスピス在宅ケア研究会全国大会, 2017年2月5日, 久留米シティプラザ
- 山中留奈, 藤田紋佳: 小児がんの子どもの痛みに関する看護師の認識と子どもと家族への看護の現状に関する文献研究, 第26回 日本小児看護学会, 2016年07月23日, 別府国際コンベンションセンター ビーコンプラザ
- 丸山マサ美, 藤村龍子: 看護基礎教育課程における看護倫理を学ぶ意味を考えるー臨床実践現場で学看護倫理意思決定モデルの探求ー, 日本看護学教育学会第26回学術集会, 2016年08月23日, 東京
- 丸山マサ美, 川嶋みどり, 古澤千登勢, 舩山健二: シンポジウム(テーマ)看護歴史教育の必要性; 九州大学医学歴史館“看護教育史料”の意義, 日本看護歴史学会第30回学術集会, 2016年08月20日, 千葉
- 丸山マサ美: Notes on Nursing (1860)復刻版の意味, 日本医史学会福岡地方会, 2017年02月25日, 福岡

f. 学会以外での講演, 発表

- 新原亮史, 山崎啓子, 坂本一郎, 樗木晶子: 先天性心疾患患者さんの自己管理や心の健康の重要性, 大分患者会 講演会, 2017年03月12日, 大分
- 山崎啓子, 樗木晶子: 心疾患の患者さんと病気について-私たちが考えなければいけないこと, 鹿児島家族会 講演会, 2017年03月12日, 鹿児島
- 山崎啓子, 樗木晶子, 石川司朗, 兒玉祥彦: 「先天性心疾患患者の自立について」、「先天性心疾患について・日常生活の注意点について」, 成人先天性疾患医療講演会(宮崎家族会), 2017年03月05日, 鹿児島
- 濱田裕子: 「重い病気や障がいがあっても地域で子どものいのちと育ちを支えるために」、小児在宅医療推進シンポジウム、2016年10月15日、宮崎県医師会館

8. 著作

1. 単行本

- 加来恒壽, 森谷卓也, 手島伸一: (編集) 卵巣・卵管腫瘍病理アトラス改訂・改題第2版, 2016年10月, 文光堂
- 樗木晶子: (単著) 日本循環器学会雑誌「循環器専門医」, 2016年08月, 南江堂
- 樗木晶子: (共著) 今日の治療指針 2017年版, 2017年01月, 医学書院
- 空にかかるはしご編集委員会(濱田裕子)編: 「そらにかかるはしご～天使になった子どもと生きるグリーンサポートブック～」, 2017.3月, 九州大学大学院濱田裕子研究室
- 丸山マサ美, 木村専太郎: Notes on Nursing (1860)復刻版, 2017年03月, 丸善

2. 総説

- 樗木晶子：心電図，その性差とジェンダーと，心電図 Vol. 36:2, P105-106，2016年06月

3. 解説，書評など

- 河合俊輔，向井靖，高瀬進，坂本和生，井上修二郎，樗木晶子，大井啓司，砂川賢二：Purkinje線維起源の心室期外収縮を契機とした特発性心室細動に対しアブレーションが奏功した若年男性の1例，心電図 Vol. 36 SUPPL. 4，2016年12月

9. 受賞

- 大池，「福岡県看護協会がかかわる講習会や研修会あるいは学会企画に関するこれまでの貢献」，福岡県看護協会会長賞，福岡県看護協会，2016年08月

10. 報道

- 樗木，千葉日報、茨木新聞、京都新聞、室蘭新聞、山梨日日新聞、新潟日報、山形新聞、神奈川新聞、山陰新聞、デーリー東北、福井新聞、上毛新聞、神戸新聞、山口新聞、北海道新聞、愛媛新聞、秋田さきがけ、下野新聞、高知新聞、沖縄タイムズ、静岡新聞、，「見逃さないで・女性心臓病」，2016年04月
- 樗木，日本医事新報，「女性の虚血性心疾患が男性よりも重症化しやすいのはなぜか」，2016年06月
- 樗木，日本心臓財団HP原稿執筆 今月のトピックス，「微小血管狭心症をご存知ですか。」，2016年10月
- 樗木，おっしょい第35号，「「性差医学」をご存じでしょうか」，2016年10月

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 樗木，心疾患診断への応用に向けた生体センサーの研究，富士ゼロックス，2015年12月～2018年03月
- 濱田，障がい児と家族の生活世界を広げる支援プロジェクト，，2016年04月～2018年03月

2. 受託研究

- 加来，地域医療における細胞診断の意義，臨床病態医学研究所，2007年01月～2016年04月
- 橋口，寒冷環境における入浴行為による身体負担と血圧変動及び心理反応についての研究，株式会社ノーリツ，2016年04月～2018年03月

3. 取得特許 なし

4. 兼業 なし

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 大池，マヒドン大学(Thailand)，大学・研究所訪問，2016年06月～2016年06月（2週間未満）
- 橋口，元智大学(Yuan Ze University)(Taiwan)，大学・研究所訪問，2016年09月～2016年09月（2週間未満）
- 大喜，樗木，加来，丸山，香港大学(Hong Kong University)(Hong Kong)，2017年03月21日～23日，香港大学看護学部との国際交流

- 松浦, Yangon Children's Hospital, Myanmar, 小児肝胆道疾患 手術技術支援訪問, 2016年11月(約1週間)
 - 丸山, 延世大学(Korea), 大学・研究所招聘, 2017年03月27日~2017年03月29日
2. 外国人研究者の受入れ
- 訪問教授・研究員 なし
 - 訪問研究者 なし
2. 留学生の受入れ

呉 茜	修士課程
Anita Rahmawati	研究生
趙瑩瑩	修士課程
李キンセン	修士課程

3. 学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 樗木, 基幹教育院倫理委員会委員
- 樗木, 特定認定研究監査委員
- 樗木, 入学試験実施委員会委員長
- 樗木, 九州大学医系地区部局同窓会理事
- 樗木, 将来計画、点検・評価委員会委員
- 樗木, 研究補助者支援制度 書面審査委員
- 樗木, 循環器病未来医療研究センター長

2. 部局委員

- 大池, 保健学科教務委員会委員
- 樗木, きらめきプロジェクトキャリア支援センター 副センター長
- 中尾, 九州大学病院看護キャリアセンター 副センター長
- 藤田(君), 九州大学医系地区部局臨床研究(観察研究)倫理審査会委員
- 橋口, 医療系統合教育研究センター委員
- 濱田, ユーザー感性学感性コミュニケーションコースコース長
- 濱田, ユーザー感性学専攻教務WG長
- 金岡, 九州大学病院先進医療適応評価委員

3. 部門・コース内委員

- 加来, 施設委員会(委員長)
- 中尾, 保健学部門副部門長
- 中尾, 総務委員会委員
- 中尾, 看護学分野長
- 中尾, 将来計画・点検評価委員会委員
- 中尾, 研究推進委員会委員
- 中尾, 財務委員会委員
- 中尾, 入学試験実施委員会委員
- 中尾, 年報委員会委員
- 中尾, 人事委員会委員
- 中尾, 再任審査委員会委員
- 中尾, 教員業績評価委員会委員
- 中尾, FD 実行委員会委員

- 中尾, 学生支援会運営委員会委員
- 中尾, 看護教育運営会議、委員長
- 中尾, 看護学専攻卒業研究委員会委員
- 中尾, 看護学実習委員会委員
- 中尾, 看護学分野国際交流 WG 委員
- 藤田(君), 部門大学院委員会委員長
- 藤田(君), 統合基礎看護学講座長
- 藤田(君), 看護学実習委員会委員長
- 藤田(君), 看護教育運営会議委員
- 藤田(君), 看護教育研究推進 WG 委員
- 橋口, 看護学実習委員会委員
- 橋口, 看護教育運営会議委員
- 橋口, 将来計画、点検、評価委員、研究推進委員、年報委員
- 濱田, 看護学実習委員会委員
- 青本, 看護学実習委員会委員
- 木下, 看護学実習委員会委員
- 木下, 広報委員
- 能登, 看護学実習委員会委員
- 能登, 九州大学病院臨地実習指導者会議構成員
- 能登, 学生委員会委員
- 道面, 施設環境委員会委員
- 道面, 卒業研究委員会委員
- 金岡, 看護学実習委員会委員
- 金岡, 卒業研究委員会委員
- 金岡, 九州大学病院臨地実習指導者会議構成員
- 酒井, 看護教育運営会議委員
- 酒井, 看護学分野国際交流 WG 委員
- 酒井, 地域国際推進連携・FD委員
- 潮, 看護学分野国際交流 WG 委員
- 潮, 地域国際推進連携・FD委員

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 大池, 福岡県糖尿病療養指導士研修会講師・面接委員
- 大池, 福岡県医師会(看護師卒後研修)
- 大池, 独立法人国立病院機構九州ブロック(実習指導者養成)
- 大池, 福岡県看護協会臨地実習指導者講習会
- 大池, 福岡県看護協会(看護職者ファーストレベル)講師
- 大池, 福岡県看護専任教員養成講習会
- 大池, 九州看護福祉大学, 非常勤講師
- 大池, 宗像医師会病院
- 大池, 久留米大学医学部看護学科, 非常勤講師
- 樗木, 放送大学, 客員教員.
- 中尾, 福岡女学院看護大学, 非常勤講師
- 中尾, 福岡県看護協会認定看護師教育センター, 非常勤講師
- 中尾, 久留米大学医学研究院修士課程, 非常勤講師
- 中尾, 山口大学医学研究科修士課程, 非常勤講師
- 藤田(君), 放送大学, 非常勤講師
- 藤田(君), 純真学園大学, 非常勤講師

- 濱田, 久留米大学大学院, 非常勤講師(集中講義)
- 濱田, 高知県立大学大学院看護学研究科, 非常勤講師 集中講義.
- 濱田, 独立行政法人国立病院機構九州ブロック 実習指導者養成講習会, 非常勤講師
- 濱田, 産業医科大学・産業保健学部, 非常勤講師
- 宮田, 京都大学医学研究科, 非常勤講師
- 宮田, 熊本駅前 看護リハビリテーション学院, 非常勤講師
- 青本, 福岡看護高等専修学校, 非常勤講師
- 木下, 皮膚・排泄ケア認定看護師教育課程 文献検索・文献購読, 非常勤講師
- 木下, 福岡県看護教員養成講習会 研究方法演習, 非常勤講師
- 丸山, 聖マリア学院大学・大学院, 非常勤講師
- 金岡, 福岡県看護教員養成講習会, 研究方法演習, 非常勤講師

2. 学協会

- 大池, 日本看護研究学会九州・沖縄地区地方会, 役員, 国内
- 大池, 日本がん看護学会, その他, 国内
- 大池, 日本看護学研究学会, 評議員, 国内
- 大池, 福岡県看護協会編集委員会(記念誌), 福岡県看護協会編集委員会委員長, 国内
- 大池, 日本看護学教育学会, 臨地実習指導者講習会, 国内
- 大池, 日本看護学教育学会, 専任査読者, 国内
- 大池, 日本看護医療学会誌, 査読委員, 国内
- 大池, 日本看護研究学会誌, 査読委員, 国内
- 大池, 日本看護科学会誌和文誌, 査読委員, 国内
- 大池, 日本看護医療学会誌, 査読委員, 国内
- 加来, 第41回細胞診断学セミナー講師, 日本臨床細胞学会, 学術団体.
- 加来, 日本臨床細胞学会, 常務理事, 国内
- 加来, 日本臨床細胞学会, 渉外・広報委員会委員長, 国内
- 加来, 日本臨床細胞学会九州連合会, 会長, 国内
- 加来, 福岡母性衛生学会, 理事, 国内
- 加来, 日本母性衛生学会, 代議員, 国内
- 加来, 日本臨床細胞学会九州連合会雑誌, 編集委員長, 国内
- 加来, International Journal of Clinical Oncology, 編集委員, 国際
- 加来, 日本臨床細胞学会, 査読委員, 国内
- 樗木, 日本心電学会, 評議員, 国内
- 樗木, 日本循環器病予防学会, 理事, 国内
- 樗木, 心臓性急死研究会, 世話人, 国内
- 樗木, 日本心電学会, 理事, 国内
- 樗木, 日本看護研究学会, 査読委員, 国内
- 樗木, 日本性差医学・医療学会, 理事, 国内
- 樗木, 日本ホルター・ノンインベシブ心電学研究会, 幹事, 国内
- 樗木, 日本循環器看護学会, 代議員, 国内
- 樗木, 日本循環器学会九州支部, 役員, 国内
- 樗木, 日本循環器学会, 社員, 国内
- 樗木, 日本循環器看護学会, 学会誌選任査読委員, 国内
- 樗木, 日本心臓病学会, 総務委員会男女共同参画WG委員, 国内
- 樗木, 日本循環器看護学会, 学会誌専任査読委員, 国内
- 樗木, 日本循環器看護学会(和文), 専任査読委員, 国内
- 樗木, 日本看護研究学会, 査読委員, 国内
- 樗木, 日本循環器学会専門医誌, 試験問題と解説, 国内
- 樗木, 日本不整脈心電学会, 編集委員会『心電図』委員, 国内

- 中尾, 日本看護科学学会, 代議員, 国内
- 中尾, 日本生命倫理学会, 評議員, 国内
- 中尾, 日本生命倫理学会, 研究開発委員会委員, 国内
- 中尾, 日本看護学教育学会, 評議員, 国内
- 中尾, 日本看護倫理学会, 学術活動推進委員会委員, 国内
- 中尾, 日本看護研究学会, 評議員, 国内
- 中尾, 日本がん看護学会, 代議員, 国内
- 中尾, 日本看護科学学会誌, 査読委員, 国内
- 中尾, 生命倫理(日本生命倫理学会誌), 編集委員, 国内
- 中尾, 日本看護研究学会誌, 査読委員, 国内
- 中尾, 日本がん看護学会誌, 査読委員, 国内
- 藤田(君), 日本看護研究学会九州沖縄地方会, 会長, 国内
- 藤田(君), 日本看護研究学会, 査読委員
- 藤田(君), 日本慢性看護学会, 代議員
- 藤田(君), 日本老年看護学会, 代議員
- 藤田(君), 日本老年看護学会, 認知症研修会委員
- 藤田(君), 日本糖尿病教育・看護学会, 代議員
- 藤田(君), 日本糖尿病教育・看護学会, 第21回学術集会企画委員
- 藤田(君), 日本看護科学学会, 代議員
- 藤田(君), 日本看護科学学会誌, 査読委員
- 藤田(君), The Journal of Academy Nursing Sciences, Reviewer, 国際
- 橋口, 日本生理人類学会, 評議員, 国内
- 橋口, 人間と生活環境系学会, 評議員, 国内
- 濱田, 日本小児看護学会, 評議員, 国内
- 濱田, 日本小児看護学会, 倫理委員会委員, 国内
- 濱田, 第26回日本小児看護学会学術集会 企画委員, 国内
- 濱田, 高知女子大看護学会誌, 査読委員, 国内
- 濱田, 日本家族看護学会, 評議員, 国内
- 濱田, 日本家族看護学会誌, 査読委員, 国内
- 濱田, 日本小児がん看護学会誌, 査読委員, 国内
- 濱田, 日本小児看護学会誌, 査読委員, 国内
- 宮田, 日本看護管理学会学術誌, 編集委員, 国内.
- 宮田, The Journal of Nursing & Healthcare, 編集委員, 国際
- 木下, 日本看護科学学会, 代議員, 国内
- 木下, 異分野融合テキストマイニング研究会, 幹事, 国内
- 木下, 日本糖尿病教育・看護学会 編集委員会 専任査読者, 査読委員, 国内
- 能登, バイオメディカル・ファジィ・システム学会, 評議員, 国内
- 能登, 日本人間工学会九州・沖縄支部, 理事, 国内
- 松浦, 日本小児外科学会, 評議員, 国内
- 松浦, 日本移植学会, 代議員, 国内
- 丸山, 日本看護歴史学会誌, 査読委員, 国内
- 丸山, 日本看護研究学会誌, 査読委員, 国内
- 丸山, 日本医学哲学倫理学会, 教育委員会委員・国際学術交流委員会委員, 国内
- 丸山, Journal of Philosophy and Ethics in Health Care and Medicine, 査読委員, 国内
- 丸山, 医療倫理学 第2版, 編集委員長, 国内
- 丸山, 西日本生命倫理研究会, 事務局, 国内
- 道面, 日本糖尿病教育・看護学会, 編集委員会専任査読者, 国内
- 潮, 日本看護研究学会九州沖縄地方会, 事務局, 国内

- 金岡, 日本移植・再生医療看護学会, 理事, 国内
- 金岡, 日本移植・再生医療看護学会, 査読委員, 国内
- 藤田(紋), 日本小児看護学会誌, 査読委員, 国内
- 藤田(紋), 第26回日本小児看護学会学術集会 実行委員, 国内
- 北尾, 第26回日本小児看護学会学術集会 実行委員, 国内
- 前野(里), 日本糖尿病教育・看護学会学術集会, 企画委員, 国内
- 酒井, 福岡県看護協会, 福岡県看護協会学会研究発表支援員, 国内
- 山口, 日本救急看護学会, 評議員, 国内
- 山口, 日本救急看護学会, 査読委員, 国内

3. 官界

- 大池, 科学研究費委員会専門委員, 独立行政法人日本学術振興会.
- 樗木, 「厚生労働省 平成28年度女性医師キャリア支援モデル普及推進事業 有識者評価会議委員」, 厚生労働省、久留米大学
- 中尾, 「福岡県内の保健・医療・福祉施設における身体拘束の廃止状況の調査、広報、研修を通じた身体拘束廃止の取り組み推進」, 福岡県保健医療介護部：福岡県身体拘束ゼロ作戦推進会議
- 濱田, 科学研究費委員会専門委員, 独立行政法人日本学術振興会

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 樗木, 「糸島市健康づくり推進協議会委員」
- 樗木, 「福岡医科歯科大学医科歯科総合病院 治験審査委員会委員
- 樗木, 「公益財団法人木村記念循環器財団研究助成選考委員
- 樗木, 「福岡市男女共同参画推進委員会委員長」
- 樗木, 「福岡市男女共同参画推進センターアドバイザーの会委員」
- 樗木, 「福岡県医師会男女共同参画部会委員会委員」
- 樗木, 「福岡県男女共同参画審議会委員」
- 樗木, 「福津市男女共同参画審議会会長」
- 藤田(君), 九州大学看護師同窓会 副会長
- 木下, 「福岡県日本看護協会 施設代表者」
- 木下, 九州大学看護師同窓会, 特別会計
- 能登, 「公益社団法人福岡県看護協会認定看護管理者教育運営委員」
- 丸山, ヒトの教育の会, 常任理事, ヒトの教育の会フォーラム2016, 九州大学医学部百年講堂, 2016-03-19.

5. 公開講座・公開講演会

- 大池, 「がん患者の理解に向けた医療系学生への交流会」, 未来プロジェクト. 福岡, セミナー・研修会
- 樗木, 「医と社会Ⅲ」ワークライフバランス 特別講演テーマ「全医療人の働きやすい環境をめざして-しなやかにきらめいて-」, 長崎大学. 長崎大学, 講演会・公開討論
- 樗木, 「健康あつての男女共同参画」, 糸島市役所. 福岡県糸島市, セミナー・研修会
- 樗木, 「家庭教育学級合同講演会講演「子育ては感謝の気持ちで」」, 大野城市役所. 大野城まどかびあ, 講演会・公開討論
- 樗木, 「難病講演会「特発性拡張型心筋症について」」, 福岡市博多区保健福祉センター(健康課). 福岡市, 講演会・公開討論
- 中尾, 「認知症における看護倫理を学ぶ」, 九州労災病院. 北九州市, セミナー・研修会
- 中尾, 「看護師が経験する看護倫理の場面と気づきを学ぼう」, 産業医科大学病院. 北九州市, セミナー・研修会
- 藤田(君), 「看護職のキャリアアップ」, 放送大学公開講座 九州大学筑紫キャンパス

- 藤田(君), エビデンスに基づいた糖尿病療養指導, 九州糖尿病看護スキルアップセミナー 九州大学百年講堂
- 濱田, 「在宅療養児の家族の看護:小児のエンド・オブ・ライフケア」シリーズ第6回 障がい児訪問看護研修会. 熊本大学
- 青本, 「精神障がい者と家族を地域で支えるための社会資源と制度の活用」, 公益財団法人 日本訪問看護財団. インペリアルパレス シティホテル福岡, セミナー・研修会
- 青本, 「実習指導者研修会」, 九州大学病院看護部. 九州大学病院, セミナー・研修会
- 青本, 「日本看護倫理学会の事例検討会の研修」, 日本看護倫理学会. 九州大学医学部保健学科棟, セミナー・研修会
- 松浦, 「短腸症候群の家族会」, 短腸症候群の家族会. 九州大学医学内, 公開講座
- 松浦, 「胆道閉鎖症・小児肝移植親子の会」, 九州大学医学部内, 公開講座
- 丸山, 「臨床現場における倫理教育」, 早良病院. 早良病院, セミナー・研修会

6. 初等中等教育への貢献

- 丸山, 博多青松グローバル人材育成プログラム「地球を動かせ!」 九州大学総合研究棟. バイオエシックス集中講義. 2016年06月18日

看護学分野

広域生涯看護

教授	谷口 初美
教授	鳩野 洋子
准教授	川田 紀美子
准教授	寺岡 佐和
准教授	前野 有佳里
講師	野口 ゆかり
助教	木村 一絵
助教	佐藤 洋子
助教	末次 美子
助教	田尻 登志子

1. 教育活動

1. 大学院講義

基礎助産学	(分担)	谷口	前期
Women's Health	(分担)	谷口	前期
Women's Health 補完代替医療	(分担)	谷口	前期
地域国際母子保健論 I	(分担)	谷口	前期
地域国際母子保健論 II	(分担)	谷口	前期
発達看護学特論 I	(分担)	谷口	前期
発達看護学特論 II	(分担)	谷口	後期
助産診断・技術 I	(分担)	谷口	前期
助産診断・技術 II	(分担)	谷口	前期
助産診断・技術 III	(分担)	谷口	後期
Women's Health ヘルスプロモーション特論 I	(分担)	谷口	後期
Women's Health ヘルスプロモーション特論 II	(分担)	谷口	後期
助産マネジメント論 II	(分担)	谷口	後期
看護学特別研究		谷口	通年
地域国際母子保健論 I	(分担)	鳩野	前期
看護学研究方法論 II	(分担)	鳩野	前期
地域生活ケアシステム論 II		鳩野	後期
看護学特別研究		鳩野	通年
基礎助産学	(分担)	川田	前期
周産期の薬理学	(分担)	川田	前期
Women's Health	(分担)	川田	前期
Women's Health 補完代替医療	(分担)	川田	前期

発達看護学特論 I	(分担)	川田	前期
地域国際母子保健論 I	(分担)	川田	前期
地域国際母子保健論 II	(分担)	川田	後期
助産診断・技術学 I	(分担)	川田	前期
助産診断・技術学 III	(分担)	川田	後期
Women's Health ヘルスプロモーション特論 I	(分担)	川田	後期
Women's Health ヘルスプロモーション特論 II	(分担)	川田	後期
助産マネジメント論 II	(分担)	川田	後期
看護学特別研究		川田	通年
ヘルスサイエンス論	(分担)	寺岡	前期
国際社会とチーム医療	(分担)	野口	前期
Women's Health	(分担)	野口	前期
リプロサイエンス I	(分担)	野口	前期
リプロサイエンス II	(分担)	野口	後期
基礎助産学	(分担)	野口	前期
助産診断・技術学 I	(分担)	野口	前期
助産診断・技術学 II	(分担)	野口	前期
助産診断・技術学 III	(分担)	野口	後期
生命倫理・遺伝カウンセリング論 I	(分担)	野口	後期
助産マネジメント論 I	(分担)	野口	後期
基礎助産学	(分担)	佐藤	前期
助産診断・技術学 II	(分担)	佐藤	前期

2. 大学院実験・実習

助産学実習 I	(分担)	谷口	後期
助産学実習 II	(分担)	谷口	後期
助産学総合実習 I	(分担)	谷口	後期
助産学総合実習 II	(分担)	谷口	後期
保健学特別研究		鳩野	通年
助産学実習 I	(分担)	川田	後期
助産学総合実習 I	(分担)	川田	後期
助産学実習 II	(分担)	川田	後期
助産学実習 I	(分担)	野口	後期
助産学実習 II	(分担)	野口	後期
助産学総合実習 I	(分担)	野口	後期
助産学実習 I	(分担)	佐藤	後期
助産学実習 I	(分担)	末次	後期
助産学総合実習 I	(分担)	末次	後期

3. 大学院演習

高次助産診断・技術学演習	(分担)	谷口	後期
高次助産診断・技術学演習	(分担)	川田	後期
高次助産診断・技術学演習	(分担)	野口	後期
高次助産診断・技術学演習	(分担)	佐藤	後期

4. 大学院修士課程修了者

井上彩香	女性成人先天性心疾患患者の結婚・妊娠・出産に関する認識
吉本祐子	先天性心疾患をもつ女性における妊娠・出産の経験
齋藤嘉宏	在宅認知症高齢者の男性介護者がうつ状態に至るプロセスの検討

5. 大学院博士課程修了者

原善子	Development of the career anchors scale among occupational health nurses in Japan
-----	---

6. 学部講義

母性看護学概論	(分担)	谷口	前期
基礎助産学	(分担)	谷口	前期
リプロダクティブヘルス基礎理論	(分担)	谷口	前期
助産学概論	(分担)	谷口	前期
助産診断・技術学	(分担)	谷口	前期
助産管理Ⅰ	(分担)	谷口	前期
助産管理Ⅱ	(分担)	谷口	後期
国際保健学	(分担)	谷口	後期
母性看護学各論Ⅰ	(分担)	谷口	後期
地域母子保健	(分担)	谷口	後期
公衆衛生看護展開論Ⅰ		鳩野	前期
公衆衛生看護支援論Ⅱ	(分担)	鳩野	前期
公衆衛生看護展開論Ⅱ	(分担)	鳩野	前期
看護研究入門	(分担)	鳩野	前期
疫学	(分担)	鳩野	後期
公衆衛生看護管理論	(分担)	鳩野	後期
公衆衛生看護概論	(分担)	鳩野	後期
国際保健と医療	(分担)	鳩野	後期
母性看護学概論	(分担)	川田	前期
基礎助産学	(分担)	川田	前期
リプロダクティブヘルス基礎理論	(分担)	川田	前期
助産学概論	(分担)	川田	前期

助産診断・技術学	(分担)	川田	前期
助産管理 I	(分担)	川田	前期
母性看護学各論 I	(分担)	川田	後期
周産期健康教育論	(分担)	川田	後期
地域母子保健	(分担)	川田	後期
公衆衛生看護学概論	(分担)	寺岡	後期
公衆衛生看護支援論 II	(分担)	寺岡	前期
公衆衛生看護管理論	(分担)	寺岡	後期
在宅看護概論		寺岡	後期
公衆衛生看護展開論 II	(分担)	前野	前期
公衆衛生看護支援論 I	(分担)	前野	前期
公衆衛生看護支援論 II	(分担)	前野	前期
保健医療福祉行政論 I	(分担)	前野	後期
保健医療福祉行政論 II	(分担)	前野	前期
母性看護学概論	(分担)	野口	前期
基礎助産学	(分担)	野口	前期
リプロダクティブヘルス基礎理論	(分担)	野口	前期
助産学概論	(分担)	野口	前期
助産診断・技術学	(分担)	野口	前期
助産過程論	(分担)	野口	前期
助産管理 I	(分担)	野口	前期
母性看護学各論 I	(分担)	野口	後期
周産期健康教育論	(分担)	野口	後期
地域母子保健	(分担)	野口	後期
保健福祉行政論 II	(分担)	木村	前期
公衆衛生看護支援論 I	(分担)	木村	前期
公衆衛生看護支援論 II	(分担)	木村	前期
疫学	(分担)	木村	後期
保健医療福祉行政論 I	(分担)	木村	後期
周産期健康教育論	(分担)	佐藤	前期
助産診断・技術学	(分担)	佐藤	前期
基礎助産学	(分担)	末次	前期
リプロダクティブヘルス基礎理論	(分担)	末次	前期
助産過程論	(分担)	末次	前期
助産診断技術学	(分担)	末次	前期
保健福祉行政論 II	(分担)	田尻	前期
公衆衛生看護活動展開論 II	(分担)	田尻	前期
在宅看護論各論	(分担)	田尻	前期
公衆衛生看護活動展開論 II	(分担)	田尻	前期
公衆衛生看護支援論 I	(分担)	田尻	前期
公衆衛生看護支援論 II	(分担)	田尻	前期

保健統計学	(分担)	田尻	後期
公衆衛生看護学概論	(分担)	田尻	後期

7. 学部の実験・実習・演習

母性看護学各論Ⅱ	(分担)	谷口	前期
母性看護学実習	(分担)	谷口	前期
総合実習	(分担)	谷口	前期
助産学実習Ⅰ	(分担)	谷口	前期
助産学実習Ⅱ	(分担)	谷口	後期
卒業研究	(分担)	谷口	通年
公衆衛生看護学実習	(分担)	鳩野	前期
総合実習	(分担)	鳩野	前期
卒業研究	(分担)	鳩野	通年
母性看護学各論Ⅱ	(分担)	川田	前期
助産学実習Ⅰ	(分担)	川田	前期
助産学実習Ⅱ	(分担)	川田	前期
母性看護学実習	(分担)	川田	前期
卒業研究	(分担)	川田	通年
在宅看護論各論	(分担)	寺岡	前期
総合実習	(分担)	寺岡	前期
在宅看護論実習	(分担)	寺岡	通年
卒業研究	(分担)	寺岡	通年
公衆衛生看護学実習	(分担)	前野	前期
総合実習	(分担)	前野	前期
助産診断・技術学	(分担)	野口	前期
母性看護学各論Ⅱ	(分担)	野口	前期
卒業研究	(分担)	野口	通年
在宅看護論各論	(分担)	木村	前期
総合実習	(分担)	木村	前期
在宅看護論実習	(分担)	木村	通年
卒業研究	(分担)	木村	通年
母性看護学各論Ⅱ	(分担)	佐藤	前期
助産学実習Ⅰ	(分担)	佐藤	前期
助産学実習Ⅱ	(分担)	佐藤	前期
母性看護学実習	(分担)	佐藤	前期
総合実習	(分担)	佐藤	前期
卒業研究	(分担)	佐藤	通年
母性看護学各論Ⅱ	(分担)	末次	前期
助産学実習Ⅰ	(分担)	末次	前期
助産学実習Ⅱ	(分担)	末次	前期

母性看護学実習	(分担)	末次	前期
総合実習	(分担)	末次	前期
卒業研究	(分担)	末次	通年
公衆衛生看護学実習	(分担)	田尻	前期
総合実習	(分担)	田尻	前期
在宅看護論実習	(分担)	田尻	後期
卒業研究	(分担)	田尻	通年

8. 卒業論文作成者

禿文	時代と共に変化した日本の父親の育児
迫彩花	成熟期を迎えた未婚女性の結婚・出産に対する意識とライフプランの関連
森芙美	脳血管疾患患者の介護者の介護負担感への影響要因の検討
高張謙介	若年認知症の家族介護者の心情と対処について
江藤麻奈	発達障害児を持つ母親の障害認識に影響を及ぼす要因について
塩田瑞月	認知症高齢者を対象とした回想法がもたらす効果に関する文献検討
永井麻梨恵	二交代制勤務を行う看護師の夜勤による健康状態に関する文献検討－睡眠・仮眠および休息と夜勤中・夜勤後の心身の状況から－
松尾佳恵	認知症高齢者を在宅で介護する家族の介護状況に関する文献検討－家族介護者の続柄に焦点をあてて－
吉光加奈	看護学生の職業レディネスの現状と課題に関する検討
中井愛理	看護学生の認知症高齢者に対する態度への影響要因に関する研究
鈴木華奈	神経難病患者をケアする看護師のストレスの検討－他病棟看護師のストレスとの違いより－
原野晴芽	被虐待児や障がい児を里子として養育する里親家庭に対する支援－里親里子関係を良好にすることを目指して－
山口千尋	地域保健における母親を対象とした育児の自信を高めるプログラムに関する文献検討
生駒真衣	抑うつ傾向の母親と児への愛着との関連要因とその支援
井上さくら	高齢で初めて妊娠した方の思い－高年出産をした方の手記を用いたネットワーク分析からの検討－
竈本歩実	生後0日における虐待死の要因と、予防のための援助
久保佳那子	分娩後早期の授乳が出産後1年間の母乳育児に与える効果
古賀日向子	早産児・低出生体重児の母親の対児感情に影響する因子
志岐奈津実	震災が妊産婦及び乳幼児とその母親に与える影響－今後看護職者に求められる震災時の母子支援－
竹内明香	胎児異常を診断された中で出産を選んだ女性の思い
丸岡愛	低出生体重児出産リスクを軽減するための支援
佐藤史華	地域における高齢者を対象にした口腔機能訓練の効果に関する研究

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導 なし

3. 研究活動

1. 主要研究事項

- | | | |
|----|---|----|
| 1 | Transition の概念を用いた女性と家族の各ライフステージに影響を及ぼす性と生殖に関する問題に関する研究 | 谷口 |
| 2 | 母親・父親になる過程に関する研究 | 谷口 |
| 3 | 地域国際母子保健に関する研究 | 谷口 |
| 4 | シミュレーション学習に関する研究 | 谷口 |
| 5 | 中堅保健師のワークエンゲイジメントの影響要因とその強化方策に関する研究 | 鳩野 |
| 6 | 健康行動と母子関係に関する研究 環境汚染の母子への影響に関する研究 | 川田 |
| 7 | 認知症高齢者の QOL に関する研究 | 寺岡 |
| 8 | 市町村保健師の処遇困難事例への支援技術教育プログラムの開発 | 前野 |
| 9 | 生涯にわたる健やかな成長・発達支援に関する研究 | 野口 |
| 10 | 幼児の問題行動が減少することを目指した地域における子育てプログラムに関する研究 | 木村 |
| 11 | 妊娠糖尿病妊婦のセルフケアに対する自己効力感 | 佐藤 |
| 12 | 周産期のメンタルヘルスと乳幼児の精神発達に関する研究 | 末次 |
| 13 | 舌や口唇へ刺激する方法(熊本メソッド)指導後の児の変化について | 田尻 |

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

谷口 初美

- 「基盤研究(C)」 看護シミュレーション教育の充実を目指したファシリテータ育成プログラム構築, 谷口(分担)
- 「基盤研究(C)」 日蒙助産師で行なうモンゴル妊婦肥満改善のためのアクションリサーチ, 谷口(代表)

鳩野 洋子

- 「基盤研究(C)」 高齢者世代が参画する地域のつながりを重視した効果的な子育て支援プログラムの開発, 鳩野(分担)
- 「基盤研究(B)」 睡眠を核とする生活習慣病の予防と改善に向けたヘルスプロモーションの為に基盤構築, 鳩野(分担)
- 「基盤研究(C)」 地区組織のコミュニティ・エンパワメントモデルの適用とハンドブックの作成, 鳩野(分担)
- 「基盤研究(C)」 中堅保健師のワークエンゲイジメントの影響要因と強化方策に関する研究, 鳩野(代表)

- 「基盤研究(C)」 市町村保健師の処遇困難事例への支援技術教育プログラムの開発, 鳩野(分担)

寺岡 佐和

- 「基盤研究(C)」 在宅で暮らす認知症高齢者の生活能力活性化に向けた園芸療法の開発に関する研究, 寺岡(代表)
- 「基盤研究(C)」 人間関係形成の視座から開発する住民主体の子育て支援プログラムに関する研究, 寺岡(分担)

前野 有佳里

- 「基盤研究(C)」 市町村保健師の処遇困難事例への支援技術教育プログラムの開発, 前野(代表)

木村 一絵

- 「若手研究(B)」 幼児の問題行動が減少することを目指した地域における子育てプログラムの効果の検証, 木村(代表)

末次 美子

- 「挑戦的萌芽研究」 低出生体重児と母親の母子相互作用促進プログラムの開発, 末次(代表)

3. 学内研究経費の受入れ

- 「Super Global University 創生支援助成金」 留学生獲得とプロモーション, 谷口
- 「研究補助者雇用支援制度」 在宅で暮らす認知症高齢者の生活能力活性化に向けた園芸療法の開発に関する研究, 寺岡
- 「研究補助者雇用支援制度」 幼児の問題行動が減少することを目指した地域における子育てプログラムの効果の検証, 木村

4. 奨学寄付金の受入れ

- 「国内共同研究」 ファイザーヘルスリサーチ振興財団, 末次

5. その他の外部資金の受入れ なし

6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- Yoshiko Kubo, Yoko Hatono, Tomohide Kubo, Satoko Shimamoto, Junko Nakatani, Barbara J. Burgel: Development of the Career Anchors Scale among Occupational Health Nurses in Japan, 58, 6, 519 - 533, 2016年06月
- Yoshiko Kubo, Yoko Hatono, Tomohide Kubo, Satoko Shimamoto, Junko Nakatani, Barbara J. Burgel: Exploring Career Anchors among Occupational Health Nurses in Japan: A Qualitative Study, Japan Journal of Nursing Science, 14, 11, 61 - 75, 2017年01月
- 寺岡佐和, 小西美智子, 小野ミツ, 宮腰由紀子: 認知症高齢者への園芸活動が認知機能面にもたらす効果; 園芸経験の有無別にみた5cogと園芸活動に伴う言動・日常生活状況からの検討, 老年看護学, 21, 1, 2016年07月

- 羽山晶紀, 木村一絵, 松浜留以, 山田真理子: 在宅療養児を抱える母親の介護負担感に関連する要因と軽減を目指した支援, 子どもと女性の虐待看護学研究, 3, 1, 54 - 68, 2016年06月
- 松浜留以, 木村一絵, 羽山晶紀: 乳児を育児している母親の育児困難感を軽減するプログラムの検討, 子どもと女性の虐待看護学研究, 3, 1, 41 - 53, 2016年06月
- Yumiko Sakata, Yuriko Tanaka, Hitoe Kimura: Changes in Lifestyle Habits, Psychosomatic Complaints, and Self-Esteem among Elementary School Students in X prefecture, School Health, 12, 35 - 39, 2016年07月

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Yuko Yoshimoto, Keiko Yamasaki, Aya Inoue, Akiko Suyama Chishaki, Hatsumi Taniguchi, The Lived Experience of pregnancy and childbirth of women with congenital heart disease, 20th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2017年03月10日, Hong Kong
- Ayaka Inoue, Keiko Yamasaki, Hirokyuki Sawatari, Yoriko Saeki, Yuko Yoshimoto, Akiko Suyama Chishaki, Hatsumi Taniguchi, Perceptions of Young Women with Congenital Heart Diseases on Marriage, Pregnancy and Childbirth, 20th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2017年03月10日, Hong Kong
- Keiko Yamasaki, Yuko Yoshimoto, Ayaka Inoue, Reiko Izukura, Ryoji Shinbara, Tomoko Ohkura, Hatsumi Taniguchi, Akiko Suyama Chishaki, Perinatal management of pregnant women with congenital heart disease-Relation to the existence of cyanosis-, 20th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2017年03月10日, Hong Kong
- Hatsumi Taniguchi, Yoshiko Suetsugu, Sato Yoko, Yuko Yoshimoto, Ayaka Inoue, Noguchi Yukari, Davaasuren Serdamba, Kiyoko Okamoto, Increasing awareness of professional approach for Mongolian midwives using a health care pamphlet for prevention of obesity during pregnancy, 14th Annual International Conference, Asian American/Pacific Islander Nurses Association, 2017年03月26日
- Kimiko Nakayama, Yoko Hatono, Masako Kaneko, Emiko Kusano.: Issues of Community empowerment Activities in Public Health Nurses, The 3rd Korea-Japan Joint Conference on Community Health Nursing, 2016年07月02日, South Korea
- Yoko Hatono, Hiroko Suzuki, Miki Shimada: Public health nurses' experience that contributes to acquiring an administrative position, The 3rd Korea-Japan Joint Conference on Community Health Nursing, 2016年07月02日, South Korea
- Ayako Ogata, Yoko Hatono: Five day fluctuations of continuous night shift fatigue, 20th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2017年03月09日, Hong Kong
- Yukari Maeno, Yoko Hatono: Exploring public health nurses' experiences of supporting individuals with mental health disorders, 20th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2017年03月10日, Hong Kong
- Kazuko Kawaguchi, Yoko Hatono: A qualitative study on the role of middle-aged generalist nurses in a hospital, 20th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2017年03月10日, Hong Kong
- Yoko Hatono, Hiroko Suzuki: Experience of Public Health Nurses that Influenced their Managerial Position Ability, 20th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2017年03月09日, Hong Kong

- Kimiko Kawata: Influence of mothers on the acquisition of their children's health behavior regarding axillary temperature measurement, 1st International Asian Conference on Maternal and Child Health, 2016年8月14日, The University of Tokyo, Japan
 - Sawa Teraoka, Michiko Konishi, Mitsu Ono, Yukiko Miyakoshi: Effect on the cognitive function of horticultural activities seen from the existence of horticultural experience of the elderly with dementia, The 3rd KOREA-JAPAN Joint Conference on Community Health Nursing, 2016年07月03日, Korea
 - Hitoe Kimura, Yukako Shigematsu, Toshiko Kamo, Yuka Fukumaru, Ikuko Kato, Fumie Ito, Etsuko Kamura, Hidemi Chiba, Eriko Uchida, Yukiko Yamashita, Akihiko Nishioka: The effect of CARE Program in health center to reduce children's problematic behaviors and mother's parenting stress, Randomized controlled trial, The 2016 International Collaboration for Community Health Nursing Research Symposium, 2016年09月15日-16日, UK
 - Hitoe Kimura, Toshiko Kamo, Fumie Ito, Yuki Sunohara: Factors related to children's problem behaviors -The difference between the number of children's problem behaviors and the frequency of children's problem behaviors, The 3rd KOREA-JAPAN Joint Conference on Community Health Nursing, 2016年07月03日, Korea
 - Hitoe Kimura, Yukako Shigematsu, The changes in children's problematic behaviors and mother's parenting stress after participating in the CARE program in a local community health center; a prospective intervention trial, Japan Academy of Nursing Science, 2016年12月10日, Tokyo
- c. 大学・研究機関などの刊行誌 なし
- d. 調査研究報告 なし
- e. 国内学会での講演, 発表
- 佐藤洋子, 末次美子, 岡本喜代子, 野口ゆかり, 吉本祐子, 井上彩香, 谷口初美: モンゴル助産師の妊婦肥満に関する認識, 日本助産学会学術集会, 2017年03月19日, 徳島
 - 藤田香奈恵, 樗木晶子, 鳩野洋子, Nobuko Hashiguchi, 澤渡浩之, 佐伯順子, 呉茜, 半田早希子, 西坂麻里, 安藤眞一: 睡眠呼吸障害におけるCPAP治療の継続及び中断に関する因子の検討, 日本睡眠学会第41回定期学術集会, 2016年07月07日, 東京
 - 呉茜, 吉田大悟, 半田早希子, 柴田舞欧, 澤渡浩之, 藤田香奈恵, 西坂麻里, 佐伯順子, 細井昌子, 鳩野洋子, 安藤眞一, 清原裕, 二宮利治, 樗木晶子: 地域一般住民における睡眠時無呼吸症候群患者の受療行動に関連する因子の検討, 日本睡眠学会第41回定期学術集会, 2016年07月07日, 東京
 - 鳩野洋子, 鈴木浩子, 島田美喜: 管理職となった保健師の管理的能力獲得モデルの検討, 日本地域看護学会第19回学術集会, 2016年08月27日, 栃木県下野市
 - 尾島俊之, 島田美喜, 鳩野洋子, 弓場英嗣, 増田和茂: 市町村保健センターにおけるアクシデント・インシデントへの対応, 第2回日本混合研究法学会, 2016年08月27日, 東京
 - 緒方文字, 鳩野洋子: 交代制勤務者の慢性疲労の実態と影響要因, 第26回産業衛生学会全国協議会, 2016年09月09日, 京都
 - 鳩野洋子, 島田美喜, 弓場英嗣, 尾島俊之, 増田和茂: 市町村保健センターにおけるアクシデント・インシデントの実態(第1報), 第75回日本公衆衛生学会総会, 2016年10月26日, 大阪

- 島田美喜, 鳩野洋子, 弓場英嗣, 尾島俊之, 増田和茂: 市町村保健センターにおけるアクシデント・インシデントの実態(第2報), 第75回日本公衆衛生学会総会, 2016年10月26日, 大阪
- 中山貴美子, 鳩野洋子, 金子仁子, 草野恵美子: 保健師による地区組織活動支援上の課題と解決策, 第75回日本公衆衛生学会総会, 2016年10月27日, 大阪
- 前野 有佳里, 鳩野洋子: 市町村保健師の対応困難な精神障害者への相談支援技術指標の開発, 第75回日本公衆衛生学会総会, 2016年10月28日, 大阪
- 齋藤嘉宏, 鳩野洋子: 在宅認知症者の家族介護者のうつ状態に至る要因, 日本看護研究学会第21回九州・沖縄地方会学術集会, 2016年11月12日, 宮崎
- 鳩野洋子, 嶋津多恵子, 丹野久美, 富山紀代美, 宮崎美砂子, 斉藤恵美子, 椎葉倫代: 保健師の日常活動・実践研究における倫理に関する実態調査第一報-日常活動における倫理的ジレンマや倫理的行動, 第5回日本公衆衛生看護学会学術集会, 2017年01月22日, 仙台
- 嶋津多恵子, 鳩野洋子, 丹野久美, 富山紀代美, 宮崎美砂子, 斉藤恵美子, 椎葉倫代: 保健師の日常活動・実践研究における倫理に関する実態調査第一報-第2報- 実践研究における倫理的課題と組織環境-, 第5回日本公衆衛生看護学会学術集会, 2017年01月22日, 仙台
- 川田紀美子: 母子保健の観点から大気中物質を探る, 福岡から診る大気環境研究所研究会, 2016年9月11・12日, 福岡
- 中野正博, 原山和子, 川田紀美子, 谷口初美: 再テスト法における信頼性の新しい指数, 第29回バイオメディカル・ファジィ・システム学会年次大会, 2016年10月29・30日, 高知
- 佐藤洋子, 末次美子, 岡本喜代子, 安達久美子, 吉本祐子, 野口ゆかり, 井上彩香, 谷口初美: モンゴル助産師の妊婦肥満に関する認識, 日本助産学会, 2017年03月19日
- 原田徳子, 木村一絵: 腹膜透析患者の自己管理能力とセルフ・エフィカシーとソーシャルサポートの関連, 日本看護科学学会, 2016年12月10日, 東京

f. 学会以外での講演, 発表

- 木村一絵, 重松由佳子, 加茂登志子, 伊藤史エ, 福丸由佳, 加藤郁子, 大賀有佳子, 賀村悦子, 千葉秀美, 内田絵利子, 山下由紀子, 西岡昭彦: 育児中の母親に対する CARE プログラムの不適切な接し方を軽減する効果, PCIT-Japan CARE-Japan 合同研究会, 2016年11月19日, 東京

8. 著作

a. 単行本

- 谷口初美: (共著) 看護師国家試験問題集 2017年版, 2016年04月, 医学書院.
- 川本理恵子, 鳩野洋子, 長聡子, 前野有佳里: (共著) 「尺度」を使った看護研究のキホンとコツ, 2016年06月, 医学書院
- 『標準保健師講座』編集室編, 寺岡佐和, 前野有佳里 他23名: (共著) 2017年版 保健師国家試験問題 解答と解説, 2016年04月, 医学書院
- 末次美子: (共著) 妊産婦メンタルヘルスマニュアル～産後ケアへの切れ目のない支援に向けて～, 2017年03月, 公益社団法人日本産婦人科医会

b. 総説

- 安達久美子, 谷口初美, 岡本喜代子: モンゴル・ネパール・カナダの助産師/来日報告, 助産師 2016; 70 (3), 29-31, 2016年08月
- 谷口初美: モンゴル助産師会と日本助産師会の Twinning Project-日蒙助産師で行うモンゴル妊婦肥満改善のためのアクションリサーチ-, 助産師 2017; 71 (1), 32-35, 2017年02月

- 鳩野洋子：いま「保健指導」に求められる能力とは，保健師ジャーナル 2016；72(7)532-537，2016年07月
- 鳩野洋子，永田昌子，曾根智史，前野有佳里，森晃爾：質の高い保健師事業外部委託に向けたガイドの作成－保健事業外部委託マネジメントのチェックリストを中心に－，保健師ジャーナル 2016；72(10)：860-865，2016年09月
- 鳩野洋子，嶋津多恵子，丹野久美，富山紀代美，宮崎美砂子，椎葉倫代：保健師の日常活動・実践研究における倫理に関する実態調査，日本公衆衛生看護学会誌 2016；5(3)：226-272，2016年12月

c. 解説，書評など なし

9. 受賞

- 寺岡，「Effect on the cognitive function of horticultural activities seen from the existence of horticultural experience of the elderly with dementia」，Best Poster Presentation Award，The 3rd Korea-Japan Joint Conference on Community Health Nursing，2016年07月

10. 報道 なし

4. 産学連携活動

1. 共同研究 なし
2. 受託研究 なし
3. 取得特許 なし
4. 兼業 なし
5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 谷口，末次，佐藤，2016年08月28日 - 09月2日「モンゴルの妊婦肥満予防への取り組み」，モンゴル厚生省大会議場，ウランバートル(モンゴル)
- 谷口，2017年01月20日 - 01月23日「モンゴルの妊婦肥満予防への取り組みの全国調査」，ウランバートル(モンゴル)
- 谷口，鳩野，マヒドン大学(Thailand)，その他，2017年2月 - 2017年2月(2週間未満)
- 川田，野口，高雄医学大学(台湾)，2017年03月1日 - 3日(2週間未満)

2. 外国人研究者の受入れ

a. 訪問教授・研究員

Dr. Fan-Hao, Kaohsiung medical University, College of nursing, Taiwan, 2017年11月16日 - 19日

b. 訪問研究者

Dr. Merle Kataoka - Yahiro, University of Hawaii, USA, 2017年11月16日 - 20日

3. 留学生の受入れ

マヒドン大学看護学生3年生2名，Exchange program，2017年07月17日 - 31日
高雄医学大学看護学生2年生8名，Exchange program，2017年11月17日 - 26日

4. 学生の海外派遣

マヒドン大学, 看護3年生2名, Exchange program, 2017年08月28日-09月12日
高雄医学大学, 看護2年生3名, Exchange program, 2018年03月01日-03月14日

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 鳩野, 学生支援委員会委員
- 鳩野, 研究活動基礎支援専門委員会委員
- 寺岡, 入学者選抜研究委員会

2. 部局委員

- 谷口, 国際協力委員
- 川田, アジア遠隔医療開発センター運営委員会

3. 部門・コース内委員

- 谷口, 地域国際連携推進・FD委員
- 谷口, 実習委員会
- 鳩野, 学生委員会副委員長
- 鳩野, 人事委員会委員
- 鳩野, 看護学分野副分野長
- 鳩野, 看護学専攻卒業研究委員会委員長
- 鳩野, 看護学専攻FD実行委員
- 鳩野, 看護学分野国際ワーキング委員
- 寺岡, 実習委員会委員
- 寺岡, 卒業研究委員会委員
- 寺岡, 看護学専攻FD実行委員
- 寺岡, 将来計画WG委員
- 前野, 教務委員会委員
- 前野, 実習委員会委員
- 前野, 看護学専攻FD実行委員
- 野口, 地域国際連携推進・FD委員
- 野口, KITE NET連絡委員
- 木村, 図書委員
- 木村, 看護学専攻FD実行委員
- 木村, 看護教育研究推進ワーキンググループ協力委員
- 佐藤, 卒業研究委員会
- 末次, 実習委員会
- 田尻, 看護学専攻FD実行委員
- 田尻, 看護学専攻会計
- 田尻, 看護教育研究推進ワーキンググループ協力委員

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 谷口, 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻修士課程
- 谷口, 関西看護医療大学修士課程
- 谷口, 久留米大学大学院医学研究科修士課程
- 前野, 産業医科大学, 地域精神保健

- 末次, 東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻 家族看護学分野, 客員研究員

2. 学協会

- 谷口, 日本助産師会, 国際委員会委員長, 国内
- 谷口, 福岡母性衛生学会, 理事, 国内
- 谷口, 九州大学助産師同窓会, 理事, 国内
- 谷口, 日本助産学会, 代議員, 国内
- 谷口, 日本母性衛生学会, 代議員, 国内
- 谷口, 日本母性衛生学会, 機関誌「母性衛生」査読委員, 国内
- 谷口, 公益社団法人全国助産師教育協議会, 将来構想委員会委員, 国内
- 谷口, 日本看護科学学会, 和文誌専任査読委員, 国内
- 谷口, (財)日本助産評価機構学術団体, 助産実践個人認証評価部評価員, 国内
- 谷口, AAPINA, 編集委員, 国際
- 谷口, Nursing & Health Sciences, 査読委員, 国際
- 鳩野, 日本地域看護学会, 編集委員会委員, 表彰論文選考委員会委員, 国内
- 鳩野, 日本看護科学学会, 代議員・査読委員, 国内
- 鳩野, 日本看護研究学会, 査読委員, 国内
- 鳩野, 日本公衆衛生看護学会, 理事, 研修委員会委員長, 査読委員:国内
- 鳩野, 福岡医学雑誌, 編集委員, 国内
- 鳩野, 教育と医学, 編集委員, 国内
- 鳩野, 保健師のキャリア形成検討委員会委員, 日本看護協会, 国内
- 鳩野, 福岡県看護協会教育委員会委員, 福岡県看護協会, 国内
- 鳩野, 全国保健師教育機関協議会震災プロジェクト委員会委員, 全国保健師教育機関協議会, 国内
- 川田, 九州大学助産師同窓会, 庶務, 国内
- 川田, 福岡県母性衛生学会, 幹事, 国内
- 寺岡, 一般社団法人日本認知症ケア学会, 運営委員 (一般社団法人日本認知症ケア学会 九州・沖縄1地域部会 委員), 国内
- 寺岡, 日本認知症ケア学会, その他 (認知症ケア専門士認定試験論述・面接審査員), 国内
- 前野, 日本公衆衛生看護学会, 査読委員, 国内
- 前野, 日本応用心理学会, 査読委員, 国内
- 野口, 日本助産学会, その他 (査読委員), 国内
- 野口, 九州大学助産師同窓会, その他 (庶務・百周年記念誌編集委員), 国内

3. 官界

- 谷口, 「福岡市総合計画審議会委員として従事」, 福岡市総合計画審議会
- 谷口, 「福岡市こども・子育て審議会委員として従事」, 福岡市こども・子育て審議会
- 鳩野, 「平成28年度市政に関する意識調査検討委員会委員」, 福岡市
- 鳩野, 「福岡県地域保健従事者人材育成推進委員会・委員長」, 福岡県

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職 なし

5. 公開講座・公開講演会

- 谷口, 「安全な出産のための助産師研修(モンゴル 助産師&産科医)」 JICA 関西公益財団法人国際看護交流協会
- 谷口, 「理解したい周産期のメンタルヘルス」 熊本県看護協会
- 谷口, 「コーチング」九州大学病院看護部指導者研修, 百年講堂
- 谷口, 「プレゼンテーションスキル」京都大学医学部附属病院総合臨床教育・研修センター
- 谷口, 「経験を学びに変えるコツ:ALACTモデル&聞く」京都大学医学部附属病院看護部指導者研修」京都大学医学部附属病院 A 研修室
- 谷口, 野口, 「先駆的教育方法の試み:状況設定シミュレーション学習」青陵大学, 公益社団法人全国助産師教育協議会社員総会
- 鳩野, 「保健師研修・保健師のキャリアラダー」, 久留米市, セミナー・研修会
- 鳩野, 「保健師活動における PDCA サイクル展開(中堅後期研修)」, 福岡市, セミナー・研修会
- 鳩野, 「地域ケアシステムの推進(保健師係長研修)」, 福岡市, セミナー・研修会
- 川田, 「統計からみたお産事情」, 九州大学保健学部門公開講座
- 寺岡, 「一般社団法人日本認知症ケア学会九州・沖縄1地域部会 I」, 一般社団法人日本認知症ケア学会, 福岡市, セミナー・研修会

6. 初等中等教育への貢献 なし

3-2. 教員の活動：医用量子線科学分野

医用量子線科学分野

基礎放射線科学

教授	大喜	雅文
教授	有村	秀孝
准教授	高橋	昭彦
准教授	納富	昭弘

1. 教育活動

1. 大学院講義

基礎量子力学	大喜	後期
保健・医療とIT	大喜	前期
医用画像情報科学論	大喜	前期
医学物理情報理論	有村	前期
量子線治療科学論	有村	後期
基礎電磁波論	高橋	前期
医用線量計測学	納富	後期

2. 大学院実験・実習 なし

3. 大学院演習

量子線理工科学 I	(分担) 大喜	通年
医用画像情報科学演習	(分担) 大喜	通年
量子線治療科学演習	(分担) 納富	前期

4. 大学院修士課程修了者

迫 康洋	ダイナミック造影 MRI のための画像解析
森山 誠	マンモグラフィ用 Contrast-Detail ファントム像の自動解析
岡本 慎	ウェーブレット解析によるマンモグラフィ診断支援
幾嶋 宏二郎	肺腫瘍の肉眼的腫瘍領域に対する機械学習に基づく自動抽出 法 Machine-learning-based delineation framework for gross tumor volume regions of lung tumors
岩崎 貴大	子宮頸がん腔内照射における画像誘導治療法の研究 Image- Guided Intracavitary Brachytherapy for Uterine Cervical Cancer
松尾 亮子	中性子計測における逐次型情報解析へのベイズの定理の応用

5. 大学院博士課程修了者

奥 好史	「臓器・アプリケーションの治療間位置変動に対する子宮頸癌適応腔内小線源治療の頑強性に関する研究」 「Investigation of whether in-room CT-based adaptive intracavitary brachytherapy for uterine cervical cancer is robust against interfractional location variations of organs and/or applicators」
亀澤 秀美	「画像誘導患者位置決めシステムのためのノイズ抑制フィルタを用いた被ばく線量低減の可能性」 “Feasibility of patient dose reduction based on various noise suppression filters for cone-beam computed tomography in an image-guided patient positioning system”
仲本 宗泰 日本学術振興会特別研究員 DC2	「射出線量分布画像に基づく 2D/3D レジストレーションを用いた体幹部定位放射線治療時における 4次元線量分布モニタリング法」 “A computerized framework for monitoring four-dimensional dose distributions during stereotactic body radiation therapy using a portal dose image-based 2D/3D registration approach”
靳 泽 Ze Jin (From China) JSPS Research Fellowships for Young Scientists (DC2) (China)	An ellipsoid convex enhancement filter for detection of asymptomatic intracranial aneurysm candidates in CAD frameworks

6. 学部講義

放射線物理学	大喜	前期
基礎医療統計	大喜	後期
医用画像情報学	(分担) 大喜	後期
放射線診断機器学	(分担) 大喜	後期
物理数学 II	大喜	前期
放射線技術科学入門 I	(分担) 大喜	前期
放射線技術科学入門 II	(分担) 大喜	後期
放射線治療技術学 I	有村	前期
MR 画像技術学	有村	前期
放射線治療・核医学機器学	有村	前期
放射線診断機器学	有村	後期
医用画像情報学	有村	後期
コンピュータープログラミング入門	有村	後期
放射線技術科学入門 I	(分担) 有村	前期

放射線技術科学入門Ⅱ	(分担)	有村	後期
放射線治療・核医学機器学	(分担)	高橋	前期
放射線技術科学入門Ⅰ	(分担)	高橋	前期
放射線技術科学入門Ⅱ	(分担)	高橋	後期
放射線計測学		納富	前期
原子核物理学		納富	後期
放射線治療計測学		納富	後期
放射線治療・核医学機器学	(分担)	納富	前期
放射性同位元素検査学・実習	(分担)	納富	前期
放射線治療技術学実習	(分担)	納富	後期
放射線医学技術学概論	(分担)	納富	前期
放射線技術科学入門Ⅰ	(分担)	納富	前期
放射線技術科学入門Ⅱ	(分担)	納富	後期

7. 学部の実験・実習・演習

医用画像情報学実習		有村	前期
放射線機器学実験	(分担)	有村	前期
放射線機器学実験	(分担)	高橋	前期
放射線計測学実験	(分担)	納富	前期
放射性同位元素検査学・実習	(分担)	納富	前期
放射線治療技術学実習	(分担)	納富	後期

8. 卒業論文作成者

油屋 有紀	視線解析による学生と熟練者の胸部X線撮影の比較
矢野 陽香	視線追跡装置を用いたX線撮影における撮影者の行動分析
西原 和香	Moodleを用いた診療放射線技師向け教育用Webサイトの構築
二宮 健太	前立腺癌放射線治療における低リスク群に対するCTV自動抽出法
長谷合 修	遺伝的アルゴリズムを用いた類似症例に基づく肺定位放射線治療計画法の開発
森田 拳斗	人工ニューラルネットワークによる肺腫瘍のGTV領域の自動抽出法の開発
大島 慎也	アイソトープ内用療法 ^{223}Ra の γ 線画像における線広がり関数のコリメータ依存性
加納 涼太	Channelized Hotelling Observer法の検出能に関する研究
舟田 圭汰	DaT SPECT画像へのコリメータの影響に関するモンテカルロシミュレーション
待鳥 啓太	ヨウ素自己放射化法による中性子測定精度に影響を及ぼす因子の検討
湊 麻美	CsI板とCCDカメラを用いた簡易中性子分布測定法の開発

植木 大志 市販 γ 線線量率測定用 CsI 検出器の中性子測定への応用
 村上 由花子 CsI 自己放射化による中性子線量測定のための ^{128}I と $^{134\text{m}}\text{Cs}$
 の生成特性評価

9. 研究生

Nunung Nuraeni

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導 なし

3. 研究活動

1. 主要研究事項

- 1 ・医療応用のための放射線計測技術ならびに線量評価技術の
 基礎的研究 ・新しい中性子線量評価技術の開発 ・医療用
 高感度中性子検出技術の開発研究 納富
- 2 硼素中性子捕捉療法(BNCT)の物理工学的研究 納富

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

- 「基盤研究(C)」 超音波診断画像のウェーブレット変換による画像解析とシェー
 グレン症候群診断への応用, 大喜(代表), 800千円.
- 「基盤研究(C)」 視覚探索システムを用いた看護観察行動の定量的分析,
 大喜(分担), 0千円.
- 「挑戦的萌芽研究」 モバイルガンマカメラを用いて腔内照射中の形態画像上
 4次元線量分布の可視化に挑む, 有村(代表), 0千円.
- 「特別研究員奨励費」 「統計的生物数理モデルを用いた脳動脈瘤ロボスト検
 出システム」(日本学術振興会特別研究員 DC2 斬 泽 Ze Jin), 有村(代表),
 0千円.
- 「特別研究員奨励費」 「統計的治療計画法に基づくプロスペクティブ適応放
 射線治療システムの開発」(日本学術振興会特別研究員 DC2 仲本 宗泰), 有村
 (代表), 0千円.
- 「基盤研究(C)」 放射線治療で発生する中性子被ばく評価のための簡便で高精度
 な分布測定システムの開発, 納富(代表), 1400千円.

3. 学内研究経費の受け入れ なし

4. 奨学寄附金の受入れ なし

5. その他の外部研究資金の受入れ

- 「宇都宮大学 CO₂ レーザー生成プラズマによる高輝度 EUV 光源の開発」
 高橋.

6. 受託研究員・研修員の受入れ

7. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- Hidemi Kamezawa, Hidetaka Arimura, Katsutoshi Shirieda, Noboru Kameda, Masafumi Ohki : Feasibility of patient dose reduction based on various noise suppression filters for cone-beam computed tomography in an image-guided patient positioning system, *Physics in Medicine and Biology* 2016 May 7;61(9):3609-36. Doi: 10.1088/0031-9155/61/9/3609 (Epub 2016 Apr 11), 2016年05月.
- Yoshifumi Oku, Hidetaka Arimura, Tran Thi Thao Nguyen, Yoshiyuki Hiraki, Masahiko Toyota, Yasumasa Saigo, Takashi Yoshiura, Hideki Hirata : Investigation of whether in-room CT-based adaptive intracavitary brachytherapy for uterine cervical cancer is robust against interfractional location variations of organs and/or applicators, *Journal of Radiation Research* 2016 Jun 13. DOI:10.1093/jrr/rrw043, 2016年06月.
- Mazen Soufi, Hidetaka Arimura, Katsumasa Nakamura, Fauzia P. Lestari, Freddy Haryanto, Taka-aki Hirose, Yoshiyuki Umedu, Yoshiyuki Shioyama, Fukai Toyofuku : Feasibility of Differential Geometry-Based Features in Detection of Anatomical Feature Points on Patient Surfaces in Range Image-Guided Radiation Therapy, *International Journal of Computer Assisted Radiology and Surgery*, 2016 Jun 13, DOI:10.1007/s11548-016-1436-x, 2016年06月.
- Koujiro Ikushima, Hidetaka Arimura, Ze Jin, Hidetake Yabu-uchi, Jumpei Kuwazuru, Yoshiyuki Shioyama, Tomonari Sasaki, Hiroshi Honda, Masayuki Sasaki : Computer-assisted framework for machine-learning-based delineation of GTV regions on datasets of planning CT and PET/CT images, doi: 10.1093/jrr/rrw082 , *Journal of Radiation Research*, 2016, 2016年09月.
- Takahiro Nakamoto, Hidetaka Arimura, KENICHI MOROOKA, Yasuhiko Nakamura, Tomonari Sasaki, Taka-aki Hirose, Yoshiyuki Umedu, Hiroshi Honda, Hideki Hirata : A framework for estimating four-dimensional dose distributions during stereotactic body radiation therapy based on a 2D/3D registration technique with an adaptive transformation parameter approach, *Medical Imaging and Information Sciences*, Vol. 33(2016) No. 3, p.48-56 , 2016年10月.
- Akihiko Takahashi, Miwa Kenta, Masayuki Sasaki, Shingo Baba : A Monte Carlo study on 223Ra imaging for unsealed radionuclide therapy, *Medical Physics*, 43, 6, 2965 - 2974, 2016年06月.
- Hiroaki Shiba, Akihiko Takahashi, Shingo Baba, Yasuo Yamashita, Kazuhiko Himuro, Masayuki Sasaki : Analysis of the influence of 111In on 90Y-bremsstrahlung SPECT based on Monte Carlo simulation, *Annals of Nuclear Medicine*, 30, 8, 2016年08月.

- Akihiro Nohtomi, Ryouzuke Kurihara, Hiroyuki Kinoshita, Soichiro Honda, Masaaki Tokunaga, Heita Uno, Kiyomitsu Shinsho, Genichiro Wakabayashi, Yusuke Koba, Junichi Fukunaga, Yoshiyuki Umezu, Yasuhiko Nakamura, Saiji Ohga : An application of CCD read-out technique to neutron distribution measurement using the self-activation method with a CsI scintillator plate, *Nuclear Instruments and Method in Physics Research A*, A832, 21 - 23, 2016年06月.
- Akihiro Nohtomi, Genichiro Wakabayashi, Hiroyuki Kinoshita, Soichiro Honda, Ryouzuke Kurihara, Junichi Fukunaga, Yoshiyuki Umezu, Yasuhiko Nakamura, Saiji Ohga, Katsumasa Nakamura : High Sensitive Neutron-detection by using a Self-activation of Iodine-containing Scintillators for the Photo-neutron Monitoring around X-ray Radiotherapy Machines, *JPS Conf. Proc. 11, 050002 (2016)*, 2016年11月.
- 松尾亮子, 納富昭弘, 栗原凌佑, 若林源一郎 : 反跳陽子比例計数管によるオンライン n/γ 分離測定へのベイズの定理の応用, *応用物理学会・放射線分科会*, 40, 1, 35 - 40, 2017年03月.

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Makoto Moriyama, Yuichi Murakami, Masafumi Ohki : A Dcm4chee Log Analyzer Monitoring DICOM Network Performance, The American Association of Physicists in Medicine 58th Annual meeting (AAPM2016 in Washington DC), 2016年08月31日, United States of America.
- Y. S a k o, M. Ohki, A. Chaichana, M. Sumi, T. Nakamura : Image analysis for dynamic contrast-enhanced MRI, International Conference On Medical Physics(ICMP) 2016, 2016年12月10日, Thailand.
- Koujiro Ikushima, Hidetaka Arimura, Ze Jin, Jyunpei Kuwazuru, Yoshiyuki Shioyama, Tomonari Sasaki, Hiroshi Honda, Masayuki Sasaki : MachineLearningBased Delineation Framework of GTV Regions of Solid and Ground Glass Opacity Lung Tumors at Datasets of Planning CT and PET/CT Images (e-Poster), The American Association of Physicists in Medicine (AAPM) 2016 (Washington, DC), 2016年08月02日, United States of America.
- Taka-aki Hirose, Hidetaka Arimura, Yusuke Shibayama, Junich Fukunaga, Yoshiyuki Umezu, Saiji Oga, Tomonari Sasaki : Impact of PTV Margins With Taking Into Account Shape Variation On IMRT Plans For Prostate Cancer (Poster), The American Association of Physicists in Medicine (AAPM) 2016 (Washington, DC), 2016年07月31日, United States of America.

- Motoki Sasahara, Hidetaka Arimura, Yusuke Shibayama, Taka-aki Hirose, Saiji Ohga, Yoshiyuki Umez, Hiroshi Honda, Tomonari Sasaki : Automatic target-based patient positioning framework for image-guided radiotherapy in prostate cancer treatment (Poster), The American Association of Physicists in Medicine (AAPM) 2016 (Washington, DC), 2016年07月31日, United States of America.
- Ze Jin, Hidetaka Arimura, Shingo Kakeda, Fumio Yamashita, Makoto Sasaki, Yukunori Korogi : An ellipsoid convex enhancement filter based computer-aided diagnostic framework of intracranial aneurysms in MRA images (Oral), The American Association of Physicists in Medicine (AAPM) 2016 (Washington, DC), 2016年08月04日, Japan.
- Mazen Soufi, Hidetaka Arimura, Katsumasa Nakamura, Taka-aki Hirose, Yoshiyuki Umez, Yoshiyuki Shioyama, Fukai Toyofuku : Computerized Framework for Marker-less Localization of Anatomical Feature Points in Range Images Based on Differential Geometry Features for Image-Guided Radiation Therapy (Oral), The American Association of Physicists in Medicine (AAPM) 2016 (Washington, DC), 2016年07月31日, United States of America.
- Yusuke Shibayama, Hidetaka Arimura, Taka-aki Hirose, Katsumasa Nakamura, Ohga Saiji, Tomonari Sasaki, Yoshiyuki Umez, Yasuhiko Nakamura, Hiroshi Honda : A computational methodology for determination of CTV-to-PTV margins with inter fractional shape variations based on a statistical point distribution model for prostate cancer radiation therapy (Oral), The American Association of Physicists in Medicine (AAPM) 2016 (Washington, DC), 2016年07月31日, United States of America.
- Koujiro Ikushima, Hidetaka Arimura, Ze Jin, Junpei Kuwazuru, Yoshiyuki Shioyama, Tomonari Sasaki, Hiroshi Honda, Masayuki Sasaki : Machine-learning-based delineation approach for gross tumor volume region of three types of lung tumors using planning CT and PET/CT datasets (computer-based custom application exhibit), Radiological Society of North America (RSNA) 2016 (Chicago, IL), 2016年11月28日, United States of America.
- Ze Jin, Hidetaka Arimura, Shingo Kakeda, Kazuya Hirakawa, Fumio Yamashita, Makoto Sasaki, Yukunori Korogi : Impact of asymptomatic intracranial aneurysms probabilistic atlas model on a computer-aided framework for detecting small aneurysms (Oral), Radiological Society of North America (RSNA) 2016 (Chicago, IL), 2016年11月27日, United States of America.
- Motoki Sasahara, Hidetaka Arimura, Yusuke Shibayama, Taka-aki Hirose, Saiji Ohga, Yoshiyuki Umez, Hiroshi Honda, Tomonari Sasaki : Investigation of a target-based patient positioning framework for image-guided radiotherapy in prostate cancer treatment (Oral), International Conference On Medical Physics 2016 (ICMP2016) (Thailand), 2016年12月11日, Thailand.

- Takahiro Nakamoto, Hidetaka Arimura, Taka-aki Hirose, Ken'ichi Morooka, Saiji Ohga, Yoshiyuki Umezu, Yasuhiko Nakamura, Hiroshi Honda, Tomonari Sasaki : 2D/3D registration-based framework for estimating 4D dose distributions according to dynamic images of an EPID during SBRT for lung cancer (Oral), International Conference On Medical Physics 2016 (ICMP2016) (Thailand), 2016年12月10日, Thailand.
- Hidemi Kamezawa, Hidetaka Arimura, Noboru Kameda : Which patient dose index is appropriate for cone-beam computed tomography? (Oral), International Conference On Medical Physics 2016 (ICMP2016) , 2016年12月10日, Thailand.
- Hidetaka Arimura, Chisako Muramatsu, Hiroshi Fujita, Yen-Wei Chen, Kensuke Wakasugi, Akitoshi Katsumata, Takafumi Aoki : Novel retrieval technologies for similar images and personal identification in computer-aided diagnosis and radiation therapy(Mini Symposium), International Conference On Medical Physics 2016 (ICMP2016), 2016年12月10日, Thailand.
- Mazen Soufi, Hidetaka Arimura, Katsumasa Nakamura, Taka-aki Hirose, Yoshiyuki Umezu, Yoshiyuki Shioyama, Fukai Toyofuku : Feasibility of an automated framework for estimation of patient positioning errors in radiation therapy using range images acquired by an infrared ray-based range sensor (Poster), The International Forum on Medical Imaging in Asia (IFMIA) 2017 (Okinawa), 2017年01月19日, Japan.
- Kazuya Hirakawa, Hidetaka Arimura, Ze Jin, Shingo Kakeda, Fumio Yamashita, Makoto Sasaki, Yukunori Korogi : Probabilistic atlas model of asymptomatic intracranial aneurysms on a computer-aided framework for detecting aneurysms (Oral), The International Forum on Medical Imaging in Asia (IFMIA) 2017 (Okinawa), 2017年01月19日, Japan.
- Koujiro Ikushima, Hidetaka Arimura, Ze Jin, Hidetake Yabuuchi, Jyunpei Kuwazuru, Yoshiyuki Shioyama, Tomonari Sasaki, Hiroshi Honda, Masayuki Sasaki : Computational delineation approach for gross tumor volume regions of lung tumors using a support vector machine (Oral), 医用画像情報学会 (MII) 平成 28 年度春季 (第 177 回) 大会, 2017年01月28日, Japan.
- Takahiro Nakamoto, Hidetaka Arimura, Taka-aki Hirose, Saiji Ohga, Yoshiyuki Umezu, Yasuhiko Nakamura, Hiroshi Honda, Tomonari Sasaki : Reconstruction of four-dimensional computed tomography images during treatment time using electronic portal imaging device images based on a dynamic 2D/3D registration (Poster), SPIE Medical Imaging 2017 (Orlando), 2017年02月15日, United States of America.
- Satoshi Yoshidome, Hidetaka Arimura, Koutarou Terashima, Masakazu Hirakawa, Taka-aki Hirose, Junichi Fukunaga, Yasuhiko Nakamura : Automated framework for estimation of lung tumor locations in kV-CBCT images for tumor-based patient positioning in stereotactic lung body radiotherapy(Poster), SPIE Medical Imaging 2017 (Orlando), 2017年02月15日, United States of America.

- Akihiko Takahashi, Kazuhiko Himuro, Shingo Baba, Masayuki Sasaki : A Monte Carlo simulation of ^{223}Ra imaging for unsealed radionuclide therapy, 22th International Conference on Medical Physics (ICMP2016), 2016年12月11日, Thailand.
 - Masaaki Tokunaga, Akihiro Nohtomi, Junichi Fukunaga, Yasuhiko Nakamura, Yoshiyuki Umezu, Saiji Ohga, Genichiro Wakabayashi, Yusuke Koba, Kiyomitsu Shinsyo : An image analysis for neutron distribution measurement by CsI plates with CCD camera using a decaying self-activation imaging technique, The 12th International Workshop on Ionizing Radiation Monitoring, 2016年12月03日, Japan.
 - Ryo Kakino, Akihiro Nohtomi, Genichiro Wakabayashi, Junichi Fukunaga, Yoshiyuki Umezu, Yasuhiko Nakamura, Saiji Ohga : A comparison of neutron generating properties between Varian Clinac 21EX and Varian TrueBeam by using a self-activation of CsI scintillator, The 12th International Workshop on Ionizing Radiation Monitoring, 2016年12月03日, Japan.
- c. **大学・研究機関などの刊行誌** なし
- d. **調査研究報告** なし
- e. **国内学会での講演, 発表**
- Hidetaka Arimura : 元第1段審査委員から見た申請書の書き方 -How to prepare the application form for KAKENHI- From the viewpoint of an ex-primary judge- (JSMP 科研費セミナー), 第111回日本医学物理学学会学術大会 (横浜), 2016年04月15日, パシフィコ横浜.
 - Takahiro Nakamoto, Hidetaka Arimura, Tomonari Sasaki, KEN'ICHI MOROOKA, Taka-aki Hirose, Yasuhiko Nakamura, Yoshiyuki Umezu, Hiroshi Honda, Hideki Hirata : Systematic Framework for Estimating In-vivo Four-Dimensional Dose Distributions during Treatment Delivery in Stereotactic Body Radiotherapy Based on a 2D/3D Registration with an Adaptive Transformation Parameters Approach (Oral), 第72回日本放射線技術学会総会学術大会 (横浜 4月14日~17日), 2016年04月16日, パシフィコ横浜.
 - Hidemi Kamezawa, Hidetaka Arimura : A comparison study of four patient dose indices for cone-beam computed tomography (Oral), 第111回日本医学物理学学会学術大会 (横浜), 2016年04月17日, パシフィコ横浜.
 - Mohammad Haekal, Freddy Haryanto, Zamzam Ibnu Sina, Hidetaka Arimura : Algorithm Performance Evaluation: Gradient-descent, Simulated Annealing, and Hybrid Method for Finding an Optimum of a Function (Oral), 第111回日本医学物理学学会学術大会 (横浜), 2016年04月15日, パシフィコ横浜. Mazen Soufi, Hidetaka Arimura, Katsumasa Nakamura, Taka-aki Hirose, Yoshiyuki Umezu, Yoshiyuki Shioyama, Fukai Toyofuku : Automated localization of anatomical feature points in infrared ray-based range images of patient surfaces by using differential geometry (Oral), 第111回日本医学物理学学会学術大会 (横浜), 2016年04月14日, パシフィコ横浜.

- Satoshi Yoshidome, Hidetaka Arimura, Katsumasa Nakamura, Yoshiyuki Shioyama, Kazushige Atsumi, Yasuhiko Nakamura, Hideki Yoshikawa, Kei Nishikawa, Masakazu Hirakawa : Automated framework for estimation of lung tumor locations in MV-CBCT images for target-based patient positioning in stereotactic body radiotherapy (Oral), 第 111 回日本医学物理学学会学術大会 (横浜), 2016 年 04 月 14 日, パシフィコ横浜.
- Chiaki Tokunaga, Hidetaka Arimura, Kazufumi Kikuchi, Takashi Yoshiura, Satoshi Yoshidome, Kouji Kobayashi, Akio Hiwatashi, Osamu Togao, Koji Yamashita, Yasuhiko Nakamura, Hiroshi Honda : Investigation of Useful Hyperintensity Enhanced MR Images for Detection of Brain Metastases (Oral), 第 72 回日本放射線技術学会総会学術大会 (横浜 4 月 14 日~17 日), 2016 年 04 月 14 日, パシフィコ横浜.
- Takahiro Iwasaki, Hidetaka Arimura, Tran Thi Thao Nguyen, Yoshifumi Oku, Takashi Yoshiura, Hideki Hirata : Influence of Tissue Heterogeneity on Dose Distributions in Intracavitary Brachytherapy for Uterine Cervical Cancer with Monte Carlo Simulation (Oral), 第 111 回日本医学物理学学会学術大会 (横浜), 2016 年 04 月 16 日, パシフィコ横浜.
- Kazuya Hirakawa, Hidetaka Arimura, Ze Jin, Shingo Kakeda, Fumio Yamashita, Makoto Sasaki, Yukunori Korogi : Development of an Ellipsoid Convex Enhancement Filter for Detection of Intracranial Aneurysms in CAD Frameworks, 第 72 回日本放射線技術学会総会学術大会 (横浜), 2016 年 04 月 14 日, パシフィコ横浜.
- Ryosuke Asamura, Hidetaka Arimura, Mazen Soufi, Ze Jin, Tomonari Sasaki, Hiroshi Honda : An approach for evaluation of dose distributions in intensity modulated radiotherapy planning for prostate cancer (Oral), 第 111 回日本医学物理学学会学術大会 (横浜), 2016 年 04 月 15 日, パシフィコ横浜.
- 笹原基希, 有村 秀孝, 柴山祐亮, 廣瀬貴章, 大賀才路, 梅津芳幸, 本田 浩, 佐々木智成 : 放射線治療における確率アトラスとベイズ推定を用いたコーンビーム CT 上の前立腺領域自動抽出 (口頭), 第 35 回日本医用画像工学会大会 (千葉), 2016 年 07 月 23 日, 千葉大学.
- 浅村 峻介, 有村 秀孝, Soufi Mazen, Ze Jin, 佐々木智成, 本田 浩 : 前立腺癌に対する強度変調放射線治療における線量分布上のコールドスポット検出のための計算的手法 (口頭), 第 35 回日本医用画像工学会大会 (千葉), 2016 年 07 月 21 日, 千葉大学.
- Hidetaka Arimura : 磁気共鳴血管画像における脳動脈瘤のコンピュータ支援検出と将来展望 (ワークショップ), 日本機械学会 2016 年度年次大会 (福岡), 2016 年 09 月 13 日, 九州大学伊都キャンパス.
- Yoshifumi Oku, Hidetaka Arimura, Tran Thi Thao Nguyen, Yoshiyuki Hiraki, Masahiko Toyota, Yasumasa Saigo, Takashi Yoshiura, Hideki Hirata : Robustness of adaptive intracavitary brachytherapy for uterine cervical cancer against interfractional location variations of organs and/or applicators (Poster), 第 112 回日本医学物理学学会学術大会 (沖縄), 2016 年 09 月 10 日, 沖縄コンベンションセンター.

- 河田康雄, 有村秀孝, 幾嶋宏二郎, Ze Jin, 藪内英剛, 塩山善之, 佐々木智成, 本田浩, 佐々木雅之: 高精度放射線治療におけるFCMに基づく肉眼的腫瘍体積抽出法の研究(口頭), 医用画像情報学会(MII)平成28年度秋季(第176回)大会(サンポートホール高松), 2016年10月01日, サンポートホール高松.
- 二宮健太, 有村秀孝, 笹原基希, 大賀才路, 梅津芳幸, 本田浩, 佐々木智成: 放射線治療計画における前立腺領域自動抽出法の開発(口頭), 第11回九州放射線医療技術学会(大分), 2016年11月05日, 別府コンベンションセンター B-ConPlaza.
- 長谷合修, 有村秀孝, 今井美里, 吉武忠正, 野中歩美, 大賀才路, 本田浩, 佐々木智成: 類似症例に基づく計算機支援肺定位放射線治療計画法の開発(口頭), 第11回九州放射線医療技術学会(大分), 2016年11月06日, 別府コンベンションセンター B-ConPlaza.
- 森田 拳斗, 有村秀孝, 幾嶋宏二郎, Ze Jin, 藪内英剛, 塩山善之, 佐々木智成, 本田浩, 佐々木雅之: 人工ニューラルネットワークを用いた肺腫瘍領域の自動抽出法の開発(口頭), 第11回九州放射線医療技術学会(大分), 2016年11月06日, 別府コンベンションセンター B-ConPlaza.
- 有村秀孝: 放射線技術の発展と人材育成~科学研究費助成事業を通じて~(シンポジウム講演), 第11回九州放射線医療技術学会(大分), 2016年11月05日, 別府コンベンションセンター B-ConPlaza.
- Taka-aki Hirose, Hidetaka Arimura, Yusuke Shibayama, Jun-ichi Fukunaga, Yoshiyuki Umezu, Ohga Saiji, Tomonari Sasaki: Usefulness of PTV margins with taking into account shape variation in IMRT plans for prostate cancer (Poster), 第29回日本放射線腫瘍学会学術大会(京都), 2016年11月27日, 国立京都国際会館.
- 永見 範幸, 有村秀孝, 大石光寿, 徳丸直郎, 今泉猛, 戸山真吾, 武下剛, 田北諭, 姥浩二, 入江裕之: Feasibility of a metal artifact reduction technique in RTP for head and neck cancer (Oral), 第29回日本放射線腫瘍学会学術大会(京都), 2016年11月26日, 国立京都国際会館.
- 有村秀孝: コンピュータ支援放射線治療計画における自動化技術(ワークショップ講演), 第29回日本放射線腫瘍学会学術大会(京都), 2016年11月26日, 国立京都国際会館.
- Mohammad Haekal, Hidetaka Arimura, Yusuke Shibayama, Taka-aki Hirose, Takahiro Nakamoto, Saiji Ohga, Yoshiyuki Umezu, Yasuhiko Nakamura, Hiroshi Honda, Tomonari Sasaki: Computational analysis on rectum positional variability by centroid measurement in prostate cancer treatment (Oral), 医用画像情報学会(MII)平成28年度春季(第177回)大会, 2017年01月28日, 九州大学病院キャンパス.
- 亀澤秀美, 有村秀孝, 亀田登, 尻枝勝敏, 大喜雅文: 画像誘導患者位置決めシステムにおけるノイズ抑制フィルタを用いた患者被ばく線量低減の可能性(Oral), 医用画像情報学会(MII)平成28年度春季(第177回)大会, 2017年01月28日, 九州大学病院キャンパス.

- 高橋 昭彦, 三輪 建太, 佐々木 雅之, 馬場 眞吾: Monte Carlo Simulation of ^{223}Ra imaging for unsealed radionuclide therapy, 第 72 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2016 年 04 月 14 日, パシフィコ横浜会議センター(神奈川県横浜市).
- 大島 慎也, 高橋 昭彦, 大島 良太, 氷室 和彦, 佐々木 雅之: Ra-223 ガンマ線画像における線広がり関数のコリメータ依存性, 第 11 回九州放射線医療技術学術大会, 2016 年 11 月 05 日, 別府国際コンベンションセンター.
- 加納 涼太, 高橋 昭彦, 氷室 和彦, 佐々木 雅之: Channelized Hotelling Observer 法の検出能に関する研究, 第 11 回九州放射線医療技術学術大会, 2016 年 11 月 06 日, 別府国際コンベンションセンター.
- 舟田 圭汰, 高橋 昭彦, 氷室 和彦, 佐々木 雅之: ドパミントランスポート SPECT 画像へのコリメータの影響に関するモンテカルロシミュレーション, 第 11 回九州放射線医療技術学術大会, 2016 年 11 月 05 日, 別府国際コンベンションセンター.
- 大島 良太, 高橋 昭彦, 氷室 和彦, 佐々木 雅之: モンテカルロシミュレーションを用いたアイソトープ内用療法における Ra-223 の画像化の検討, 第 11 回九州放射線医療技術学術大会, 2016 年 11 月 05 日, 別府国際コンベンションセンター.
- 高橋 昭彦, 氷室 和彦, 馬場 眞吾, 佐々木 雅之: Ra-223 ガンマ線画像における線広がり関数のコリメータ依存性, 第 44 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2016 年 10 月 14 日, ソニックシティ (さいたま市).
- 納富 昭弘, 本田宗一郎, 待鳥啓太, 若林源一郎: 自己放射化した CsI で観測される I-128 β スペクトル形状歪みの因子について, 第 31 回 研究会「放射線検出器とその応用」, 2017 年 01 月 24 日, つくば市 高エネルギー加速器研究機構.
- 納富 昭弘, 栗原凌佑, 松尾亮子, 徳永将瑛, 柿野諒, 若林源一郎, 櫻井良憲, 田中浩基: 加速器 BNCT 場の QA の為の中性子エネルギースペクトル評価装置の開発, 日本中性子捕捉療法学会, 2016 年 08 月 06 日, 東京都・文京区 東京大学.
- 村上由花子: CsI シンチレータによる中性子線量測定の為の ^{128}I と $^{134\text{m}}\text{Cs}$ の生成特性の評価, 第 11 回九州放射線医療技術学術大会, 2016 年 11 月 05 日, 大分県・別府市.
- 湊麻美: CsI 板と CCD カメラを用いた簡易中性子分布測定手法の開発, 第 11 回九州放射線医療技術学術大会, 2016 年 11 月 05 日, 大分県・別府市.
- 待鳥啓太: CsI シンチレータの自己放射化による中性子測定に周辺物質の放射化が及ぼす影響の評価, 第 11 回九州放射線医療技術学術大会, 2016 年 11 月 05 日, 大分県・別府市.
- 植木大志: 市販 γ 線測定用 CsI 検出器の中性子応答特性調査, 第 11 回九州放射線医療技術学術大会, 2016 年 11 月 05 日, 大分県・別府市.

f. 学会以外での講演, 発表

- 納富 昭弘: 放射線基礎物理, 医学物理ミニマム講習会, 2016 年 06 月 04 日, 東京都 秋葉原ダイビル.
- 納富 昭弘: 中性子に関連する基礎物理, BNCT 講習会, 2017 年 03 月 01 日, 京都大学原子炉実験所.

- 徳永将瑛, 納富 昭弘, 福永淳一, 梅津芳幸, 中村泰彦, 大賀才路, 眞正浄光, 若林源一郎, 古場裕介: CsI の自己放射化を用いた中性子強度分布測定への CCD 読み出しの応用と解析, 応用物理学会・放射線夏の学校, 2016年08月02日, 千葉県白浜.
- 柿野諒, 納富 昭弘, 福永淳一, 梅津芳幸, 中村泰彦, 大賀才路, 若林源一郎: CsI シンチレータの自己放射化により生成する ^{128}I , $^{134\text{m}}\text{Cs}$ を用いた中性子線量評価の検討, 応用物理学会・放射線夏の学校, 2016年08月02日, 千葉県白浜.
- 栗原凌佑, 納富 昭弘, 松尾亮子, 徳永将瑛, 柿野諒, 若林源一郎, 櫻井良憲, 田中浩基本: 加速器 BNCT 場の QA のための中性子エネルギースペクトロメータの応答関数の評価, 応用物理学会・放射線夏の学校, 2016年08月02日, 千葉県白浜.

8. 著作

a. 単行本

- Hidetaka Arimura: (編集) Image-Based Computer-Assisted Radiation Therapy Edited by Hidetaka Arimura, March 4, 2017, 2017年03月, Springer.

b. 総説 なし

c. 解説, 書評など なし

9. 受賞

- 有村, 「Automated localization of anatomical feature points in infrared ray-based range images of patient surfaces by using differential geometry」, 第111回日本医学物理学会学術大会大会長賞 (Mazen Soufi, 有村秀孝, 他) Automated localization of anatomical feature points in infrared ray-based range images of patient surfaces by using differential geometry, 第111回日本医学物理学会学術大会 (横浜), 2016年04月.
- 有村, 「Brachytherapy for Treatment of cervical cancer」, Best Presentation Award (Tran Thi Thao Nguyen, Arimura H. et al.) Brachytherapy for Treatment of Cervical Cancer, Vietnamese-Japanese Students' Scientific Exchange Meeting(VJSE 2016) Fukuoka, Sep. 17, 2016, 2016年09月.
- 有村, 「"2D/3D registration-based framework for estimating 4D dose distributions according to dynamic images of an EPID during SBRT for lung cancer"」, Best Presentation Silver Award of IOMP (Nakamoto T, Arimura H. et al.) "2D/3D registration-based framework for estimating 4D dose distributions according to dynamic images of an EPID during SBRT for lung cancer", The 22nd International conference on Medical Physics (ICMP2016, Bangkok, Thailand) 2016.12.10, 2016年12月.
- 有村, 「" Investigation of a target-based patient positioning framework for image-guided radiotherapy in prostate cancer treatment"」, ICMP2016 Anchali Krisanachinda Award (Sasahara M, Arimura H. et al.) "Investigation of a target-based patient positioning framework for image-guided radiotherapy in prostate cancer treatment", The 22nd International conference on Medical Physics (ICMP2016, Bangkok, Thailand) 2016.12.11, 2016年12月.

- 納富, 「(Outstanding Paper Published in 2015) "Applicability of self-activation of an NaI scintillator for measurement of photo-neutrons around a high-energy X-ray radiotherapy machine"」, Doi Award (土井賞) in Radiation Therapy Physics, Radiological Physics and Technology, 2016年04月.

10. 報道 なし

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 高橋, CO₂ レーザー生成プラズマによる高輝度 EUV 光源の開発, 宇都宮大学, 2014年04月~2018年03月, 公開.

2. 受託研究 なし

3. 取得特許 なし

4. 兼業

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 大喜, AAPM2016 at Washington Convention Center, July31-Aug.4, 2016 (United States of America), 国際会議, 2016年07月~2016年08月 (2週間未満)
- 大喜, International Conference On Medical Physics 2016 (ICMP2016), Shangri-La Hotel, Bangkok, Dec. 9, 2016~Dec. 12, 2016 (Thailand), 国際会議, 2016年12月~2016年12月 (2週間未満)
- 大喜, 香港大学 (中国), 大学・看護学部訪問, 2017年03月~2017年03月 (2週間未満)
- 有村, AAPM2016 at Washington Convention Center, July31-Aug.4, 2016 (United States of America), 国際会議, 2016年07月~2016年08月 (2週間未満)
- 有村, RSNA2016 at McCormick Place Convention Center (Chicago), Nov.27-Dec.2, 2016 (United States of America), 国際会議, 2016年11月~2016年12月 (2週間未満),
- 有村, Chulalongkorn University, "1.Least square method based on linear algebra", "2.Fourier series, Fourier transform", "3.Sampling theory (including DFT, CT and MR reconstructions)" (Thailand), 大学・研究所訪問, 2016年10月~2016年10月 (2週間未満)
- 有村, International Conference On Medical Physics 2016 (ICMP2016), Shangri-La Hotel, Bangkok, Dec. 9, 2016~Dec. 12, 2016 (Thailand), 国際会議, 2016年12月~2016年12月 (2週間未満),
- 有村, University of Science HoChiMin, "An Introduction to the Kyushu University, Japan", "Prof. Arimura's research activities" (Vietnam), 大学・研究所訪問, 2016年12月~2016年12月 (2週間未満),

- 有村, International Workshop on Advanced Image Technology (IWAIT 2017), Equatorial Hotel, Penang, 8-9, January 2017 (Malaysia), 国際会議, 2017年01月~2017年01月 (2週間未満),
- 有村, University of Malaya, "Introduction of Kyushu University for Recruiting International Students", "My Niche Research based on Medical Physics" (Malaysia), 大学・研究所訪問, 2017年03月~2017年03月 (2週間未満),
- 納富, 台湾国立清華大学 (Taiwan), 大学・研究所訪問, 2016年09月~2016年09月 (2週間未満),

2. 外国人研究者の受入れ

- a. 訪問教授・研究員 なし
- b. 訪問研究者 なし

3. 留学生の受入れ

Tran Thi Thao Nguyen	博士課程
Mohammad Haekal	博士課程
靳 泽 Ze Jin (From China) JSPS Research Fellowships for Young Scientists(DC2)	博士課程
Soufi Mazen (From Syria)	博士課程
Adita sutresno (from Bandung Institute of Technology in Indonesia) (18 January ~Apr. 11, 2017)	研究生
Nunung Nuraeni (from Bandung Institute of Technology in Indonesia) (18 January ~May. 18, 2017)	研究生

4. 学生の海外派遣

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 有村, 九州がんプロ養成基盤推進プラン医学物理士養成コース担当者.
- 高橋, 情報統括本部全学情報環境利用委員会.

2. 部局委員

- 大喜, 医学研究院保健学部門長
- 大喜, 医学系学府保健学専攻長
- 大喜, 医学部保健学科長

3. 部門・コース内委員

- 有村, 広報委員 (副委員長)
- 有村, 地域連携国際およびFD委員 (委員長)
- 有村, 環境施設委員
- 納富, 教務委員

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 大喜, 九州大学歯学部, 非常勤講師
- 大喜, 福岡医健専門学校, 非常勤講師
- 大喜, 長崎大学歯学部, 非常勤講師

- 有村, 群馬大学大学院・医学研究科生命医科学専攻, 非常勤講師
- 有村, 原田学園 鹿児島医療技術専門学校 診療放射線技術学科, 非常勤講師
- 納富, 近畿大学 原子力研究所 客員准教授
- 納富, 福岡大学・医学部, 非常勤講師
- 納富, 福岡市医師会看護学校, 非常勤講師

2. 学協会

- 有村, 日本放射線技術学会(JSRT), その他(学会事業評価委員, 国際戦略委員)
- 有村, 電子情報通信学会(IEICE), その他(医用画像研究会(MI)専門委員)
- 有村, 医用画像情報学会(MII), 理事, 国内.
- 有村, 日本医学物理学会(JSMP), 理事, 国内.
- 有村, 日本医学物理学会(JSMP), その他(用語委員, 教育委員), 国内.
- 有村, 医用画像情報学会(MII), その他(編集委員長), 国内.
- 納富, 日本中性子捕捉療法学会, その他(BNCT人材育成委員会委員), 国内.
- 納富, BNCT推進協議会, その他(人材育成WG), 国内.
- 納富, 日本医学物理学会 医学物理学教科書シリーズ「放射線計測学」, 編集委員(執筆医院、教科書 ad hoc 委員会委員), 国内.
- 納富, 日本医学物理学会 防護委員会, 委員, 国内.
- 納富, Radiological Physics and Technology, 編集委員, 国際.
- 納富, 日本医学物理学会誌「医学物理」, 編集委員, 国内.
- 納富, Journal of Radiation Research, 査読委員, 国際.
- 納富, 日本放射線技術学会誌, 査読委員, 国内.
- 納富, Journal of Nuclear Science and Technology, 査読委員, 国内.

3. 官界 なし

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 有村, 「内山良一先生(熊本大学)、馬込大貴先生(駒沢大学)、藤淵俊王先生(九州大学)、有村秀孝(九州大学)の4名の講師を迎え、九大保健学部門において平成28年度第1回がんプロ講演会を開催した。Dec. 16, 2016」, 2016-01-01.

5. 公開講座・公開講演会

- 有村, 「平成28年度第1回研究セミナー「科研費申請書の”描き方”」 「画像工学的手法の魅力 -コンピュータ支援診断から放射線治療-」, 群馬県立県民健康科学大学. 群馬県立県民健康科学大学 (2016年8月29日), セミナー・研修会.
- 有村, 「平成28年度 東北大学医物理セミナー Radiomics, “Paradigm Shift To Radiomics-based Radiation Therapy From Physics-based RT” 「物理ベースの放射線治療からレディオミクスベース放射線治療へのパラダイムシフト」, 主催: 東北大学院医系研究科物理士養成コース 共催: 東北がんプロフェッショナル養成推進プラン. 東北大学川内キャンパスマルチメディア教育研究棟 (2017年3月19日), セミナー・研修会.

6. 初等中等教育への貢献 なし

医用量子線科学分野

医用放射線科学

教授	佐々木 雅之
教授	杜下 淳次
教授	藪内 英剛
准教授	佐々木 智成
准教授	藤淵 俊王
助教	赤坂 勉
助教	吉田 豊

1. 教育活動

1. 大学院講義

分子機能画像科学論	(分担) 佐々木 雅之	後期
ヘルスサイエンス論	(分担) 佐々木 雅之	前期
臨床量子線科学 I	(分担) 佐々木 雅之	前期
臨床量子線科学 II	(分担) 佐々木 雅之	前期
保健学研究論	杜下	前期
医用画像科学論	杜下	後期
臨床量子線科学 I	(分担) 杜下	前期
分子機能画像科学論	(分担) 藪内	後期
臨床量子線科学 I	(分担) 藪内	前期
先端医療論	(分担) 佐々木 智成	前期
国際社会とチーム医療	(分担) 佐々木 智成	前期
量子線治療科学演習	(分担) 佐々木 智成	前期
量子線治療科学演習	藤淵	前期
国際社会とチーム医療	吉田	前期

2. 大学院実験・実習

量子線治療科学演習	(分担) 佐々木 智成	前期
-----------	-------------	----

3. 大学院演習

分子機能画像科学演習	(分担) 佐々木 雅之	前期
分子機能画像科学演習	(分担) 藪内	前期
量子線治療科学演習	(分担) 佐々木 智成	前期
量子線治療科学演習	(分担) 藤淵	前期

4. 大学院修士課程修了者

守田 圭伸	PET 検査の集積不均一性の評価に関する研究
川本 圭晋	医用液晶ディスプレイの輝度均一性の経年劣化に関する基礎的研究
椿 峻	骨から得られる情報を用いた個人識別に関する研究
三賀山 諒司	拡散強調 MRI の標準化に関する研究
木村 光宏	Intravoxel incoherent motion (IVIM) イメージングにおける至適 b-value の研究と拡散テンソルイメージングにおける自作標準化ファントムの研究
筒井 昭詔	上腹部 IVIM Imaging における至適撮像条件の研究 : IVIM parameters と ADC 値との比較
井村 航	3DCG を用いた患者セットアップ技術トレーニングシステムの開発
寺崎 健人	医療従事者の個人線量モニタリングのためのスマートフォン接続型半導体検出器の特性評価
平山 咲英	モンテカルロシミュレーションを用いた放射線治療における二次中性子の発がんリスク評価
豊田 高稔	PET 核種生成に伴う医療用小型サイクロトロン室内の熱中性子フルエンス率の評価

5. 大学院博士課程修了者 なし

6. 学部講義

放射線医学技術学概論	(分担) 佐々木 雅之	後期
放射性同位元素検査技術学・実習	(分担) 佐々木 雅之	前期
放射化学・実験	(分担) 佐々木 雅之	後期
核医学検査学 I	(分担) 佐々木 雅之	前期
核医学検査学 II	(分担) 佐々木 雅之	後期
医学総論 I	佐々木 雅之	前期
医学総論 II	佐々木 雅之	前期
臨床解剖薬理学	佐々木 雅之	後期
医療安全学	佐々木 雅之	後期
放射線技術科学入門 I	(分担) 佐々木 雅之	前期
放射線技術科学入門 II	(分担) 佐々木 雅之	後期
X 線 CT 画像技術学	(分担) 杜下	前期
放射線画像技術学 I	(分担) 杜下	前期
医用画像評価学	杜下	後期
放射線医学技術学概論	(分担) 杜下	後期
放射線画像技術学 II	杜下	後期
放射線技術科学入門 I	(分担) 杜下	前期
放射線技術科学入門 II	(分担) 杜下	後期
放射線基礎医学	(分担) 藪内	後期

画像解剖学 I	藪内		後期
画像解剖学 II	藪内		後期
MR 画像技術学	藪内		前期
放射線診断学特論	藪内		後期
生理機能検査学 I	(分担) 藪内		前期
臨床イメージング	藪内		前期
臨床解剖薬理学	(分担) 藪内		後期
放射線医学技術学概論	(分担) 藪内		後期
放射線技術科学入門 I	(分担) 藪内		前期
放射線技術科学入門 II	(分担) 藪内		後期
放射線生物学	(分担) 佐々木	智成	前期
放射線治療技術学 I	(分担) 佐々木	智成	前期
放射線技術科学入門 I	(分担) 佐々木	智成	前期
放射線技術科学入門 II	(分担) 佐々木	智成	後期
放射線治療技術学 I	(分担) 藤淵		前期
放射線生物学	(分担) 藤淵		前期
放射線治療・核医学機器学	(分担) 藤淵		前期
放射線技術科学入門 I	(分担) 藤淵		前期
放射線技術科学入門 II	(分担) 藤淵		後期
X 線 CT 画像技術学	(分担) 吉田		前期
放射線画像技術学 I	(分担) 吉田		前期
放射線画像技術学 II	吉田		後期
医療安全学	(分担) 吉田		後期
放射化学・実験	(分担) 吉田		後期
放射性同位元素検査技術学・実習	(分担) 吉田		前期
臨床解剖薬理学	吉田		後期
放射線技術科学入門 I	(分担) 吉田		前期
放射線技術科学入門 II	(分担) 吉田		後期
医用画像情報学	赤坂		後期
放射線管理学	赤坂		後期
放射線技術科学入門 I	(分担) 赤坂		前期
放射線技術科学入門 II	(分担) 赤坂		後期

7. 学部の実験・実習・演習

放射性同位元素検査技術学・実習	(分担) 佐々木	雅之	前期
放射化学・実験	(分担) 佐々木	雅之	後期
臨床解剖薬理学	佐々木	雅之	後期
臨地実習	佐々木	雅之	通年

卒業研究		佐々木 雅之	通年
臨地実習		杜下	通年
卒業研究		杜下	通年
放射線画像技術学実習	(分担)	藪内	後期
臨地実習		藪内	通年
卒業研究		藪内	通年
臨地実習		佐々木 智成	通年
卒業研究		佐々木 智成	通年
放射線計測学実験		藤淵	前期
臨地実習		藤淵	通年
卒業研究		藤淵	通年
放射線画像技術学実習		吉田	後期
放射化学・実験		吉田	後期
放射性同位元素検査技術学・実習	(分担)	吉田	前期
臨床解剖薬理学		吉田	後期
臨地実習		吉田	通年
卒業研究		吉田	通年
放射線管理学実験		赤坂	前期
医用画像技術学実習	(分担)	赤坂	前期
放射性同位元素検査技術学・実習	(分担)	赤坂	前期
臨地実習		赤坂	通年
卒業研究		赤坂	通年

8. 卒業論文作成者

木本 沙希	PET/CT の定量精度に関する研究
庄司 彩乃	PET/CT の定量精度に関する研究
杠 友希	SPECT/CT の定量精度に関する研究
原 薫	頭頸部模擬ファントムにおける脂肪含有率の測定精度～ mDIXON TSE と mDIXON Quant の比較 ～
原田 伸明	線維化病変を模擬した拡散強調画像用ファントムの作成
山根 志穂	mDIXON Quant と MR Spectroscopy の乳房脂肪含有率測定精度の比較
坂田 弥生	超音波エラストグラフィの再現性に関する研究
川添 優介	肋間の測定に基づく性別や年代分類の可能性を探る研究
横山 功一	汎用モーションセンサーにより自動骨格推定の誤差に関する研究
笠井 裕貴	TomoDirect 方式を用いたトモセラピーによる全身照射の妥当性と安全性の検証
松川 英明	子宮頸癌小線源治療における線量評価点 (B 点) の解剖学的位置に関する研究

井上 晃太	グリッドレス胸部トモシンセシスによる被ばく線量低減の検討
豊福 千絢	アクリル球を用いたトモシンセシスの断層厚測定
川東 祐太	文献と現物照合による歴史的医用X線管の技術学的考察～第5報 高電圧整流管～
浦 秀亘	文献と現物照合による歴史的医用X線管の技術学的考察～第6報 展示に向けた総括～
尾関 眞梨	医療被ばく相談に対するリスクコミュニケーション能力養成ツールの開発
井手 隆裕	複数の線量評価方法による入射表面線量の横断的な評価
上田 昂樹	モンテカルロシミュレーションを用いたX線CT検査室内の散乱線分布の評価
波多野 亮介	モンテカルロシミュレーションを用いた放射線治療時の空気の放射化生成核種の評価

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導 なし

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1 医用画像表示用LCD装置に関する研究	杜下
2 医用X線画像の自動認識に関する研究	杜下
3 法医学におけるX線画像の活用に関する研究	杜下
4 DigitalX線画像の評価に関する研究	杜下
5 切除不能局所進行非小細胞肺癌に対する化学放射線療法	佐々木 智成
6 TomoDirect方式を用いたトモセラピーによる全身照射の妥当性と安全性の検証	佐々木 智成
7 子宮頸癌小線源治療における線量評価点（B点）の解剖学的位置に関する研究	佐々木 智成
8 X線撮影技術，診断領域の線量測定	吉田

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

- 実践能力強化型チーム医療加速プログラム、大喜（事業推進責任者）杜下（プロジェクトリーダー），20050千円
- 「基盤研究(C)」 三次元ならびに二次元X線画像を利用した身元確認システムの開発，杜下（代表），1100千円.
- 「挑戦的萌芽研究」 超高速三次元計測小型カメラによる高精度放射線治療位置認識システムの開発，佐々木智成（分担），0千円.
- 「基盤研究(C)」 近似症例検索エンジンを用いた放射線治療計画支援システムの開発，佐々木智成（分担），0千円.

- 「基盤研究(C)」 乳児放射線検査における線量と画質の最適化手法の確立, 藤淵 (代表), 2300 千円.
- 3. 学内研究経費の受け入れ なし
- 4. 奨学寄付金の受入れ
 - 「PET による腫瘍診断の研究」 日本メジフィジックス, 佐々木 雅之, 760 千円.
 - 「核医学による腫瘍の診断と治療の研究」 フジR I ファーマ, 佐々木 雅之, 380 千円.
- 5. その他の外部研究資金の受入れ
 - 三社より共同研究資金、杜下
 - 「ヤグチ電子工業 医療用 X 線ワイヤレス被ばく管理システムの開発」 藤淵, 0 千円.
 - 「放射線医学総合研究所 医療用リニアックからの光子線照射に伴う二次中性子線量計測」 藤淵, 0 千円.
- 6. 受託研究員・研修員の受入れ
- 7. 研究成果の報告
 - a. 学会誌・学術専門誌
 - Satoru Matsuo, Junji Morishita, Tetsuro Katafuchi, Hiroshi Fujita. **Comparison of edge enhancements by phase contrast imaging and post-processing with unsharp masking or Laplacian filtering.** *医用画像情報学会誌*. 2016; 33 (4): 87-95
 - Masateru Kawakubo, Hiroshi Akamine, Yuzo Yamasaki, Atsuhiko Takemura, Kohtaro Abe, Kazuya Hosokawa, Junji Morishita, Michinobu Nagao, **Three-dimensional phase contrast magnetic resonance imaging validated to assess pulmonary artery flow in patients with chronic thromboembolic pulmonary hypertension.** *Radiological Physics and Technology*. 2016.10 (online first)
 - Young Hoon Roh, Yongsu Yoon, Kihyun Kim, Jungsu Kim, Jungmin Kim, Junji Morishita, **A novel radiation detector for removing scattered radiation in chest radiography: Monte Carlo simulation-based performance evaluation.** *Journal of Instrumentation*. 2016; 11 (10): T10008
 - Yasuyuki Ueda, Junji Morishita, Shohei Kudomi, Katsuhiko Ueda, **Usefulness of biological fingerprint in magnetic resonance imaging for patient verification.** *Medical & Biological Engineering & Computing*. 2016; 54(9):1341-1351
 - Yoichiro Shimizu, Yusuke Matsunobu, Junji Morishita, **Evaluation of the usefulness of modified biological fingerprints in chest radiographs for patient recognition and identification.** *Radiological Physics and Technology*. 2016; 9(2): 240-244.
 - Yongsu Yoon, Junji Morishita, MinSeok Park, Hyunji Kim, Kihyun Kim and Jungmin Kim, **Monte Carlo simulation-based feasibility study of novel indirect flat panel detector system for removing scatter radiation.** *Physica Medica: European Journal of Medical Physics*. 2016; 32(1): 182-187

- Masateru Kawakubo, Michinobu Nagao, Seiji Kumazawa, Yuzo Yamasaki, Akiko Suyama Chishaki, Yasuhiko Nakamura, Hiroshi Honda, Junji Morishita, **Evaluation of ventricular dysfunction using semi-automatic longitudinal strain analysis of four-chamber cine MR imaging.** *The International Journal of Cardiovascular Imaging.* 2016; 32(2): 283-289
- Shogo Yasumatsu, Nobukazu Tanaka, Kensuke Iwase, Yoichiro Shimizu, Junji Morishita, **Effect of X-ray beam quality on determination of exposure index.** *Radiological Physics and Technology.* 2016; 9(1): 109-115
- Miwa Kenta, Masayuki Sasaki : Evaluation of scatter limitation correction: a new method to correct photopenic artifacts caused by patient motion during whole-body PET/CT., *Nucl Med Commun*, 30, 2, 147 - 154, 2016年05月.
- 松友 紀和, 佐々木 雅之 : ドーズキャリブレーションの測定精度および施設間差の評価, *日本放射線技術学会雑誌*, 72, 5, 410 - 415, 2016年05月.
- Akihiko Takahashi, Miwa Kenta, Masayuki Sasaki, Shingo Baba : A Monte Carlo study on ²²³Ra imaging for unsealed radionuclide therapy., *Medical Physics*, 43, 6, 2965 - 2974, 2016年06月.
- Toshiki Takeshita, Masayuki Sasaki : The influence of respiratory motion on the cumulative SUV-volume histogram and fractal analyses of intratumoral heterogeneity in PET/CT imaging, *ANNALS OF NUCLEAR MEDICINE*, 30, 6, 393 - 399, 2016年07月.
- Go Akamatsu, Masayuki Sasaki : Automated PET-only quantification of amyloid deposition with adaptive template and empirically pre-defined ROI, *PHYSICS IN MEDICINE AND BIOLOGY*, 61, 15, 5768 - 5780, 2016年08月.
- TAKURO ISODA, Masayuki Sasaki : Impact of patient age on the iodine/FDG "flip-flop" phenomenon in lung metastasis from thyroid cancer., *ANNALS OF NUCLEAR MEDICINE*, 30, 8, 518 - 524, 2016年10月.
- H Shiba, Masayuki Sasaki : Analysis of the influence of In-111 on Y-90-bremsstrahlung SPECT based on Monte Carlo simulation, *ANNALS OF NUCLEAR MEDICINE*, 30, 10, 675 - 681, 2016年12月.
- Kitamura Yoshiyuki, Masayuki Sasaki : The Efficiency of Respiratory-gated ¹⁸F-FDG PET/CT in Lung Adenocarcinoma: Amplitude-gating Versus Phase-gating Methods., *Asia Ocean J Nucl Med Biol.*, 5, 1, 30 - 36, 2017年01月.
- TAKURO ISODA, Masayuki Sasaki : Influence of the Different Primary Cancers and Different Types of Bone Metastasis on the Lesion-based Artificial Neural Network Value Calculated by a Computer-aided Diagnostic System, BONENAVI, on Bone Scintigraphy Images., *Asia Ocean J Nucl Med Biol.*, 5, 1, 49 - 55, 2017年01月.
- Koujiro Ikushima, Masayuki Sasaki : Computer-assisted framework for machine-learning-based delineation of GTV regions on datasets of planning CT and PET/CT images, *JOURNAL OF RADIATION RESEARCH*, 58, 1, 123 - 134, 2017年01月.

- 福永智久, 佐々木 雅之: 心電図同期心筋血流 SPECT 左室位相解析を用いた血流動態評価の試み, *核医学技術*, 37, 2, 157 - 165, 2017年02月.
- Yuji Tsutsui, Masayuki Sasaki: Edge Artifacts in Point Spread Function-based PET Reconstruction in Relation to Object Size and Reconstruction Parameters., *Asia Ocean J Nucl Med Biol.*, 5, 2, 134 - 143, 2017年02月.
- Yabuuchi H, Junji Morishita: Detectability of BI-RADS category 3 or higher breast lesions and reading time on mammography: comparison between 5-MP and 8-MP LCD monitors, *Acta Radiologica*, 2016年06月.
- Yabuuchi H, Kawanami S, Kamitani T, Matsumura T, Yamasaki Y, Morishita J, Honda H: Detectability of BI-RADS category 3 or higher breast lesions and reading time on mammography: comparison between 5-MP and 8-MP LCD monitors., *Acta Radiologica*, 2016年06月.
- Yabuuchi H, Kawanami S, Kamitani T, Yonezawa M, Yamasaki Y, Yamanouchi T, Nagao M, Okamoto T, Honda H: Prediction of post-operative pulmonary function after lobectomy for primary lung cancer: A comparison among counting method, effective lobar volume, and lobar collapsibility using inspiratory/expiratory CT, *European Journal of Radiology*, 85, 1956 - 1962, 2016年09月.
- Kazuya Nagatomo, Hidetake Yabuuchi, Yuzo Yamasaki, Hiroshi Narita, Seiji Kumazawa, Tsukasa Kojima, Noriyuki Sakai, Masahumi Masaki, Hiroshi Kimura: Efficacy of periodically rotated overlapping parallel lines with enhanced reconstruction (PROPELLER) for shoulder magnetic resonance (MR) imaging. *European Journal of Radiology* 85 (2016) 1735-1743, 2016年07月.
- Tsukasa Kojima, Hidetake Yabuuchi, Hiroshi Narita, Seiji Kumazawa, Yuzo Yamasaki, Yuki Yano, Noriyuki Sakai, Yoichi Kurihara, Kiyoshi Hisada, Masafumi Masaki, Hiroshi Kimura: Efficacy of the radial acquisition regime (RADAR) for acquiring head and neck MR images. *British Journal of Radiology*, 2016; 89: 20160007, 2016年09月.
- Shuji Nagamine, Fujibuchi Toshioh, Yoshiyuki Umezu, Kazuhiko Himuro, Shinichi Awamoto, Yuji Tsutsui, Yasuhiko Nakamura: Estimation of ambient dose equivalent distribution in the 18F-FDG administration room using Monte Carlo simulation, *Radiological Physics and Technology*, 2016年08月.
- Kento Terasaki, Fujibuchi Toshioh, Hiroo Murazaki, Taku Kuramoto, Yoshiyuki Umezu, Yang Ishigaki, Yoshinori Matsumoto: Evaluation of basic characteristics of a semiconductor detector for personal radiation dose monitoring, *Radiological Physics and Technology*, 2016年10月.
- Naoki Sato, Fujibuchi Toshioh, Takatoshi Toyoda, Takato Ishida, Hiroki Ohura, Ryuichi Miyajima, Shinichi Orita, Tomonari Sueyoshi: Consideration of the Protection Curtain Shielding Ability after Identifying the Source of Scattered Radiation in the Angiography, *Radiation Protection Dosimetry*, 2016年10月.

- Hiroshi Watanabe, Kimiya Noto, Tomokazu Shohji, Yasuyoshi Ogawa, Fujibuchi Toshioh, Ichiro Yamaguchi, Hitoshi Hiraki, Tetsuo Kida, Kazutoshi Sasanuma, Yasushi Katsunuma, Takuro Nakano, Genki Horitsugi, Makoto Hosono : A new shielding calculation method for X-ray computed tomography regarding scattered radiation, *Radiological Physics and Technology*, 2016年12月.

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Kitamura Yoshiyuki, 佐々木 雅之 : Usefulness of Semi-quantitative Analysis in I-123 Metaiodobenzylguanidine Scintigraphy for Differentiation of Pheochromocytoma and Cortical Adenoma., 第75回 日本医学放射線学会総会, 2016年04月17日, Japan.
- 佐々木 雅之 : 核医学専門医教育セミナー・核医学指導者コース「PET/CT」, 第16回 日本核医学会春季大会, 2016年04月23日, Japan.
- 守田 圭伸, 佐々木 雅之 : Different image reconstruction methods resulted in different level of heterogeneity in texture analysis of PET images. , 63rd Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, 2016年06月13日, United States of America.
- 守田 圭伸, 佐々木 雅之 : Standardization of brain dopamine transporter SPECT with a fan-beam collimator., 63rd Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, 2016年06月13日, United States of America.
- Hiroki Tsuru, 佐々木 雅之 : Time-of-flight information improves the detectability of sub-centimeter lesions using clinical PET/CT system., 63rd Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, 2016年06月13日, United States of America.
- Kei Wagatsuma, Masayuki Sasaki : Scatter limitation correction can avoid scatter correction error caused by a high radioactivity in the facemask in an oxygen-15 labeled gas-inhalation PET study, 63rd Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, 2016年06月13日, United States of America.
- Go Akamatsu, Masayuki Sasaki : Automated PET-only quantification of amyloid deposition with adaptive atlas and empirically pre-defined ROI template., 63rd Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, 2016年06月13日, United States of America.
- Kitamura Yoshiyuki, Masayuki Sasaki : Relationship of the I-123 Metaiodobenzylguanidine (MIBG) uptake and early relapse of neuroblastoma using semi-quantitative analysis of SPECT/CT., 63rd Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, 2016年06月13日, United States of America.

- Yasuhiro Maruoka, Masayuki Sasaki : Prediction of balloon pulmonary angioplasty response for chronic thromboembolic pulmonary hypertension using fractal analysis of ^{99m}Tc -MAA SPECT., 63rd Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, 2016年06月13日, United States of America.
- Keishin Morita, Masayuki Sasaki : The impact of reconstruction algorithms on the evaluation of the heterogeneity in ^{18}F -FDG PET., International Conference on Medical Physics 2016, 2016年12月12日, Thailand.
- Naoki Hashimoto, Masayuki Sasaki : Point-spread-function model improved detectability of sub-centimeter hot lesions using clinical PET/CT device., International Conference on Medical Physics 2016, 2016年12月12日, Thailand.
- 川本 圭晋, 徳禮 将吾, 寶部 真也, 椿 峻, 岩瀬 賢祐, 杜下 淳次 : Objective evaluation method of luminance uniformity for determining deterioration of liquid-crystal displays, 日本放射線技術学会第72回総会学術大会, 2016年04月01日, Japan.
- 椿 峻, 松延 佑将, 川本 圭晋, 杜下 淳次 : Patient classification based on information obtained from vertebral body, 日本放射線技術学会第72回総会学術大会, 2016年04月01日, Japan.
- Shun Tsubaki, Kyoko Sakaguchi, Keishin Kawamoto, Yosuke Usumoto, Miki Okumura, NORIAKI IKEDA, Junji Morishita : Sex determination based on measurements obtained from a thoracic vertebra and ribs, 2016 Intersocietal Symposium of the International Academy of Legal Medicine P5 Medicine & Justice (IALM 2016), 2016年06月01日, Italy.
- Yusuke Matsunobu, Junji Morishita, Yosuke Usumoto, Miki Okumura, Masayuki Sasaki, NORIAKI IKEDA : Feasibility study of the effective utilization of image features from X-ray computed tomography imaging for personal identification in forensic cases, 2016 Intersocietal Symposium of the International Academy of Legal Medicine P5 Medicine & Justice (IALM 2016), 2016年06月01日, Italy.
- Taku Kuramoto, Junji Morishita, Yutaka Yoshida, Takeshi Shiomi, Toyoyuki Kato, Yasuhiko Nakamura : Experimental studies for measuring slice thickness in a tomosynthesis, International Conference on Medical Physics 2016, 2016年12月01日, Thailand.
- Mitsuhiro Kimura, Hidetake Yabuuchi, Hiroshi Narita, Yoichi Kurihara, Seiichi Hisada, Kazuya Nagatomo, Ryoji Mikayama, Masafumi Masaki, Hiroshi Kimura: Intravoxel incoherent motion (IVIM) imaging of the head and neck: optimization of the number and combination of b-values. 2017 European Congress of Radiology, 2017年3月3日 Austria.

- Ryoji Mikayama, Hidetake Yabuuchi, Koji Kobayashi, Sinjiro Sonoda, Kazuya Nagatomo, Mitsuhiro Kimura, Hiroshi Honda: Comparison of the parameters of intravoxel incoherent motion imaging in the head and neck between turbo spin echo and echo planar imaging. 2017 European Congress of Radiology, 2017年3月3日 Austria.
- Hidetake Yabuuchi, Satoshi Kawanami, Takeshi Kamitani, Koji Sagiya, Yuzo Yamasaki, Hiroshi Honda: MR imaging of parotid gland tumors: added value of permeability MR imaging. The 102th Scientific Assembly and Annual Meeting of Radiological Society of North America. 2016年11月30日, USA

c. 大学・研究機関などの刊行誌 なし

d. 調査研究報告 なし

e. 国内学会での講演, 発表

- Keishin Morita, 佐々木 雅之: The evaluation of the reconstruction parameters of brain dopamine transporter SPECT images with a fan-beam collimator and a comparison with parallel collimators., 第72回 日本放射線技術学会総会学術大会, 2016年04月14日, 横浜市.
- Keishin Morita, 佐々木 雅之: Evaluation of texture analysis for the heterogeneous uptake on PET images., 第72回 日本放射線技術学会総会学術大会, 2016年04月17日, 横浜市.
- Hiroki Tsuru, 佐々木 雅之: Factors that affect the liver standardized uptake value in baseline 18F-FDG PET/CT., 第72回 日本放射線技術学会総会学術大会, 2016年04月17日, 横浜市.
- 佐々木 雅之: PET 研修セミナー・医師歯科医師コース 臨床編③ 「悪性リンパ腫・原発不明癌・炎症その他」, 第16回 日本核医学会春季大会, 2016年04月24日, 大阪市.
- 丸岡 保博, 佐々木 雅之: 分化型甲状腺癌肺転移症例における放射性ヨウ素治療後の反応性と18FDG-PETにおけるmetabolic tumor volumeとの関連, 第183回 日本医学放射線学会九州地方会, 2016年06月18日, 宮崎市.
- 橋本 直樹, 佐々木 雅之: PET/CT 検査の微小集積におけるボクセルサイズの影響, 第36回 日本核医学技術学会総会学術大会, 2016年11月04日, 名古屋市.
- 守田 圭伸, 佐々木 雅之: PET 画像における不均一性評価にmatrix sizeが及ぼす影響, 第36回 日本核医学技術学会総会学術大会, 2016年11月04日, 名古屋市.

- 中市 徹, 佐々木 雅之: PET 収集時間によるバックグラウンド変動が及ぼす SUV_{max} への影響, 第 36 回 日本核医学技術学会総会学術大会, 2016 年 11 月 04 日, 名古屋市.
- 馬場 眞吾, 佐々木 雅之: 悪性リンパ腫の造血幹細胞移植の予後予測における FDG PET/CT の各種指標の検討, 第 56 回 日本核医学学会学術総会, 2016 年 11 月 04 日, 名古屋市.
- 田原 圭一郎, 佐々木 雅之: 骨軟部悪性腫瘍の予後予測における FDG-PET volume-based analysis の有用性の検討, 第 56 回 日本核医学学会学術総会, 2016 年 11 月 04 日, 名古屋市.
- 丸岡 保博, 佐々木 雅之: 慢性血栓性肺高血圧症におけるバルーン肺動脈形成術後の治療効果と肺血流 SPECT の不均一性との関連, 第 56 回 日本核医学学会学術総会, 2016 年 11 月 04 日, 名古屋市.
- 庄司 彩乃, 佐々木 雅之: PET 画像再構成における subset 数が画質に及ぼす影響, 第 11 回 九州放射線医療技術学術大会、第 65 回 日本放射線技術学会九州部会学術大会、第 62 回 九州放射線技師学術大会, 2016 年 11 月 06 日, 別府市.
- 木本 沙希, 佐々木 雅之: 核種と再構成法の違いが PET 画像の空間分解能に及ぼす影響, 第 11 回 九州放射線医療技術学術大会、第 65 回 日本放射線技術学会九州部会学術大会、第 62 回 九州放射線技師学術大会, 2016 年 11 月 06 日, 別府市.
- 杠 友希, 佐々木 雅之: 脳ドパミントランスポータ SPECT における集積不均一性評価, 第 11 回 九州放射線医療技術学術大会、第 65 回 日本放射線技術学会九州部会学術大会、第 62 回 九州放射線技師学術大会, 2016 年 11 月 06 日, 別府市.
- 舟田 圭汰, 高橋 昭彦, 佐々木 雅之: ドパミントランスポータ SPECT 画像へのコリメータの影響に関するモンテカルロシミュレーション, 第 11 回 九州放射線医療技術学術大会、第 65 回 日本放射線技術学会九州部会学術大会、第 62 回 九州放射線技師学術大会, 2016 年 11 月 06 日, 別府市.
- 大島 良太, 高橋 昭彦, 佐々木 雅之: モンテカルロシミュレーションを用いたアイソトープ内用療法における Ra-223 の画像化の検討, 第 11 回 九州放射線医療技術学術大会、第 65 回 日本放射線技術学会九州部会学術大会、第 62 回 九州放射線技師学術大会, 2016 年 11 月 06 日, 別府市.
- 大島 良太, 高橋 昭彦, 佐々木 雅之: アイソトープ内用療法 Ra-223 の γ 線画像における線広がり関数のコリメータ依存性, 第 11 回 九州放射線医療技術学術大会、第 65 回 日本放射線技術学会九州部会学術大会、第 62 回 九州放射線技師学術大会, 2016 年 11 月 06 日, 別府市.
- 前田 裕幸, 藤淵 俊王, 佐々木 雅之: 核医学施設の管理区域内での汚染状況と対策効果について-ハンドフットクロスモニタでのスリッパ汚染測定の検討-, 第 11 回 九州放射線医療技術学術大会、第 65 回 日本放射線技術学会九州部会学術大会、第 62 回 九州放射線技師学術大会, 2016 年 11 月 06 日, 別府市.
- 甘舛 慎史, 佐々木 雅之: 68Ga-PET 画像と 18F-PET 画像の比較, 第 11 回 九州放射線医療技術学術大会、第 65 回 日本放射線技術学会九州部会学術大会、第 62 回 九州放射線技師学術大会, 2016 年 11 月 06 日, 別府市.

- Ryoji Mikayama, Hidetake Yabuuchi. Comparison of the parameters of intravoxel incoherent motion imaging in the head and neck between turbo spin echo and echo planar imaging. 第75回 日本医学放射線学会総会, 2016年04月17日, Japan.
- 原田伸明、藪内英剛、松本亮二、三賀山諒司、木村光宏、山下泰生、小林幸次、本田浩： 拡散強調画像における線維化病変模擬ファントムの作成. 第11回九州放射線医療技術学術大会, 2016年11月05日, 別府国際コンベンションセンター/ビーコンプラザ
- 原薫、藪内英剛、船津亮平、山下泰生、小林幸次、木村光宏、三賀山諒司、本田浩： 頭頸部模擬ファントムにおける脂肪含有率の測定精度: mDIXON TSE と mDIXON Quant の比較. 第11回九州放射線医療技術学術大会, 2016年11月05日, 別府国際コンベンションセンター/ビーコンプラザ.
- 山根志穂、藪内英剛、山下泰生、船津亮平、小林幸次、木村光宏、三賀山諒司、本田浩： mDIXON Quant と MR Spectroscopy の乳房脂肪含有率測定精度の比較. 2016年11月05日, 別府国際コンベンションセンター/ビーコンプラザ.
- 豊福千紘, 吉田 豊, 倉本卓, 齋藤高志： アクリル球を用いたトモシンセシスの断層厚測定, 第11回九州放射線医療技術学術大会, 2016年11月05日, 別府国際コンベンションセンター/ビーコンプラザ.
- 井上晃太, 吉田 豊, 倉本卓, 齋藤高志： グリッドレス胸部トモシンセシスによる被ばく線量低減の検討, 第11回九州放射線医療技術学術大会, 2016年11月05日, 別府国際コンベンションセンター/ビーコンプラザ.
- 吉田 豊, 藤淵 俊王, 赤坂 勉, 杜下 淳次： 九州大学における実践能力強化型チーム医療加速プログラムの成果と展望, 第32回日本診療放射線技師学術大会, 2016年09月17日, 長良川国際会議場・岐阜都ホテル.
- 笠井裕貴、佐々木智成： TomoDirect を用いた全身照射における門数と各種パラメータの検討, 第11回 九州放射線医療技術学術大会、第65回 日本放射線技術学会九州部会学術大会、第62回 九州放射線技師学術大会, 2016年11月05日, 別府市. (公開)
- 松川英明、佐々木智成： 子宮頸癌小線源治療における線量評価点 (B点) の解剖学的位置に関する研究, 第11回 九州放射線医療技術学術大会、第65回 日本放射線技術学会九州部会学術大会、第62回 九州放射線技師学術大会, 2016年11月05日, 別府市. (公開)

f. 学会以外での講演, 発表 なし

8. 著作

- a. 単行本 なし
- b. 総説 なし
- c. 解説, 書評など なし

9. 受賞

- 杜下, 「Feasibility study of the effective utilization of image features extracted from X-ray CT imaging for personal identification in forensic cases」, Best Oral Presentation, IALM Scientific Committee, 2016年06月.

10. 報道 なし

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 杜下, 医療用液晶モニタの画像特性に関する研究ほか2社.
- 藤淵, 医療用X線ワイヤレス被ばく管理システムの開発, ヤグチ電子工業, 2015年08月~2016年07月.
- 藤淵, 医療用リニアックからの光子線照射に伴う二次中性子線量計測, 放射線医学総合研究所, 2016年04月~2020年03月公開.

2. 受託研究 なし

3. 取得特許 なし

4. 兼業

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 佐々木雅之, Society of Nuclear Medicine (United States of America), 国際会議, 2016年06月~2016年06月 (2週間未満).
- 佐々木雅之, European Association of Nuclear Medicine (Spain), 国際会議, 2016年10月~2016年10月 (2週間未満)
- 杜下, IALM2016(Italy), 国際会議、2016年6月
- 杜下, RSNA2016(USA)、国際会議、2016年12月

2. 外国人研究者の受入れ

- a. 訪問教授・研究員 なし
- b. 訪問研究者 なし

3. 留学生の受入れ なし

4. 学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 杜下, 21世紀プログラム専門委員会委員.

2. 部局委員 なし

3. 部門・コース内委員

- 佐々木雅之， 医学研究院保健学部門 教務委員会 委員長.
- 杜下， 総務委員会委員 将来計画、点検・評価委員会副委員長 研究推進委員会副委員長 年報委員会委員 F D実行委員会委員 人事委員会委員 教員業績委員会委員 再任審査委員会委員 財務委員会委員 入試試験実施委員会委員.
- 佐々木智成， 学生委員.
- 吉田， 百人部会委員.

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 佐々木雅之， 熊本大学医学部保健学科， 非常勤講師.

2. 学協会

- 佐々木雅之， 日本医学放射線学会， 評議員， 国内.
- 佐々木雅之， 日本核医学会， 評議員， 国内.
- 佐々木雅之， 日本核医学会， 理事， 国内.
- 佐々木， 日本医学放射線学会， 評議員， 国際.
- 杜下、医用画像情報学会、理事、国内
- 杜下、医用画像認知研究会、世話人、国内
- 杜下、国立大学診療放射線技師施設協議会、会長、国内
- 佐々木智成， 日本医学放射線学会， 評議員， 国際
- 佐々木智成， 日本放射線腫瘍学研究機構， その他（プロトコール審査委員）， 国内.
- 佐々木智成， 日本放射線腫瘍学会， 評議員， 国内
- 藤淵， 日本放射線技術学会， その他（放射線防護部会）， 国内.
- 藤淵， 日本放射線技術学会， その他（関係法令等委員会）， 国内.
- 藤淵， 日本放射線技術学会九州支部， 理事（九州支部理事）， 国内.
- 吉田， 公益社団法人福岡県診療放射線技師会， その他（代議員）， 国内.
- 吉田， 公益社団法人日本放射線技術学会， その他（診断領域線量標準センター九州地区担当者）， 国内.
- 吉田， 全国歯科大学・歯学部附属病院診療放射線技師連絡協議会， その他（幹事， 学術委員長）， 国内.
- 吉田， 公益社団法人日本放射線技術学会， その他（代議員）， 国内.

3. 官界

- 吉田， 「X線撮影技術に関する教育講演（散乱線除去グリッドの基礎）」， 福岡県診療放射線技師会福岡地区.
- 吉田， 「診療放射線技師の業務拡大に伴う統一講習会における実習講師」， 公益社団法人日本診療放射線技師会.

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職 なし

5. 公開講座・公開講演会 なし

6. 初等中等教育への貢献 なし

3-3. 教員の活動：検査技術科学分野

検査技術科学分野

生体情報学

教授	藤本 秀士
教授	栢森 裕三
准教授	水上 令子
講師	田代 洋行
講師	小島 夫美子
助教	桑原 真理子
助教	安田 洋子

1. 教育活動

1. 大学院講義

生体情報解析学 I	(分担)	藤本	前期
生体情報解析検査学演習		藤本	前期
生体情報解析検査学		藤本	後期
国際社会とチーム医療		栢森	前期
ヘルスサイエンス論	(分担)	栢森	前期
生体情報機能検査学		栢森	後期
生体情報機能検査学演習		栢森	後期
生体情報解析学 I	(分担)	栢森	前期
分子生物化学検査学論		水上	後期

2. 大学院実験・実習

検査技術科学特別研究	栢森	通年
保健学特別研究	栢森	通年

3. 大学院演習 なし

4. 大学院修士課程修了者

樫木彬仁	酵素サイクリング反応を用いたクレアチニンの高感度測定法 (A high-sensitivity double-kinetic assay for creatinine in serum by the enzyme-cycling method) (指導教員: 栢森)
川村亮輔	5-Br-PSAA を用いた NADH の高感度可視化に関する基礎的検討 (Preliminary study for the development of high sensitivity and visualization of NADH using 5-Br-PSAA) (指導教員: 栢森)
中野由依	胃粘膜傷害検査法としての Maltose の酵素的測定法と UHPLC 法の開発 (Development of the enzymatic method and UHPLC method for blood maltose - A simple, non-invasive marker of gastric damage: maltose permeability) (指導教員: 栢森)

5. 大学院博士課程修了者

秋本 卓 (指導教員: 栢森)

6. 学部講義

病因・生体防御特論 (分担)	藤本	後期
病原体学 I	藤本	前期
病原体学 II	藤本	前期
臨床微生物学および実習	藤本	前期
生物化学分析検査学特論 (分担)	栢森	後期
検査管理総論	栢森	前期
臨床化学	栢森	通年
先進臨床検査特論	栢森	後期
遺伝子・細胞工学	水上	前期
生物化学分析検査学特論 (分担)	水上	後期
生体情報計測学	田代	前期
医療安全管理学	田代	後期
医用工学・情報概論	田代	前期
一般検査学および実習	小島	前期
国際感染症学および実習	小島	後期
寄生虫学	小島	前期
臨床検査総論	小島	後期
生理機能検査学 III (分担)	桑原	前期
生理機能検査学 I, II, III	安田	前期

7. 学部の実験・実習・演習

病因・生体防御特論 (分担)	藤本	後期
臨床微生物学および実習	藤本	前期
生物化学分析検査学特論 (分担)	栢森	後期
生化学・臨床化学実習	栢森	前期
自然科学総合実験 (分担)	水上	後期
遺伝子検査学実験 (分担)	水上	後期
生物化学分析検査学特論 (分担)	水上	後期
医用工学・情報概論実験 (分担)	田代	前期
生体情報計測学実験 (分担)	田代	後期
一般検査学および実習	小島	前期
国際感染症学および実習	小島	後期
寄生虫学	小島	前期
生化学・臨床化学実習 (分担)	桑原	前期
生理機能検査学実習 (分担)	桑原	後期
医用工学・情報概論実習 (分担)	桑原	前期
検査基礎技術 II (分担)	桑原	前期
生体情報計測学実験 (分担)	桑原	後期
一般検査および実習	安田	前期

8. 卒業論文作成者

伊藤真美	光触媒の細菌芽胞に対する殺菌効果
稲富鉄平	酸化チタン光触媒を用いた黄色ブドウ球菌に対する殺菌効果の検討
市成隼人	<i>Klebsiella pneumoniae</i> に対する光触媒 TiO ₂ の殺菌効果検討
田中美月	緑膿菌のバイオフィルムに対する光触媒の殺菌効果
片桐萌奈	<i>Candida albicans</i> 酵母形および菌糸形の光触媒 TiO ₂ による殺菌効果の検討
吉富史美	ヒト血清アルブミンの酸化還元状態推定試薬の改善
川原真衣子	高速液体クロマトグラフィを用いた尿中サルコシンの高感度測定法に関する研究 第3報
池田龍亮	Nitro-PAPS を用いた NADH の高感度・可視化の開発における基礎的検討 第3報
板敷純弥	尿中サルコシンの酵素的測定法の開発 その4 装置定数設定とサルコシン安定性の検討
鎌田恵輔	5-Br-PAPS を用いた NADH の高感度可視化についての基礎的検討
荒川千夏	食作用時のヒト好中球における p67 ^{phox} の局在と N 末端側の SH3 ドメインの役割
門松美沙	食作用時のヒト好中球における p47 ^{phox} の N 末端側 SH3 ドメインの役割
河津良威	PCR 法によるトリプレットリピート伸長変異導入法の確立と条件検討
定大貴	PCR 法による p40 ^{phox} cDNA の挿入変異体作製法の検討
種子田彩	Direct Neural Interface のためのナノ構造白金電極の安全性評価
柴麻里乃	cox2 遺伝子を標的とした PCR-RFLP 法による <i>Anisakis simplex</i> 同胞種鑑別の特異度
小城勇仁	cox2 遺伝子を標的とした PCR 法における <i>Anisakis simplex</i> 虫種鑑別の特異度
野崎晶太	<i>Anisakis simplex</i> の cox2 遺伝子を用いた同胞種間別法～PCR 最適アニリング温度と検出限界 DNA 濃度の検討～

9. 研究生

福田 博之

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導

栢森	保健学科新入生研修
栢森・田代	4年生クラス担任
藤本・小島	3年生クラス担任
杉島・水上	2年生クラス担任

3. 研究活動

1. 主要研究事項

- | | | |
|----|---|----|
| 1 | 生体試料バイオマーカーの分析法開発・改良と臨床応用・測定法の標準化と検査データの共有化・精度管理 | 栢森 |
| 2 | 感染症の遺伝子診断と分子疫学 | 藤本 |
| 3 | 病原細菌の感染機構の解明 | 藤本 |
| 4 | バイオリスク管理教育の方法および教材の開発 | 藤本 |
| 5 | トロポニン遺伝子の変異と家族性心筋肥大症 | 水上 |
| 6 | 食細胞 NADPH oxidase の食作用にともなう活性化機構 | 水上 |
| 7 | 人工視覚システムの開発 | 田代 |
| 8 | Brain Machine Interface, Brain Computer Interface, Direct Neural Interface を応用した医療機器の開発 | 田代 |
| 9 | 磁気刺激、電気刺激を用いたニューロモジュレーション治療機器の開発 | 田代 |
| 10 | アニサキスに関する研究 | 小島 |
| 11 | 人工視覚システム安全性評価のための長期間視覚誘発電位記録電極の経時的特性変化の解析 | 桑原 |
| 12 | 細胞核形態の定量化とパターン認識プログラムを用いた癌組織の判別 | 安田 |

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

- 「基盤研究(C)」 BMI, BCI 医療機器の安全性評価のための培養細胞による通電毒性評価法の開発, 田代(代表), 1,040 千円.
- 「基盤研究(C)」 BMI, BCI 医療機器の安全性評価のための培養細胞による通電毒性評価法の開発, 桑原(連携研究者), 0 千円.

3. 学内研究経費の受入れ

- 「文部」研究大学強化促進費補助金 人工視覚システムの安全性評価, 桑原(代表), 369 千円.
- 「研究活動基礎支援制度「外国語校閲経費支援」」人工視覚システムの安全性評価のための家兎を用いた長期間視覚誘発電位記録電極の開発, 桑原(代表), 18.6 千円.
- 「研究活動基礎支援制度「外国語校閲経費支援」」電気化学インピーダンス法を用いた in vivo における長期間の記録電極特性解析, 桑原(代表), 41.3 千円.

4. 奨学寄付金の受入れ

- 「研究等に対する助成(田代洋行)」ニプロ(株), 田代, 500 千円.
- 「研究等に関する助成(田代洋行)」日商平野(株), 田代, 300 千円.

5. その他の外部研究資金の受入れ

- 「フューチャークリエイト株式会社 病原微生物に対する光触媒塗布剤の抗菌・殺菌効果の検証」藤本, 990 千円.
- 「(株)ニデック 人工視覚システムの開発」田代, 900 千円.
- 「日商平野(株) 視神経疾患に対するニューロモジュレーションに関する研究」田代, 72 千円.
- 「株式会社ニデック 人工視覚システムの開発: 次世代人工視覚システムの開発を目指し、それに必要な調査および基礎的検討を行う。また STS 人工網膜システムの非規格試験データの分析と文書化を行う。」桑原, 0 千円(分担)。

6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- Masaru Akimoto, Eisaku Hokazono, Eri Ohta, Takiko Tateishi, Yuzo Kayamori : Highly sensitive reversed-phase high-performance liquid chromatography assay for the detection of Tamm-Horsfall protein in human urine., *Annals of Clinical Biochemistry*, 53, 1, 75 - 84, 2016年04月.
- Eri Ohta, Eisaku Hokazono, Takiko Tateishi, Miki Kawano, Yuzo Kayamori : Development of an enzymatic assay for ethanolamine in plasma., *International Journal of Analytical Bio-Science*, 4, 4, 110 - 116, 2016年12月.
- Hiroyuki Tashiro, Yasuo Terasawa, Kazutoshi Haraguchi, Koji Osawa, Toshihiko Noda, Takashi Tokuda, Jun Ohta : Feasibility Study of High-Performance Implantable Stimulation Electrode with Nanocomposite Gel Coating as a Brain-Machine Interface Device, *Sensors and Materials*, 28, 12, 1283 - 1293, 2016年12月.
- Takumi Fujisawa, Toshihiko Noda, Megumi Hayashi, Ryo Kobe, Hiroyuki Tashiro, Hiroaki Takehara, Kiyotaka Sasagawa, Takashi Tokuda, Chung-Yu Wu, Jun Ohta : Performance Improvement of a Micro-stimulus Electrode for Retinal Prosthesis by Introducing a High-Performance Material and a Three-Dimensional Structure, *Sensors and Materials*, 28, 12, 1303 - 1315, 2016年12月.
- 田代 洋行, 寺澤 靖雄, 桑原 真理子, 吉村 優里奈, 中野 由香梨, 大澤 孝治, 野田 俊彦, 徳田 崇, 太田 淳 : 析出反応による埋植用金属電極の性能向上法, *電気学会研究会資料*, 11 - 15, 2016年12月.
- Yasuo Terasawa, Hiroyuki Tashiro, Yukari Nakano, Takashi Tokuda, Jun Ohta : Mechanical Machining-based Three-Dimensional Electrode Array for Chronic Neural Stimulation, *Advanced Biomedical Engineering*, 5, 137 - 141, 2016年12月.
- Hiroyuki Tashiro, Yasuo Terasawa, Kuwabara Mariko, Koji Osawa, Takashi Tokuda, Takashi Fujikado : Initial Evaluation of the Safety and Durability of Retinal Prostheses Based on Suprachoroidal- transretinal Stimulation using Bullet-shaped Platinum Electrodes, *Advanced Biomedical Engineering*, 6, 8 - 14, 2017年02月.
- 桑原 真理子, 田代 洋行, 寺澤 靖雄, 中野 由香梨, 吉村 優里奈, 大澤 孝治, 野田 俊彦, 徳田 崇, 太田 淳 : 人工視覚システム安全性評価のためのEISを用いたin vivoにおける誘発電位記録電極の界面特性解析, *電子情報通信学会技術研究報告*, IEICE-116, 435, 25 - 29, 2017年01月.
- Kuwabara Mariko, Hiroyuki Tashiro, Yasuo Terasawa, Koji Osawa, Takashi Tokuda, Jun Ohta : Development of Chronic Implantable Electrodes for Long-term Visual Evoked Potential Recording in Rabbits, *Advanced Biomedical Engineering*, in press, 2017年03月.

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Akito Mominoki, Eri Ohta, Miki Kawano, Takiko Tateishi, Eisaku Hokazono, Yuzo Kayamori : High sensitivity double-kinetic assay of creatinine in serum with enzyme cycling method -Preliminary study part 1-, International Federation of Biomedical Laboratory Science, 2016年09月02日, Japan.
- Yui Nakano, Eisaku Hokazono, Eri Ohta, Miki Kawano, Takiko Tateishi, Susumu Osawa, Yuzo Kayamori : Examination of the maltose detection method as the examination of gastric mucosa disorder -Development of the enzymatic method and UHPLC method for maltose permeability test of gastric mucosa using oral glucose tolerance samples-, International Federation of Biomedical Laboratory Science, 2016年09月02日, Japan.

- Kouki Hosaka, Miki Kawano, Eri Ohta, Takiko Tateishi, Yuzo Kayamori, Eisaku Hokazono : Examination of purification of Tamm-Horsfall Protein in urine -Improvement of recovered amount and working efficiency in purification of Tamm-Horsfall Protein in urine-, International Federation of Biomedical Laboratory Science, 2016年09月02日, Japan.
- Miki Kawano, Kazuya Yukishita, Susumu Osawa, Masanori Seimiya, Eri Ohta, Takiko Tateishi, Eisaku Hokazono, Yuzo Kayamori : Preliminary Study on a High-Sensitivity NADH Detection Method Using the Metal Chelating Reagent, Nitroso-PSAP, Asia-Pacific Federation for Clinical Biochemistry, 2016年11月27日, Taiwan.
- Hayato Okurano, Mai Sakamoto, Sonoko Yoshihiro, Miki Kawano, Eri Ohta, Takiko Tateishi, Eisaku Hokazono, Yuzo Kayamori : Separation of Nonmercaptalbumin and Mercaptalbumin with High-Performance Liquid Chromatography, Asia-Pacific Federation for Clinical Biochemistry, 2016年11月27日, Taiwan.
- Yoko Hashida, Akari Umemura, Eisaku Hokazono, Eri Ohta, Takiko Tateishi, Miki Kawano, Susumu Osawa, Yuzo Kayamori : Development of an enzymatic method with maltose phosphorylase for maltose permeability test of gastric mucosa using oral glucose tolerance samples , Asia-Pacific Federation for Clinical Biochemistry, 2016年11月27日, Taiwan.
- Eisaku Hokazono, Yuri Fukuya, Eri Ohta, Yukari Kawamoto, Takiko Tateishi, Miki Kawano, Susumu Osawa, Yuzo Kayamori : Development of the high-sensitivity assay of protein by new principle of three-dimensional complex with protein-copper-Chromazurol B, Asia-Pacific Federation for Clinical Biochemistry, 2016年11月27日, Taiwan.
- Eri Ohta, Eisaku Hokazono, Takiko Tateishi, Miki Kawano, Susumu Osawa, Yuzo Kayamori : Development of an enzymatic method for ethanol amine in blood, Asia-Pacific Federation for Clinical Biochemistry, 2016年11月27日, Taiwan.
- Fujimoto Shuji, Kojima Fumiko, Mika Shigematsu : Biorisk management education for undergraduates studying clinical microbiology at university in Japan., 16th Asia Pacific Congress of Clinical Microbiology & Infection, 2016, 2016年12月01日, Australia.
- Kojima Fumiko, Fujimoto Shuji : Genomic identification based on PCR-RAPD in *Anisakis simplex* larvae., 16th Asia Pacific Congress of Clinical Microbiology & Infection, 2016, 2016年12月01日, Australia.
- Yasuo Terasawa, Hiroyuki Tashiro, Yukari Nakano, Koji Osawa, Motoki Ozawa, Toshihiko Noda, Takashi Tokuda, Jun Ohta, Kazutoshi Haraguchi : Fabrication and in-vitro characterization of novel hydrogel-based electrodes for visual prostheses, The Association for Research in Vision and Ophthalmology (ARVO) 2016 Annual Meeting , 2016年05月01日, United States of America.
- Hiroyuki Tashiro, Yasuo Terasawa, Kazutoshi Haraguchi, Koji Osawa, Toshihiko Noda, Takashi Tokuda, Jun Ohta : Possibility and limitation of electrode performance improvement by hydrogel coating for neural stimulation, JST 2016 Taiwan-Japan Joint Symposium, 2016年10月27日, Japan.
- Kuwabara Mariko, Hiroyuki Tashiro, Yasuo Terasawa, Yukari Nakano, Yurina Yoshimura, Koji Osawa, Toshihiko Noda, Takashi Tokuda, Jun Ohta : Long-term Analysis of the In Vivo Characteristics of a Recording Electrode with Electrochemical Impedance Spectroscopy, International Conference on BioSensors, BioElectronics, BioMedical Devices, BioMEMS/NEMS & Applications (Bio4Apps 2016), 2016年12月14日, Australia.

- Yukari Nakano, Yasuo Terasawa, Hiroyuki Kanda, Hiroyuki Tashiro, Koji Osawa, Tomomitsu Miyoshi, Hajime Sawai : A Sinusoidal Electrical Pulse Is More Efficient for Suprachoroidal-Transretinal Stimulation (STS) Retinal Prosthesis than a Rectangular One., International Conference on BioSensors, BioElectronics, BioMedical Devices, BioMEMS/NEMS & Applications (Bio4Apps 2016), 2016年12月15日, Australia.
- c. **大学・研究機関などの刊行誌** なし
- d. **調査研究報告**
- 藤本 秀士, 小島 夫美子, 重松 美加 : 学部実習における病原体暴露・感染のヒヤリハット事例等の発生改善の試みとその効果 (厚生労働科学研究費補助金 (新興・再興感染症研究推進事業) 分担研究報告書), 2017年03月.
- e. **国内学会での講演, 発表**
- 藤本 秀士, 小島 夫美子 : 臨床微生物学実習におけるヒヤリ・ハット事例発生改善の試みと効果, 第28回日本臨床微生物学会総会, 2017年01月20日, 長崎ブリックホール・長崎医師会館ほか.
 - 橋田 葉子, 梅村 明, 太田 英里, 立石 多貴子, 河野 弥季, 大澤 進, 栢森 裕三, 外園 栄作 : Maltose phosphorylaseを用いた血中マルトース測定法の検討, 日本臨床検査自動化学会, 2016年09月23日, パシフィコ横浜.
 - 大倉野 隼士, 坂本 舞, 吉弘 苑子, 吉富 史美, 河野 弥季, 太田 英里, 立石 多貴子, 外園 栄作, 藤崎 毅一郎, 鶴屋 和彦, 栢森 裕三 : 高速液体クロマトグラフィ (HPLC) を用いた酸化型・還元型アルブミンの分別測定第二報~臨床応用について~, 日本臨床化学会, 2016年12月03日, くまもと県民交流館 パレア.
 - 中野 由依, 外園 栄作, 太田 英里, 河野 弥季, 立石 多貴子, 大澤 進, 栢森 裕三 : 糖負荷試験残余検体を用いた胃粘膜傷害試験としての Maltose の酵素的測定法とUHPLC法の開発, 日本臨床化学会, 2016年12月03日, くまもと県民交流館 パレア.
 - 寺田 祥, 太田 英里, 河野 弥季, 立石 多貴子, 栢森 裕三, 外園 栄作 : 迅速・簡便な血清 Trehalase 活性測定法の確立とその臨床的有用性に関する研究, 日本臨床化学会, 2016年12月03日, くまもと県民交流館 パレア.
 - 石垣 卓也, 坂本 舞, 大倉野 隼士, 吉弘 苑子, 河野 弥季, 太田 英里, 立石 多貴子, 堀田 多恵子, 康 東天, 外園 栄作, 栢森 裕三 : BCP法おとびBCP改良法を用いたヒト血清アルブミンの酸化還元状態推定試薬の開発, 日本臨床化学会, 2016年12月03日, くまもと県民交流館 パレア.
 - 縦木 彬仁, 太田 英里, 立石 多貴子, 河野 弥季, 外園 栄作, 栢森 裕三 : 酵素サイクリング法を用いた血清クレアチニンの高感度測定法の開発, 第56回日本臨床化学会年次学術集会, 2016年12月04日, くまもと県民交流館パレア.
 - 寺田 祥, 酒本 美由紀, 川述 由希子, 河野 弥季, 立石 多貴子, 堀田 多恵子, 康 東天, 栢森 裕三, 外園 栄作 : 迅速・簡便な血清 Trehalase 活性測定法の確立とその臨床的有用性に関する研究, 日本臨床検査医学会九州地方会, 2017年03月04日, 久留米大学病院 筑水会館.
 - Yasuo Terasawa, Hiroyuki Tashiro, Yukari Nakano, Takashi Tokuda, Jun Ohta : Mechanical Machining-based Three Dimensional Electrode Array for Chronic Neural Stimulation, 生体医工学シンポジウム2016, 2016年09月17日, 旭川大雪クリスタルホール国際会議場.
 - Hiroyuki Tashiro, Yasuo Terasawa, Mariko Kuwabara, Koji Osawa, Takashi Tokuda, Jun Ohta, Takashi Fujikado : Development of an Evaluation System for Chronic Safety of Retinal Prostheses, 生体医工学シンポジウム2016, 2016年09月17日, 旭川大雪クリスタルホール国際会議場.
 - Mariko Kuwabara, Hiroyuki Tashiro, Yasuo Terasawa, Koji Osawa, Takashi Tokuda, Jun Ohta, Takashi Fujikado : Development of Chronic Implantable Electrodes for Long-term Visual Evoked Potential Recording to Evaluate the Safety of Visual Prostheses in Rabbits, 生体医工学シンポジウム2016, 2016年09月17日, 旭川大雪クリスタルホール国際会議場.

- 吉村 彰人, 野田 俊彦, 寺澤 靖雄, 中野 由香梨, 神田 寛行, 田代 洋行, 竹原 宏明, 笹川 清隆, 徳田 崇, 太田 淳: 人工視覚システム用 CMOS チップ内蔵スマート電極デバイスの動物実験による機能実証, 第 77 回応用物理学会秋季学術講演会, 2016 年 9 月 16 日, 朱鷺メッセ.
- 田代 洋行, 寺澤 靖雄, 桑原 真理子, 吉村 優里奈, 中野 由香梨, 大澤 孝治, 野田 俊彦, 徳田 崇, 太田 淳: 析出反応による埋植用金属電極の性能向上法, 電気学会研究会ケミカルセンサ/バイオ・マイクロシステム合同研究会, 2016 年 12 月 21 日, 東京大学.
- 桑原 真理子, 田代 洋行, 寺澤 靖雄, 中野 由香梨, 吉村 優里奈, 大澤 孝治, 野田 俊彦, 徳田 崇, 太田 淳: 人工視覚システム安全性評価のための EIS を用いた in vivo における誘発電位記録電極の界面特性解析, 電子情報通信学会 ME とバイオサイバネティクス研究会, 2017 年 01 月 28 日, 九州大学.
- 桑原 真理子, 田代 洋行, 寺澤 靖雄, 中野 由香梨, 太田 淳: 家兎におけるセボフルラン吸入麻酔を用いた視覚誘発反応の計測, 2017 年 日本生体医工学会九州支部学術講演会, 2017 年 03 月 04 日, 九州大学 伊都キャンパス.
- 藤本 秀士, 小島 夫美子: 臨床微生物学実習におけるヒヤリ・ハット事例発生改善の試みと効果, 第 28 回日本臨床微生物学会, 2017 年 01 月 21 日, 長崎県医師会館.
- 安田 洋子, 徳永和明, Ilya G Goldberg, 坂本智代美, 斉藤典子, 中尾光善: パターン認識プログラムと細胞核形態に着目した癌組織の定量化, 2016 バイオイメージ・インフォマティクスWS, 2016 年 06 月 22 日, 大阪大学.
- Yoko Yasuda, Kazuaki Tokunaga, Ilya G Goldberg, Noriko Saitoh, Mitsuyoshi Nakao, Discrimination between normal and cancer gastric tissue images using machine learning algorithms, wndchrm, 第 39 回日本分子生物学会年会, 2016 年 11 月 30 日, パシフィコ横浜.

f. 学会以外での講演, 発表 なし

8. 著作

a. 単行本

- 藤本 秀士, 小島 夫美子, 目野 郁子: (編集) 病原体・感染・免疫 改訂 3 版, 2017 年 03 月, 南山堂.
- 藤本 秀士, 目野郁子, 小島 夫美子: (共著) わかる! 身につく! 病原体/感染・免疫 改訂 3 版, 2017 年 03 月, 南山堂.

b. 総説

- 栢森 裕三, 河野弥季: 脂質検査の盲点 「TG 測定法の現状と展望」, 臨床検査 (医学書院), 2016 年 11 月.

c. 解説, 書評など なし

9. 受賞 なし

10. 報道 なし

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 田代, 人工視覚システムの開発, (株) ニデック, 2016 年 07 月~2017 年 03 月, 公開.
- 田代, 視神経疾患に対するニューロモジュレーションに関する研究, 日商平野 (株), 2016 年 11 月~2017 年 09 月.
- 桑原, 人工視覚システムの開発 (分担), (株) ニデック, 2016 年 07 月~2017 年 03 月.

2. 受託研究

- 藤本, 病原微生物に対する光触媒塗布剤の抗菌・殺菌効果の検証, フューチャークリエイト株式会社, 2016 年 08 月~2016 年 11 月.

3. **取得特許** なし
4. **兼業**
5. **特記すべきその他の技術相談**
 - 田代, 医療機器開発に於ける技術コンサルティング, 九州大学学術研究・産学官連携本部.
 - 田代, 視神経疾患に対するニューロモジュレーション治療器開発に関する技術コンサルティング, 日商平野(株)
 - 田代, 磁気刺激を用いたニューロモジュレーション治療器開発に関する技術コンサルティング, ニプロ(株)
 - 田代, miRNA のポータブル検査機器開発に関する技術コンサルティング, 旭化成メディカル(株)

5. 国際交流・協力活動

1. **海外出張・研修出張**
 - 藤本, Invitation to the 16th Asia-Pacific Congress of Clinical Microbiology and Infection (Austria) , 国際会議, 2016年11月~2016年12月 (2週間未満) ,
2. **外国人研究者の受入れ**
 - a. **訪問教授・研究員** なし
 - b. **訪問研究者** なし
3. **留学生の受入れ** なし
4. **学生の海外派遣** なし

6. 学内行政事務などの担当

1. **全学委員**
 - 藤本, 研究用微生物安全管理委員会 委員
2. **部局委員**
 - 栢森, 医療系統合教育研究センター委員会 委員
 - 水上, 馬出地区安全衛生委員会委員
3. **部門・コース内委員**
 - 栢森, 年報委員会 委員長
 - 栢森, 教員活動評価委員会 委員長
 - 栢森, 再任審査委員会 委員長
 - 栢森, 総務委員会 委員
 - 栢森, 大学院委員会 委員
 - 栢森, 入試実施委員会 委員
 - 栢森, 将来計画、点検・評価委員会 委員
 - 水上, 再任審査委員会 委員
 - 藤本, 入試実施委員会 副委員長
 - 藤本, 地域国際連携推進委員会・FD実行委員会 委員
 - 藤本, 広報委員会 委員長
 - 藤本, 教務委員会 委員
 - 小島, 広報委員会 委員
 - 桑原, 地域・国際連携推進委員会・FD実行委員会 委員
 - 田代, 卒業研究実施委員
 - 安田, 地域・国際連携推進委員会・FD実行委員会 委員

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 栢森, 純真学園大学, 非常勤講師.
- 田代, 帝京大学福岡医療技術学部医療技術科臨床工学コース, 非常勤講師.
- 小島, 博多メディカル専門学校・臨床工学士科, 非常勤講師.

2. 学協会

- 栢森, 生物試料分析科学会の編集委員長として、学会誌「生物試料分析」の編集に携わっている。生物試料分析科学会, 学術団体.
- 栢森, 日本臨床検査医学会, 評議員, 国内.
- 栢森, 日本臨床化学会, 評議員, 国内.
- 栢森, 生物試料分析科学会, その他 (九州支部長), 国内.
- 栢森, 日本臨床化学会, 理事 (常務理事), 国内.
- 栢森, 日本臨床検査自動化学会, その他 (監事), 国内.
- 栢森, 医学検査, 査読委員, 国内.
- 田代, 日本生体医工学会九州支部, 評議員, 国内.
- 田代, The Association for Research in Vision and Ophthalmology (ARVO), その他 (Mentor for the 2016 Global Mentorship Pilot Program), 国際.
- 田代, The Association for Research in Vision and Ophthalmology (ARVO), その他 (Mentor for the 2017 Global Mentorship Pilot Program), 国際.
- 田代, IEEE Engineering in Medicine and Biology Society Conference on Neural Engineering, 査読委員, 国際.
- 田代, Sensors and Materials, 編集委員, 国際.
- 小島, 日本臨床寄生虫学会, 評議員, 国内.
- 小島, 日本臨床寄生虫学会南日本支部, 評議員, 国内.
- 小島, 日本寄生虫学会, 評議員, 国内.

3. 官界 なし

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 田代, 「医療機器開発に於ける技術コンサルティング」, 九州大学 学術研究・産学官連携本部, (技術相談).
- 小島, 「大学内保育園における評議委員」, 2016-01-01.
- 小島, 「福岡県臨床検査技師会福岡市支部主催一般検査・細菌検査勉強会の講師として講演 テーマ: 形態観察による虫種鑑別」, 2016-01-01.

5. 公開講座・公開講演会

- 小島, 「平成 28 年度第 3 回栄養学術研修会・第 15 回長崎栄養改善学会および長崎県民公開講座における講演 ” 知っておきたい食べ物に潜む寄生虫”」, 長崎県栄養士会. 長崎県大村市 プラザおおむら, 公開講座.

6. 初等中等教育への貢献 なし

検査技術科学分野

病態情報学

教授	杉島 節夫
教授	勝田 仁
講師	外園 栄作
講師	藤原 美奈子 (旧姓：平橋)
講師	栗崎 宏憲
助教	渡邊 壽美子
助教	兵田 朋子

1. 教育活動

1. 大学院講義

病態情報解析学	(分担)	杉島	前期
国際社会とチーム医療	(分担)	杉島	前期
病態情報解析学	(博士課程)	杉島	前期
ヘルスサイエンス論	(分担)	勝田	前期
病態情報解析学 I	(分担)	勝田	前期
病態情報解析学 II		勝田	後期
病態情報機能検査学		勝田	後期

2. 大学院実験・実習

検査技術科学特別研究 (修士課程)	杉島	通年
保健学特別研究 (博士課程)	杉島	通年

3. 大学院演習

病態情報機能検査学演習	杉島	通年
病態情報解析学 II (博士課程)	杉島	通年
病態情報機能検査学演習	勝田	前期
検査技術科学特別研究	勝田	通年

4. 大学院修士課程修了者

河津大雅	唾液腺細胞診における細胞像類似疾患の鑑別 (A study of the cytological findings to differentiate the diagnosis of the salivary gland) (指導教員：杉島)
藤井直人	p27 の抑制が BCG 暴露による p21 の発現増加および細胞形態変化に与える影響 (The influence of p27 related to the expression of p21 and nuclear morphology with BCG exposure) (指導教員：杉島)

- ヒトコクサッキー・アデノウイルスレセプター (CAR) のヒト樹立細胞における発現 -MIP-CAR トランスジェニックマウスの作製を目指して-
- 徳澄 奏 Expression of Human Coxsackie and Adenovirus Receptor (CAR) in Human Established Cells : Aiming to Generate MIP-CAR Transgenic Mouse (指導教員：勝田、(藤本))
- AIRE 遺伝子の新たなスプライシングバリエーションの同定と解析
- 田代 勇輝 Identification and Analysis of Unreported AIRE Splicing Variant (指導教員：勝田、(藤本))

5. 大学院博士課程修了者 なし

6. 学部講義

組織病理検査学及び実習Ⅲ	杉島	後期
細胞生物学	杉島	前期
形態検査学特論	杉島	後期
臨床検査学概論Ⅰ (分担)	勝田	前期
臨床検査学概論Ⅱ (分担)	勝田	後期
病因・生体防御検査学特論 (分担)	勝田	後期
免疫細胞解析学	勝田	後期
生理機能検査学Ⅰ	勝田	前期
生理機能検査学Ⅱ	勝田	前期
生理機能検査学Ⅲ	勝田	前期
臨床検査医学総論	勝田	前期
生物化学分析学特論 (分担)	外園	後期
公衆衛生学	外園	前期
臨床検査統計学および演習	外園	前期
検査基礎技術Ⅱ	外園	前期
病理学総論 (分担)	藤原	前期
血液検査学Ⅱ (分担)	藤原	前期
医学総論Ⅰ (分担)	藤原	前期
臨床免疫学Ⅱ	栗崎	前期
臨床免疫学Ⅰ	栗崎	後期
輸血検査学	栗崎	後期
血液検査学	渡邊	後期
血液検査学実習	渡邊	後期
科学の進歩と女性科学者	渡邊	前期
組織・病理検査学および実習Ⅱ	渡邊	前期
臨床微生物学および実習	兵田	前期
血液検査学Ⅰ	兵田	後期
国際感染症学および実習	兵田	後期

7. 学部の実験・実習・演習

組織病理検査学及び実習Ⅲ	杉島	後期
生理機能検査学実習	勝田	後期
生物化学分析学特論 (分担)	外園	後期
検査基礎技術Ⅱ	外園	前期
臨床検査統計学および演習	外園	前期
組織・病理検査学および実習Ⅱ (分担)	藤原	前期
臨床免疫学実習	栗崎	後期
組織・病理検査学および実習Ⅲ	渡邊	後期
組織・病理検査学および実習Ⅰ	渡邊	後期
血液検査学実習	渡邊	後期
組織・病理検査学および実習Ⅱ	渡邊	前期
臨床微生物学および実習	兵田	前期
血液検査学実習	兵田	後期
遺伝子検査学実験	兵田	後期
臨床免疫学実習	兵田	後期
国際感染症学および実習	兵田	後期

8. 卒業論文作成者

臼井美奈	乳腺細胞診におけるセンチネルリンパ節転移の有無と細胞像との比較検討
今福加奈子	細胞診におけるユーイング肉腫と悪性リンパ腫の鑑別
前田祐亮	子宮頸部細胞診における微小浸潤癌の形態学的特徴の検討 -上皮内癌および浸潤癌との比較-
森山拓人	初回細胞診で出現した子宮頸部軽度異形成の細胞像と予後の関連性
田中日香里	乳腺の穿刺吸引細胞診における ABCD スコアリングシステムの検討
橋田葉子	糖負荷試験後の残余検体を利用した胃粘膜検査法の開発
相原健吾	マウス胎児臍を用いた膵β前駆細胞の探索条件の検討
十島崇嘉	マウス新生児臍を用いた膵β細胞前駆細胞の探索機構の検討
永田光明	PDCA 方式自己健康管理システムの開発 ～健康寿命延伸のための食事療法～
中岡裕輔	健康寿命延伸のための運動療法の確立
中野琴美	超音波診断装置を用いた内臓脂肪評価法の確立
石川征憲	過酸化水素の高感度検出技術の開発
近藤守	スキルス様浸潤胃癌の組織分化度と p53 蛋白発現、E-cadherin 蛋白発現についての検討
山形真祐美	スキルス様浸潤胃癌の腸型形質発現と組織分化度についての検討
山口奈々	スキルス様浸潤胃癌の胃型形質発現と組織分化度についての検討
黒田みずき	DBA/2 マウスにおける Aire 遺伝子のプロモーター解析
野口桃子	Lgp2 遺伝子のプロモーター領域の解析
横枕早紀	pRB-Thr821 のリン酸化の有無における核形態学的差異について

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導

杉島・水上	2年生クラス担任
勝田・藤原	1年生クラス担任

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1	肺腺癌の EGFR 遺伝子変異の有無による細胞学的検討について	杉島
2	膝島再生機構の解明と糖尿病再生医療の確立	勝田
3	胃癌発癌とピロリ菌感染、細胞内酸化ストレス、形質発現に関する研究	藤原
4	生体試料，特に非侵襲的に採取可能な尿を用いた新しい検査・診断法の開発	外園
5	生体試料中の酸化・還元成分が生体に及ぼす影響についての研究	外園
6	自己免疫調節遺伝子の機能解析	栗崎
7	癌細胞における細胞形態学	渡邊
8	細胞形態の客観的評価のためのソフト開発	渡邊
9	概日リズム制御分子を標的とした新規白血病治療薬の開発	兵田

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

- 「基盤研究(C)」 膝ベータ細胞における発生および成熟過程のエピジェネティック制御機構の解明，勝田（代表），900 千円.
- 「若手研究(B)」 生体試料中の酸化・還元物質の影響を受けない超高感度検出法の開発とその発展性の検証，外園（代表），910 千円.
- 「基盤研究(C)」 子宮内膜癌、内膜増殖症および類縁疾患の核形状および核クロマチン分布の定量的解析，渡邊（分担），500 千円.

3. 学内研究経費の受け入れ なし

4. 奨学寄附金の受入れ なし

5. その他の外部研究資金の受入れ

- 「関東化学株式会社 ビューレット反応と金属錯体法を組み合わせた新規高感度タンパク質測定試薬に関する共同研究」 外園，1800 千円.
- 「財団法人福岡県すこやか健康事業団，平成28年度がん研究助成金，骨髓異形成症候群における新規薬剤ポマリドミドの薬効プロファイル評価因子の探索」 兵田，100 千円.

6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- 埜田 直美, 外園 栄作, 篠原 克幸, 大澤 進: 過ヨウ素酸ナトリウムを用いた血中 ICG 検査法の自動分析への試み, *日本臨床自動化学会誌*, 41, 3, 270 - 277, 2016年06月.
- Eri Ohta, Eisaku Hokazono, Takiko Tateishi, Miki Kawano, Yuzo Kayamori: Development of an enzymatic assay for ethanolamine in plasma, *Int J Anal Bio-Sci*, 4, 4, 110 - 116, 2016年12月.
- Yukie Toomine, Sumiko Watanabe, Setsuo Sugishima, Sadafumi Tamiya, Yoshihiro Ohishi, Yoshinao Oda, Kiyoko Kato, Tsunehisa Kaku: Diagnostic value of squamous cell change associated with endometrial carcinoma: a cytopathologic approach, *Diagnostic Cytopathology*. 2016; 44 (3): 187-194, 2016年4月.

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Kouki Hosaka, Miki Kawano, Eri Ohta, Takiko Tateishi, Yuzo Kayamori, Eisaku Hokazono: Examination of purification of Tamm-Horsfall Protein in urine - Improvement of recovered amount and working efficiency in purification of Tamm-Horsfall Protein in urine -, International Federation of Biomedical Laboratory Science, 2016年09月02日, Japan.
- Akito Mominoki, Eri Ohta, Miki Kawano, Takiko Tateishi, Eisaku Hokazono, Yuzo Kayamori: High sensitivity double-kinetic assay of creatinine in serum with enzyme cycling method - Preliminary study part 1 -, International Federation of Biomedical Laboratory Science, 2016年09月02日, Japan.)
- Yui Nakano, Eisaku Hokazono, Eri Ohta, Miki Kawano, Takiko Tateishi, Susumu Osawa, Yuzo Kayamori: Examination of the maltose detection method as the examination of gastric mucosa disorder -Development of the enzymatic method and UHPLC method for maltose permeability test of gastric mucosa using oral glucose tolerance samples-, International Federation of Biomedical Laboratory Science, 2016年09月02日, Japan.
- Yoko Hashida, Akari Umemura, Eisaku Hokazono, Eri Ohta, Takiko Tateishi, Miki Kawano, Susumu Osawa, Yuzo Kayamori: Development of an enzymatic method with maltose phosphorylase for maltose permeability test of gastric mucosa using oral glucose tolerance samples, Asia-Pacific Federation for Clinical Biochemistry, 2016年11月27日, Taiwan.
- Eisaku Hokazono, Yuri Fukuya, Eri Ohta, Yukari Kawamoto, Takiko Tateishi, Miki Kawano, Susumu Osawa, Yuzo Kayamori: Development of the high-sensitivity assay of protein by new principle of three-dimensional complex with protein-copper-Chromazurol B, Asia-Pacific Federation for Clinical Biochemistry, 2016年11月27日, Taiwan.
- Eri Ohta, Eisaku Hokazono, Takiko Tateishi, Miki Kawano, Susumu Osawa, Yuzo Kayamori: Development of an enzymatic method for ethanol amine in blood, Asia-Pacific Federation for Clinical Biochemistry, 2016年11月27日, Taiwan.
- Miki Kawano, Kazuya Yukishita, Susumu Osawa, Masanori Seimiya, Eri Ohta, Takiko Tateishi, Eisaku Hokazono, Yuzo Kayamori: Preliminary Study on a High-Sensitivity NADH Detection Method Using the Metal Chelating Reagent, Nitroso-PSAP, Asia-Pacific Federation for Clinical Biochemistry, 2016年11月27日, Taiwan.
- Hayato Okurano, Mai Sakamoto, Sonoko Yoshihiro, Miki Kawano, Eri Ohta, Takiko Tateishi, Eisaku Hokazono, Yuzo Kayamori: Separation of Nonmercaptalbumin and Mercaptalbumin with High-Performance Liquid Chromatography, Asia-Pacific Federation for Clinical Biochemistry, 2016年11月27日, Taiwan.

- c. 大学・研究機関などの刊行誌 なし
- d. 調査研究報告 なし
- e. 国内学会での講演，発表
 - 藤井直人，渡邊 壽美子，鷺山和幸，加来 恒壽，杉島 節夫： BCG 曝露による p21 の発現増加と p27 の関係， 第 57 回日本臨床細胞学会総会 平成 28 年 5 月 28 日， 2016 年 05 月 28 日， 横浜市.
 - 平井絵梨花，渡邊 壽美子，大久保文彦，加来 恒壽，杉島 節夫： 原発性肺腺癌と転移性肺腺癌の形態学的鑑別， 第 55 回日本臨床細胞学会秋期大会， 2016 年 11 月 19 日， 別府市.
 - 鶴留えりか，渡邊 壽美子，大久保文彦，加来 恒壽，加藤 聖子，杉島 節夫： 子宮頸部擦過細胞診における頸部粘液性腺癌と類内膜腺癌の比較検討， 第 55 回日本臨床細胞学会秋期大会， 2016 年 11 月 19 日， 別府市.
 - 寺戸芳信，平橋美奈子，杉島節夫，仲正喜，中附加奈子，野上美和子，大久保文彦，山元英崇，小田義直：乳管上皮増殖性病変の細胞集塊における抗 CK14 抗体と抗 p16 抗体の有有用性， 第 55 回日本臨床細胞学会秋期大会， 2016 年 11 月 19 日， 別府市.
 - 大久保文彦，仲正喜，杉島節夫，寺戸信芳，野上美和子，古賀裕，大石善丈，山元英崇，麻生暁，伊藤鉄英，大塚隆生，中村雅史，小田義直：膵管内乳頭粘液性腫瘍の鑑別と類縁疾患
 - 橋田 葉子，梅村 明，太田 英里，立石 多貴子，河野 弥季，大澤 進，栢森 裕三，外園 栄作： Maltose phosphorylase を用いた血中マルトース測定法の検討， 日本臨床検査自動化学会， 2016 年 09 月 23 日， パシフィコ横浜.
 - 大倉野 隼士，坂本 舞，吉弘 苑子，吉富 史美，河野 弥季，太田 英里，立石 多貴子，外園 栄作，藤崎 殻一郎，鶴屋 和彦，栢森 裕三： 高速液体クロマトグラフィ (HPLC) を用いた酸化型・還元型アルブミンの分別測定第二報～臨床応用について～， 日本臨床化学会， 2016 年 12 月 03 日， くまもと県民交流館 パレア.
 - 中野 由依，外園 栄作，太田 英里，河野 弥季，立石 多貴子，大澤 進，栢森 裕三： 糖負荷試験残余検体を用いた胃粘膜傷害試験としての Maltose の酵素的測定法とUHPLC法の開発， 日本臨床化学会， 2016 年 12 月 03 日， くまもと県民交流館 パレア.
 - 寺田 祥，太田 英里，河野 弥季，立石 多貴子，栢森 裕三，外園 栄作： 迅速・簡便な血清 Trehalase 活性測定法の確立とその臨床的有用性に関する研究， 日本臨床化学会， 2016 年 12 月 03 日， くまもと県民交流館 パレア.
 - 石垣 卓也，坂本 舞，大倉野 隼士，吉弘 苑子，河野 弥季，太田 英里，立石 多貴子，堀田 多恵子，康 東天，外園 栄作，栢森 裕三： BCP 法おとび BCP 改良法を用いたヒト血清アルブミンの酸化還元状態推定試薬の開発， 日本臨床化学会， 2016 年 12 月 03 日， くまもと県民交流館 パレア.
 - 縦木 彬仁，太田 英里，立石 多貴子，河野 弥季，外園 栄作，栢森 裕三： 酵素サイクリング法を用いた血清クレアチニンの高感度測定法の開発， 日本臨床化学会， 2016 年 12 月 03 日， くまもと県民交流館 パレア.
 - 寺田 祥，酒本 美由紀，川述 由希子，河野 弥季，立石 多貴子，堀田 多恵子，康 東天，栢森 裕三，外園 栄作： 迅速・簡便な血清 Trehalase 活性測定法の確立とその臨床的有用性に関する研究， 日本臨床検査医学会 九州地方会， 2017 年 03 月 04 日， 久留米大学病院 筑水会館.
 - 三根 敬一郎，手嶋 美穂，井上 芳隆，小川 秀一郎，和泉 賢一，安西 慶三，Hironori Kurisaki，勝田 仁，永淵 正法： EMC-D ウイルス誘発糖尿病自然感受性遺伝子の同定とそのメカニズム， 第 59 回日本糖尿病学会年次学術集会， 2016 年 05 月 20 日， 国立京都国際会館.
 - 和泉 賢一，Hironori Kurisaki，永淵 正法： インターフェロン受容体関連分子 Tyk2 の自然変異によるウイルス誘発糖尿病に対する感受性亢進， 第 90 回日本感染症学会総会， 2016 年 04 月 16 日， 仙台国際センター.
 - 藤井 直人，渡邊 壽美子，鷺山 和幸，加来 恒壽，杉島 節夫： BCG 曝露による p21 の発現増加と p27 の関係， 第 57 回日本臨床細胞学会総会， 2016 年 05 月 28 日， パシフィコ横浜.

- 平井 絵梨花, 渡邊 壽美子, 大久保文彦, 加来 恒壽, 杉島 節夫: 原発性肺腺癌と転移性肺腺癌の形態学的鑑別, 第55回日本臨床細胞学会秋期大会, 2016年11月19日, 別府国際コンベンションセンター B-Con Plaza.
- 鶴留えりか, 渡邊 壽美子, 大久保文彦, 加来 恒壽, 加藤 聖子, 杉島 節夫: 子宮頸部擦過細胞診における頸部粘液性腺癌と類内膜腺癌の比較検討, 第55回日本臨床細胞学会秋期大会, 2016年11月19日, 別府国際コンベンションセンター B-Con Plaza.

f. 学会以外での講演, 発表 なし

8. 著作

a. 単行本 なし

b. 総説

- 永淵 正法, 三根敬一朗, Hironori Kurisaki, 勝田 仁: ウイルス糖尿病感受性遺伝子の発見と、これからの展開, 診断と治療社, 2016年05月, (公開)
- 平橋 美奈子, 瀧澤 延善, 大石 善丈, 小田 義直: 【知っておきたいまれな大腸悪性腫瘍】まれな大腸悪性腫瘍の病理診断. 胃と腸 51 (3): 309-323, 2016
- 平橋 美奈子, 宮崎 正史, 江崎 幹宏, 小田 義直: 【消化管 II-下部消化管-】知っておきたい比較的稀な炎症性疾患 静脈硬化症 Phlebosclerosis. 病理と臨床 34 (10): 1050-1054, 2016
- 平橋 美奈子: 【狭窄を来す小腸疾患の診断】狭窄を来す小腸疾患の診断 病理診断の立場から. 胃と腸 51 (13): 1699-1706, 2016

c. 解説, 書評など なし

9. 受賞

- 兵田, 平成28年度がん研究助成金 奨励賞, 財団法人福岡県すこやか健康事業団, 2017年01月.

10. 報道 なし

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 外園, ビューレット反応と金属錯体法を組み合わせた新規高感度タンパク質測定試薬に関する共同研究, 関東化学株式会社, 2014年07月~2018年06月.

2. 受託研究 なし

3. 取得特許 なし

4. 兼業 なし

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張 なし

2. 外国人研究者の受入れ

a. 訪問教授・研究員 なし

b. 訪問研究者 なし

3. 留学生の受入れ なし

4. 学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 杉島, 学生支援会委員
- 杉島, 学生相談室委員
- 外園, 環境安全センター委員
- 外園, 環境安全管理委員

2. 部局委員

- 外園, 臨床研究倫理審査委員

3. 部門・コース内委員

- 杉島, 学生委員会 委員長
- 勝田, 施設・環境委員会 委員
- 勝田, 大学院委員会 委員
- 外園, 施設・環境委員会 委員
- 藤原, 地域・国際連携推進委員会・FD実行委員会 委員
- 栗崎, 教務委員会 委員
- 渡邊, 学生委員会 委員
- 兵田, 将来計画、点検・評価委員会 委員
- 兵田, 年報委員会 委員

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 外園, 博多学園高等学校（看護科および看護学専攻科）, 非常勤講師.
- 外園, 久留米歯科衛生専門学校, 非常勤講師.
- 栗崎, 福岡県私設病院協会看護学校, 非常勤講師.
- 栗崎, 純真学園大学保健医療学部検査科学科, 非常勤講師.
- 渡邊, 純真学園大学, 非常勤講師.

2. 学協会

- 杉島, 日本臨床細胞学会評議員, 国内
- 杉島, 日本臨床細胞学会, 幹事（渉外・広報委員会）, 国内.
- 杉島, 日本臨床細胞学会九州連合会, 理事, 国内.
- 杉島, 福岡県臨床細胞学会, 副会長, 国内.
- 杉島, 日本臨床細胞学会九州連合会雑誌, 編集委員, 国内.
- 外園, 日本臨床衛生検査技師会九州支部, その他（遺伝子部門長）, 国内.
- 外園, 生物試料分析学会, 理事, 国内
- 外園, 生物試料分析学会, 評議員, 国内
- 外園, 日本臨床検査自動化学会, 科学技術委員会委員, 国内
- 渡邊, 公益社団法人 日本臨床細胞学会, 評議員, 国内.
- 渡邊, 公益社団法人 日本臨床細胞学会, 幹事（渉外・広報委員会）, 国内.
- 渡邊, 日本臨床細胞学会九州連合会雑誌, 編集委員（および査読委員）, 国内.
- 兵田, 日本臨床衛生検査技師会, その他（福岡支部遺伝子部門副班長）, 国内.

3. 官界 なし

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職 なし

5. 公開講座・公開講演会 なし

6. 初等中等教育への貢献 なし

4. 教員組織および委員会一覧

❖ 教員組織・委員会一覧

教員人員及び教員配置表

保健学部門 平成28年度

分野・領域	教授	准教授	講師	助教(准教授)	その他
看護学					
統合基礎看護学	樗木 晶子 加来 恒壽 大池 美也子 平成29年3月31日定年退職 中尾 久子 藤田 君江	橋口 博子 濱田 裕子 宮田 千春 平成28年4月1日採用 平成29年3月31日退職	丸山 マサ美 木下 由美子 松浦 俊治 能登 裕子 青本 さとみ	道面 千恵子 金岡 麻希 平成29年1月31日退職 藤田 紋佳 木原 深雪 潮 みゆき 前野 里子 酒井 久美子 北尾 真梨 平成28年4月1日採用 山口 優 平成29年2月1日採用	
広域生涯看護学	鳩野 洋子 谷口 初美	川田 紀美子 寺岡 佐和 平成28年4月1日昇任 前野 有佳里 平成28年4月1日昇任	野口 ゆかり	木村 一絵 末次 美子 田尻 登志子 佐藤 洋子 平成28年4月1日採用	
医用量子線科学					
基礎放射線科学	大喜 雅文 有村 秀孝	高橋 昭彦 納富 昭弘			
医用放射線科学	佐々木 雅之 杜下 淳次 藪内 英剛	藤淵 俊王 平成28年4月1日昇任 佐々木 智成 平成28年4月1日採用		赤坂 勉 吉田 豊 平成29年3月31日退職	
検査技術科学					
生体情報学	藤本 秀士 栢森 裕三	水上 令子	田代 洋行 小島 夫美子	桑原 真理子 平成29年3月31日退職 安田 洋子	
病態情報学	杉島 節夫 勝田 仁 平成28年4月1日昇任		外園 栄作 藤原 美奈子 栗崎 宏憲 平成28年4月1日昇任	渡邊 壽美子 兵田 朋子	

《保健学部門》 平成28年度部内委員一覧

No.	1		2		3		7		16	
	総務委員会		将来計画、点検・評価委員会		研究推進委員会		地域・国際連携推進委員会		FD実行委員会	
委員長	部門長		部門長		部門長		前年度副委員長		【放】有村	
副委員長	委員長指名	【放】杜下	委員長指名	【放】杜下	委員長指名	【放】杜下	委員長指名	【放】有村	【看】谷口	
看護学	分野長 中尾	教授 (1)	27.4~29.3	加来	教授 (1)	2. に同じ	助教以上 (2)	27.4~29.3	谷口	7. に同じ
		助教以上 (1)	28.4~30.3	橋口				28.4~30.3	宮田 野口 松浦 潮 酒井	
医用量子線科学	分野長 杜下	教授 (1)	28.4~30.3	杜下	助教以上 (2)	2. に同じ	助教以上 (2)	28.4~30.3	有村	7. に同じ
		助教以上 (1)	27.4~29.3	藪内				27.4~29.3	高橋 赤坂	
検査技術科学	分野長 栢森	教授 (1)	27.4~29.3	栢森	助教以上 (2)	2. に同じ	助教以上 (2)	27.4~29.3	藤本	7. に同じ
		助教以上 (1)	28.4~30.3	兵田				28.4~30.3	桑原・安田 平橋	
職指定の委員	部門長 副部門長 (各分野長)	副部門長 (各分野長) (部内) 研究推進委員会委員長 (部内) 学生委員会委員長 (部内) 教務委員会委員長 (部内) 大学院委員会委員長	副部門長 (各分野長) (部内) 財務委員会委員長 (部内) 学生委員会委員長 (部内) 教務委員会委員長 (部内) 大学院委員会委員長	副部門長 (各分野長)	副部門長 (各分野長)	副部門長 (各分野長)	副部門長 (各分野長) (部内) 教務委員会副委員長 (部内) 大学院委員会副委員長			

※[2. 将来計画、点検・評価委員会]「3. 研究推進委員会」は同一の委員とする。
 ※[17. 年報委員会]の委員は、「2. 将来計画、点検・評価委員会」の委員の内から構成する。
 ※[7. 地域・国際連携推進委員会]と「16. FD委員会」の教授委員は同一の委員とする。

No.	4		5		6		8		9		10		
	人事委員会		教員業績評価委員会		再任審査委員会		財務委員会		施設・環境委員会		学生委員会		
委員長	部門長		部門長		部門長		部門長		部門長指名		前年度副委員長		
副委員長	委員長指名	【看】中尾	委員長指名	【検】栢森	委員長指名	【検】栢森	施設・環境委員長		委員長指名	【検】勝田	総務委員会で検討、部門会議で選出		
看護学	教授 (1)	28.4～ 30.4	鳩野	教授 (1)	4.に同じ	教授 (1)	/	教授 (1)	27.4～ 29.3	加来	教授 (1)	28.4～ 30.3	
	教授 (1)	28.4～ 30.4	鳩野	教授 (1)	4.に同じ	准教授 講師 (1)		28.4～ 30.3	青本	教授 (1)	27.4～ 29.3	加来	27.4～ 29.3
	教授 (1)	27.4～ 29.3	有村	教授 (1)	4.に同じ	教授 (1)		4.に同じ	教授 (1)	28.4～ 30.3	有村	教授 (1)	28.4～ 30.3
医用量子線科学	教授 (1)	27.4～ 29.3	有村	教授 (1)	4.に同じ	准教授 講師 (1)	27.4～ 29.3	藤淵	教授 (1)	27.4～ 29.3	高橋	助教 以上 (1)	
検査技術科学	教授 (1)	28.4～ 30.4	藤本	教授 (1)	4.に同じ	教授 (1)	28.4～ 30.3	水上	教授 (1)	28.4～ 30.3	勝田	教授 (1)	
職指定の委員	副部門長 (各分野長)		副部門長 (各分野長)		副部門長 (各分野長)		副部門長 (各分野長) (部内)研究推進委員会委員長 (部内) 地域・国際連携推進委員会委員長 (部内)施設・環境委員会委員長 (部内)学生会委員会委員長 (部内)教務委員会委員長 (部内)大学院委員会委員長 (部内)広報委員会委員長		(全学)環境保全委員会委員 【外園】(H26.4.1-H28.3.31)		(全学)学生関係委員口		

分野から選出する委員

※「4. 人事委員会」「5. 教員業績評価委員会」「6. 再任審査委員会」の教授委員は同一の委員とする。

No.	11		12		13		14		15	
委員会	教務委員会		大学院委員会		入学試験実施委員会		広報委員会		放射線安全委員会	
委員長	前年度副委員長	【放】佐々木	前年度副委員長	【看】藤田(君)	前年度副委員長	【看】樺木	前年度副委員長	【検】藤本	医学研究院長	住本
副委員長	総務委員会 【放】藪内	総務委員会 【検】勝田	委員 【指】名→総務委員会 【検】委員 【選】討、部門会議 【選】出	委員 【指】名→総務委員会 【検】委員 【選】討、部門会議 【選】出	委員 【指】名→総務委員会 【検】委員 【選】討、部門会議 【選】出	委員 【指】名→総務委員会 【検】委員 【選】討、部門会議 【選】出	委員 【指】名→総務委員会 【検】委員 【選】討、部門会議 【選】出	委員 【指】名→総務委員会 【検】委員 【選】討、部門会議 【選】出	放射線取扱主任者	納富(26.4~)
看護学	教授(1)	大池	教授	加来	教授(1)	樺木	教授(1)	谷口	/	
	講師以上(1)	前野(有)	教授(2)	藤田(君)	教授(1)	有村	准教授講師助教(2)	木下(由)(26.4~)		
医用量子線科学	教授(1)	藪内	教授(2)	佐々木	教授(1)	有村	教授(1)	有村	助教以上(4)	藤淵吉田
検査技術科学	講師以上(1)	納富	教授(2)	藪内	教授(1)	藤本	准教授講師助教(1)	藤淵		佐々木杜下
職指定の委員	教授(1)	藤本	教授(2)	栢森	教授(1)	藤本	教授(1)	藤本	/	
	講師以上(1)	栗崎	教授(1)	勝田	教授(1)	藤本	准教授講師助教(1)	小島		
	(全学)教務関係委員				部門長 副部門長 (各分野長)		選出方法 委員長は2年任期2年目の教授委員(前年度副委員長)が、副委員長は、2年任期1年目の教授が就任する。 委員長選出順 看→検→放 任期の特例 委員長に就任した教授の分野は、翌年度の教授委員の任期は1年		部門長 放射線取扱主任者【納富(26.4~)】 放射線取扱副主任者【赤坂】 事務部長	

※広報委員会委員の選出方法について(申合せ)

※(部内)教務委員会委員長・副委員長が附属図書館医学図書館運営委員を兼ねる。

※(全学)教育企画委員会委員は、(部内)教務委員会委員長が就任する。

【平成28年度病院地区委員会】

番号	委員会名	役職指定等	現(H28)委員	任期	始期	終期	委員資格・条件等	備考
1	アイソトープ総合センター 病院地区実験室運営委員会		【放射】 佐々木 教授 (留任)	2 年	H28.4.1	H30.3.31	講師以上1名	医学研究院から5名(内、保健学から1名)
2	アイソトープ総合センター 病院地区学生実習室運営委員会		【放射】 佐々木 教授 (留任)	2 年	H28.4.1	H30.3.31	講師以上1名	
3	アイソトープ総合センター 病院地区実験室及び病院地区学生実習室放射線安全委員会		【放射】 納富 准教授 (留任)	2 年	H28.4.1	H30.3.31	講師以上1名	
4	アイソトープ総合センター 病院地区実験及び病院地区学生実習室放射線取扱副主任者		【放射】 納富 准教授	2 年	H28.4.1	H30.3.31		
5	附属図書館医学図書館運営委員会	部門内教務委員会委員長、副委員長	【放射】 佐々木 教授 【放射】藪内 教授	2 年	H27.4.1 H28.4.1	H29.3.31 H30.3.31	教授2名	[部門内]図書委員会は教務委員会と統合→教務委員会委員長・副委員長が兼ねる
6	医療系統合教育研究センター委員会	部門内教務委員会副委員長→変更	【検査】栢森 教授 (28.4.1～)	2 年	H27.4.1	H29.3.31	保健学部門 教員から1名	*副センター長 ※センター長は各部局選出の副センター長4名から1名が輪番で選出(原則、副センター長経験者から) ★センター長 H21-H22 保 H23-H24 薬 H25-H26 医 H27-H28 歯 H29-H30 保 ・H21?に薬委員が長期入院したため、薬と保の順番を入れ替え、以後そのまま
		部門内教務委員長(実質的な任期は1年)	【放射】佐々木 教授 《副センター長》		H27.4.1	H29.3.31	保健学部門 教員から1名	
			【看護】橋口准教授		H28.4.1	H30.3.31	保健学部門 の教員から1 名	
6-1	医療系統合教育研究センター ICT活用教育推進専門部会		【放射】高橋 准教授 (留任)	-	-	-		H26.6～
7	医療系統合教育研究センター兼任 教員		【看護】 中尾 教授		H28.4.1	H30.3.31		
8	病院地区協議会	【職指定】部門長	大喜 教授 (部門長)		-	-	部門長	医学・歯学・薬学研究院長、生体防御医学研究所長、病院長、保健学部門長、医系学部等事務部長、病院事務部長、医療系統合教育研究センター長及び(オブザーバーとして)副病院長(歯科部門)
		【職指定】 医療系統合教育研究センター長	(歯)		-	-	医療系統合 教育研究セ ンター長	

9	病院地区学生感染対策委員会	【職指定】 学生委員会副委員長	【看護】嶋野教授	(2年)	H28.4.1	H29.3.31	保健学部門の学府の学生の教育又は感染対策に責任を持つ組織に所属する教員のうちから選出された者1名	学生委員会副委員長が兼ねる →実質的な任期は1年
10	病院地区教育情報委員会	【職指定】 保健学部門副部門長(教育担当)			H28.4.1	H29.3.31	・保健学部門の副部門長のうち主として教育を担当する者1名 ・学部教育を担当する委員会の委員長 ・学府教育を担当する委員会の委員長 →実質的な任期は1年	
		【職指定】 部内教務委員会委員長	【放射】佐々木教授		H28.4.1	H29.3.31		
		【職指定】 部内大学院委員会委員長	【看護】藤田教授		H28.4.1	H29.3.31		
11	九州大学医の倫理に関する協議会	【職指定】部門長	大喜 教授 (部門長)	-	-	-	部門長	部局長・保健学部門長・各倫理審査委員会委員長・人文・社会科学の有識者・その他協議会が必要と認めた者
12	総合研究棟管理運営委員会	【職指定】部門長	【放射】大喜 教授	2年	-	-	部門長	※4号委員を兼ねる
			【検査】栢森教授		H28.8.1	H30.7.31		※5号委員 部局管理運用部分の許可を受けている者
13	馬出地区職員等用駐車区域委員会		【放射】有村 教授 【看】前野 准教授	2年	H28.4.1	H30.3.31	教授1名、准教授以下1名	
14	病院サイクロトン運用・薬剤審査委員会		【放射】 佐々木 教授	2年	H27.10.1	H29.9.30	病院地区所属保健学部門の教員1名	
15	病院放射性医薬品委員会		【放射】 佐々木教授	2年	H28.4.1	H30.3.31	教員1名	
16	病院先進医療適応評価委員会		【看護】金岡 助教	2年	H27.4.1	H29.3.31	保健学部門助教以上、女性教員	
17	アジア遠隔医療開発センター運営委員会		【看】川田 准教授	2年	H28.4.1	H30.3.31	病院地区(医学系、歯学系、薬学系、保健学系を含む)の教員の内から選ばれた者	H28.6.1委員会から指名で委嘱状あり。 部局で選ぶのではない？
18	医系地区部局臨床研究倫理審査委員会		【検査】外園 講師	2年	H28.4.1	H30.3.31	保健学部門講師以上2名(1名は教授とする)	委員会の構成上、今回選出する委員は、女性委員が望ましい
			【看護】藤田 教授		H27.4.1	H29.3.31		

19	医系地区部局ヒトES細胞の樹立及び使用に関する倫理審査委員会		【検査】勝田 教授	2年	H28.4.1	H30.3.31	保健学部門教授1名 (医学に関する専門家)	委員会の構成上、今回選出する委員は、女性委員が望ましい
20	病院遺伝子治療臨床研究倫理審査委員会		【検査】勝田 教授 (H28.4.1～)	2年	H27.4.1	H29.3.31	保健学部門教授1名 (医学に関する専門家)	
21	医学研究院再任審査委員会		【看護】加来 教授	1年	H27.4.1	H28.3.31	保健学部門教授1名 (医学に関する専門家)	年1～2回;10分/回程度
22	医学研究院情報公開委員会	【職指定】 教育研究評議員	大喜 教授 (部門長)	-	-	-	教育研究評議員	年5回程度
			(必要に応じて選出)	-	-	-		
23	医学研究院教員業績評価専門部会	部門長 各分野長	部門長 各分野長	-	-	-	部門長 各分野長	申し合わせでは部門長から指名された分野長1名となっているが、実質的に各分野長が行っている
24	基礎研究B棟管理運営委員会	【職指定】 ①部門長 ②当該年度施設・環境委員長 ③前年度施設・環境委員長	①部門長 ②【検査】藤本教授 ③【放射】平田教授	-	-	-	※部門長、当該年度及び前年度の〔部門内〕施設・環境委員長が兼ねる→実質的な任期は2年	基礎B棟の改修及び改修後の利用計画等について
25	病院運営会議 オブザーバー委員		【看護】榎木 教授	2年	H28.4.1	H30.3.31	保健学部門臨床系教授1名	毎月1回開催
26	保険診療適正化推進委員会		【看護】 加来 教授	-	-	-	福岡県社会保険診療報酬支払基金審査会委員に委嘱	任期は審査会委員の任期とする。
27	安全・衛生委員会		【検査】水上准教授	2年	H28.4.1	H30.3.31		申し出がないかぎり再任 毎月1回開催
28	海外交流センター運営委員会委員		【看護】谷口教授	2年	選出日	H29.3.31		再任可

【平成28年度全学委員会委員】

番号	委員会	現(H28)委員	任期	始期	終期	委員資格・条件等	備考
1	総長特別補佐	-	2年			総長指名	有川総長の時代にはあったが、久保総長から(26年10月)はなくなった。
2	環境安全衛生推進室室長	-				総長指名	
3	男女共同参画推進室副室長	-				総長指名	

4	教育研究評議会 (オブザーバー)	大喜 教授 (学科長)	-	-	-	九州大学教育研究評議会規則第6条第1項(学部長の推薦に基づき総長が必要と認める者)	医学研究院における九州大学教育研究評議会委員に関する申合せ(H22.11.10教授会決定)
6	新キャンパス計画専門委員会	(病)	2年	H26.11.9	H28.11.8	医歯薬生病のうちから選ばれた1名	医・歯・薬・生・病の輪番
7	キャンパス計画及び施設管理委員会	(生)	2年	H28.4.1	H30.3.31	医歯薬生の教授から1名	医・歯・薬・生・病の輪番
8	研究用微生物安全管理委員会	【検査】 藤本 教授	2年	H27.4.1	H29.3.31	研究用微生物を取扱う施設を置く部局の教授、准教授及び講師各1名	※医学とは別枠 ※願わくば、藤本教授、小島講師と交互に担当をお願いしたいとのこと。(H25.12.25)
9	放射線障害防止委員会	【放射】 納富 准教授	-	H26.4.1～	-		放射線取扱主任者がオブザーバーとして参加
10	環境保全管理委員会	【検査】 外園 講師 (留任)	2年	H28.4.1	H30.3.31	環境保全管理委員会が必要と認めた者 ※医学とは別枠 (化学物質や健康問題に詳しい教員)	環境安全センター委員会委員を兼ねる ★〔部門内〕施設・環境委員会構成員となる
11	環境安全センター委員会 (旧:特殊廃液処理施設運営委員会(H22年度改組))	【検査】 外園 講師 (留任)	2年	H28.4.1	H30.3.31	環境安全センター委員会が必要と認めた者 ※医学とは別枠	環境保全管理委員会委員が兼ねる(H18年度から)
12	入学試験審議会	大喜 教授(学科長)	-	-	-		保健学科長がオブザーバーとして参加
13	入学試験実施委員会	【看護】 樗木 教授	1年	H28.4.1	H29.3.31	九州大学入学試験実施委員会等規程第3条第1項第11号(総長が必要と認めた者若干人)(任期1年)	〔部門内〕入学試験実施委員会委員長 ※同一の教員が2年連続就任することが望ましいが、必須では無い。
14	入学者選抜研究委員会	【看護】 寺岡准教授	2年	H28.5.1	H30.4.30	入学者選抜研究委員会規程第3条第1項第10号(総長が必要と認めた者若干人)	統計のできる准教授クラス
15	学生支援委員会 (学生委員会から改編)	【検査】 杉島 教授	(2年)	H28.4.1	H29.3.31	学生支援委員会が必要と認めた物若干人	
		【看護】 鳩野 教授		H28.4.1	H29.3.31	学生支援委員会が必要と認めた物若干人	
16	教育企画委員会 (旧:教務委員会)	【放射】 佐々木教授	(2年)	H28.4.1	H29.3.31	医学系学府保健学専攻又は医学部保健学科から選ばれた教授1名	※医学とは別枠 〔部門内〕教務委員会委員長 →実質的な任期は1年

17	基幹教育委員会 (H25.11 新設)	【放射】佐々木教授	(2年)	H28.4.1	H29.3.31	医学系学府保健学専攻の教授のうちから選ばれた者1人	教育企画委員会委員が兼ねる 〔部門内〕教務委員会委員長 →実質的な任期は1年
18	21世紀プログラム専門委員会 (旧:21世紀プログラム実施委員会)	【放射】杜下教授	2年	H28.4.1	H30.3.31	各学部から選ばれた教授1名 ※医学として	看護・検査・放射分野の輪番
19	基幹教育実施会議 (旧:全学教育運営会議)	【放射】佐々木教授	(なし)	H28.4.1	H29.3.31	その他運営会議が必要と認めた者	〔部門内〕教務委員会委員長 →実質的な任期は1年
20	大学院基幹教育実施会議 (H26.1 新設)	【看護】藤田教授	(2年)	H28.4.1	H29.3.31	その他運営会議が必要と認めた者	〔部門内〕大学院委員会委員長 →実質的な任期は1年
21	全学情報環境利用委員会 (旧:情報基盤センター学内共同利用運営委員会)	【放射】高橋准教授 (留任)	2年	H28.4.1	H30.3.31	各研究系の教授及び准教授のうちから選ばれた者各1人 ※医学として	*26.3まで有村准教授
22	ハラスメント等対策委員会	(医) (薬) (病)	2年	H28.4.1	H30.3.31	医歯薬生病の教授、准教授及び講師から2名(少なくとも1名は女性)	医・歯・薬・病・生の輪番
23	ハラスメント等相談員	(医) (病)	2年	H28.4.1	H30.3.31	医歯薬生病の教授、准教授及び講師から若干名(実際には2名選出)(少なくとも1名は女性) ※医学として	医・歯・薬・病・生の輪番
24	加速器・ビーム応用科学センター複担教員	【放射】納富准教授	なし	H26.4.1~	-		
25	学生相談室相談員	【検査】杉島教授	(2年)	H28.4.1	H29.3.31		〔部門内〕学生委員会委員長・副委員長 →実質的な任期は1年
		【看護】鳩野教授		H28.4.1	H29.3.31		
26	基幹教育科目実施班員 ※理系ディシプリン科目班 生物専門チーム	【検査】杉島教授	1年	H27.7.1	H28.6.30	各学部の教員のうちから実施会議が必要と認めた者	H26新設
27	学生支援センター企画運営委員会	【検査】藤本教授	2年	H27.7.1	H29.6.30	学生支援センター規則?第7条第4項(センターの協力教員)	H25.7新設
28	学生支援センター協力教員	【検査】藤本教授	2年	H27.7.1	H29.6.30		H25.7新設 学生支援センター企画運営委員会委員を兼ねる。
29	アイトープ統合安全管理センター委員会	【放射】納富准教授	2年	H27.4.1	H29.3.31	別表2(6)指定された研究院の教授及び准教授から選ばれた者1人 ※医学として	
30	研究活動基礎支援専門委員会	【看護】鳩野教授	2年	H28.4.1	H30.3.31	研究活動基礎支援専門委員会要項第3条(5)その他専門委員会が必要と認めた者	

平成28年度
年 報

作成日 : 平成29年9月

発行者 : 保健学部門 平成29年度 年報委員会
藤本秀士
大喜雅文・橋口暢子・寺岡佐和
杜下淳次・納富昭弘・兵田朋子

発 行 : 九州大学大学院医学研究院保健学部門
〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1